

東京大学大学院総合文化研究科博士学位論文

ユートピア都市の書法
——クロード=ニコラ・ルドウの建築思想
【図版集】

小澤 京子

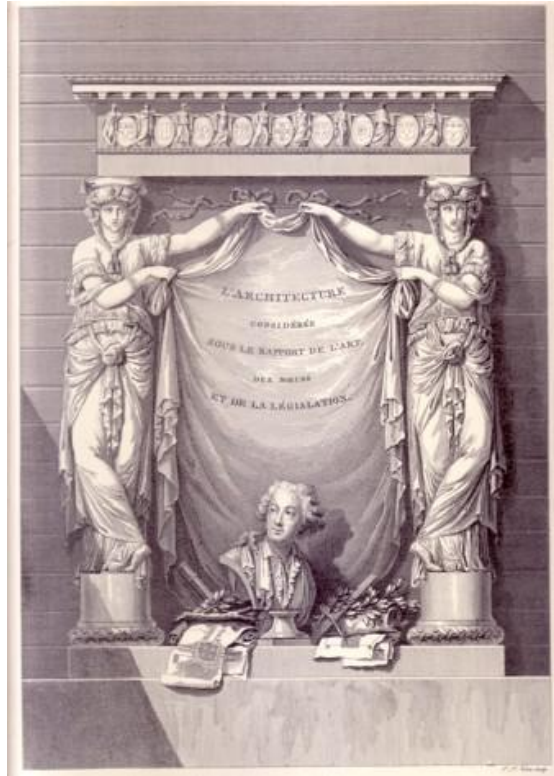
【図0-1】 アントワーヌ=フランソワ・カレに帰属
《建築家クロード=ニコラ・ルドゥとその娘アデライド》1782年頃
パリ、カルナヴァレ美術館
コンパスの先は、アルケ=スナン王立製塩所の正門グロットの平面図を指している



【図0-2】 ルドゥ、アルケ=スナンの王立製塩所、1779年竣工、鳥瞰図



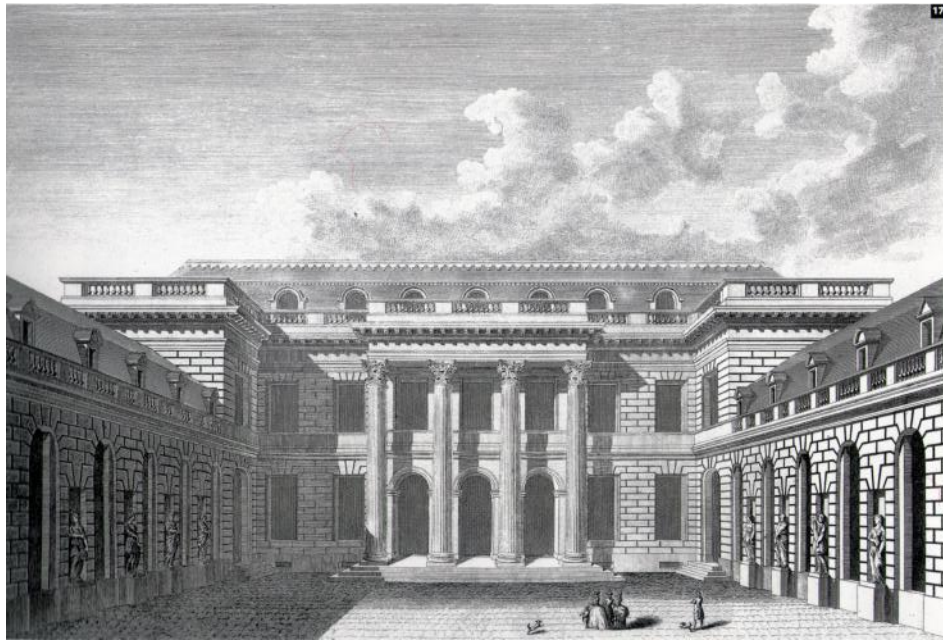
【図0-3】 ルドゥ著、C.N.ヴァラン彫版、『建築論』(1804年刊行)フロンティスピース、1789年



【図0-4】 ルドゥ設計、カフェ・ミリテールの内装、1762年、パリ、カルナヴァレ美術館



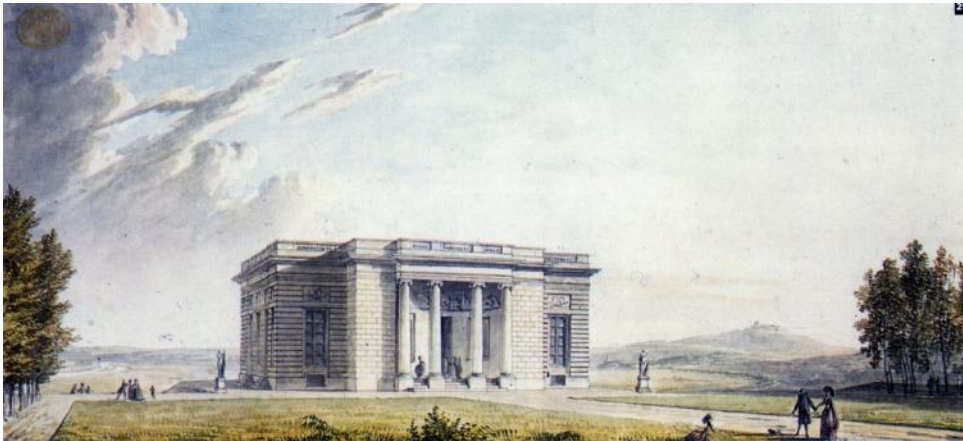
【図0-5】 ルドゥ(スリエ彫版)「ユゼスの邸館の立面透視図」
ラメ版『ルドゥの建築論』1847年所収(pl. 154)



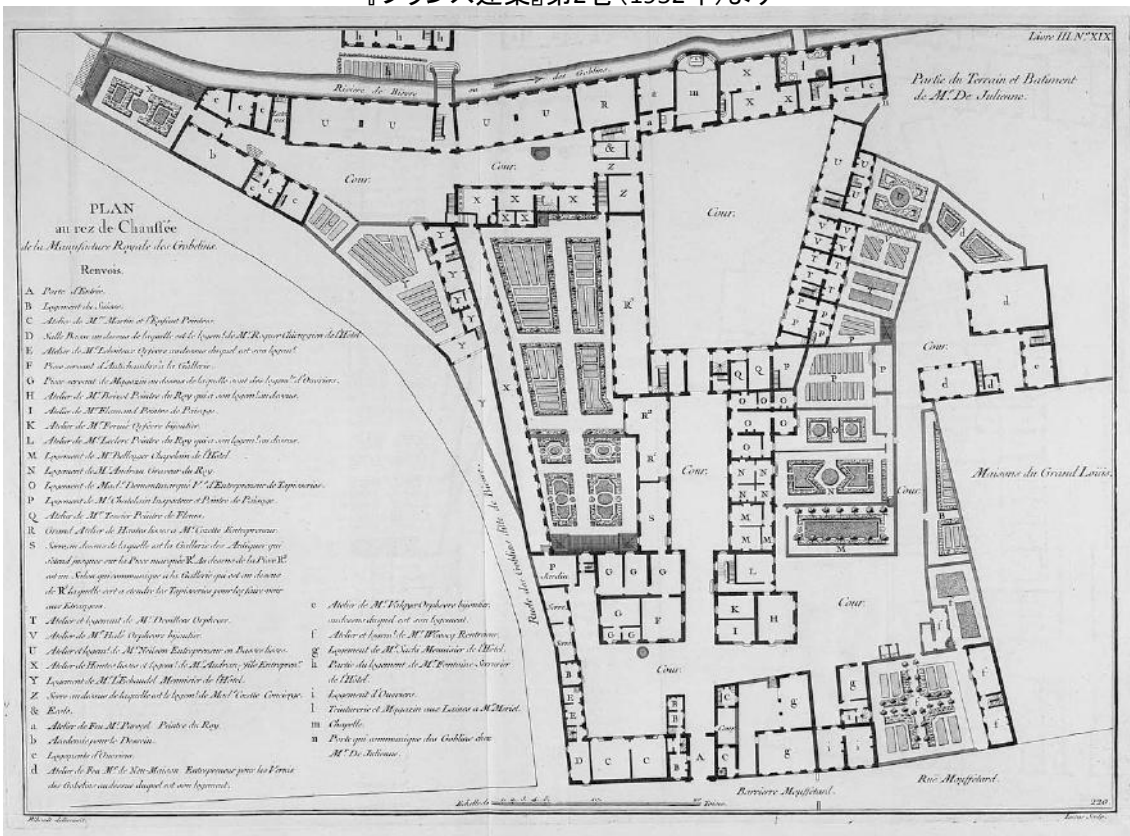
【図0-6】 ルドゥ(ドラガルデット彫版)「ショッセ・ダンタンのギマール嬢の邸館」
ラメ版『ルドゥの建築論』1847年所収(pl. 176)



【図0-7】 ルドウ設計、ルーヴシエンヌの別邸、1771-74年
 制作者・制作年未詳、ブリティッシュ・ライブラリー所蔵



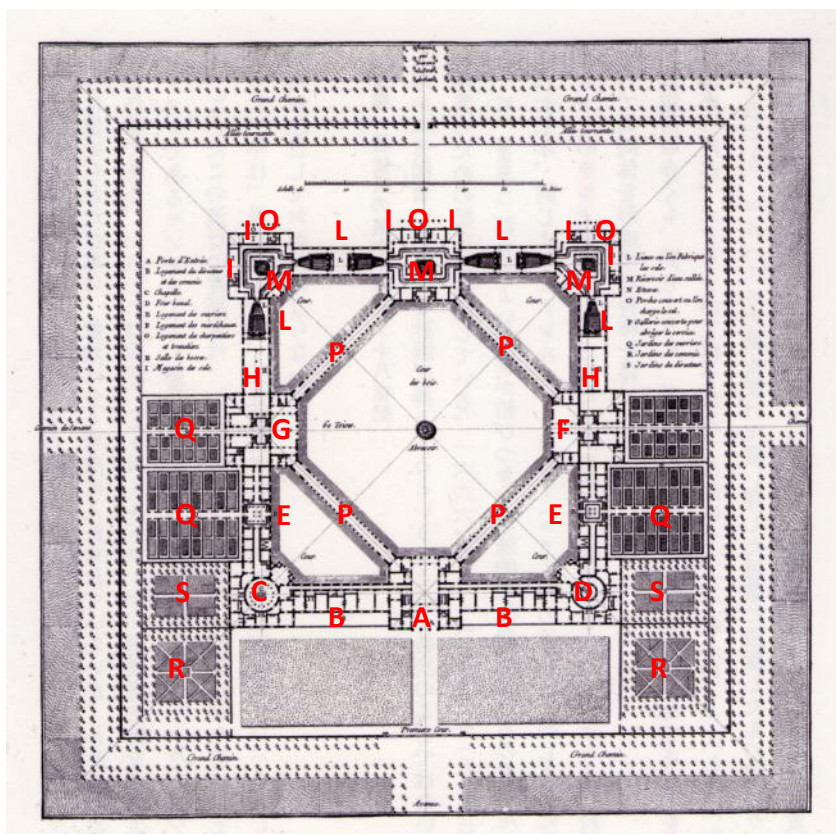
【図0-8】 ジャック=フランソワ・ブロンデル「王立ゴブラン工場の描写」
 『フランス建築』第2巻(1952年)より



【図0-8】「王立ゴブラン工場の一階の平面図」配置

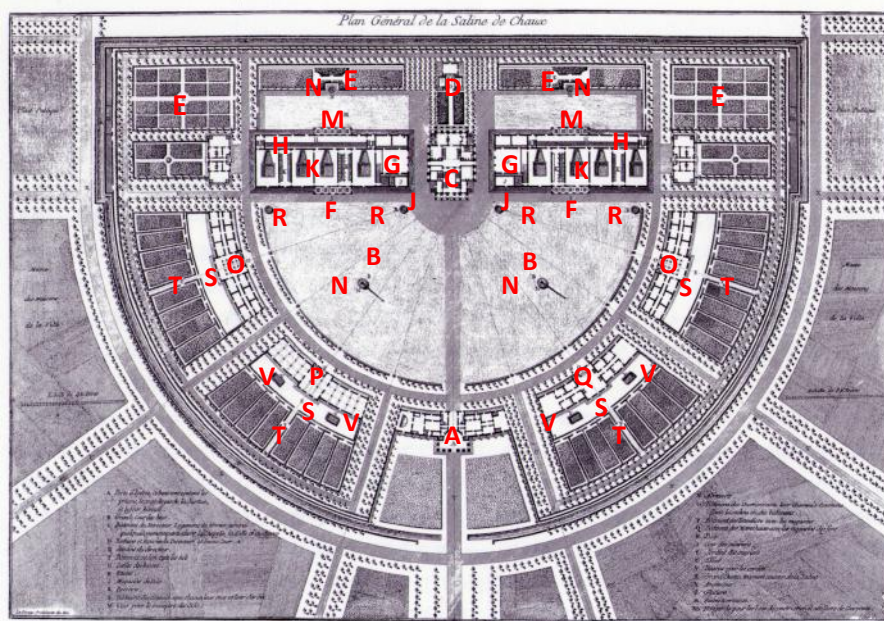
- A. 入場門
- B. 守衛の住居
- C. マルタン夫人と児童画家(l'Enfant Peintres)のアトリエ
- D. 邸館の外科医ロカーの住居を上階に戴く衛兵詰め所(Salle Basse)
- E. 彫金師ルボワテューのアトリエと住居
- F. 待合室からギャラリーにまで使用できる部屋
- G. 工場労働者住居を上階に戴く、倉庫(店舗?)に供される部屋
- H. 国王の画家ボアゾのアトリエ、上階に住居
- I. 風景画家フラマンのアトリエ
- K. 彫金・宝石細工職人フォルメのアトリエ
- L. 国王の画家ルクレールのアトリエ、上階に住居
- M. 邸館の礼拝堂管理司祭ペランジェの住居
- N. 国王の版画化オードランの住居
- O. タピスリーの第5請負業者(entrepreneur)ド・モンマルケ夫人の住居
- P. 視察官・風景画家シャトレンの住居
- Q. 花の画家トシエのアトリエ
- R. 業者コゼットのオート・リス(タピスリーの種類)の大アトリエ
- S. 上階に古遺物ギャラリーを戴く温室
- T. 彫金師ドヴィエのアトリエ、上階に住居
- V. 彫金師・宝石細工職人アレのアトリエ
- U. バス・リス(タピスリーの種類)業者ネイルソンのアトリエと住居
- X. オート・リスのアトリエと業者の息子オードランの住居
- Y. 邸館の建具屋レショーデルの住居
- Z. 上階にコンシェルジュ、コゼット夫人の住居と学校を戴く温室
- a. 国王の画家パロセルの窯付きアトリエ
- b. 素描のアカデミー
- c. 労働者の住居
- d. ゴブランの釉薬の請負業者のド・ヌメゾンの窯付きアトリエと住居
- e. 彫金師・宝石細工職人ヴァレイエのアトリエと住居
- f. Rentreieurワヴォラックのアトリエ、住居
- g. 邸館の建具屋ザシの住居
- h. 邸館の鍵屋フォンテーヌの住居部分
- i. 労働者の住居
- l. マリエル氏の羊毛染色工房とその店舗
- m. 礼拝堂
- n. ド・ジュリアン氏へとゴブランを運ぶ門

【図0-9】 ルドゥ(スリエ彫版)「王立製塩所第一案」『建築論』1804年所収
(図中の赤字追記は筆者による)



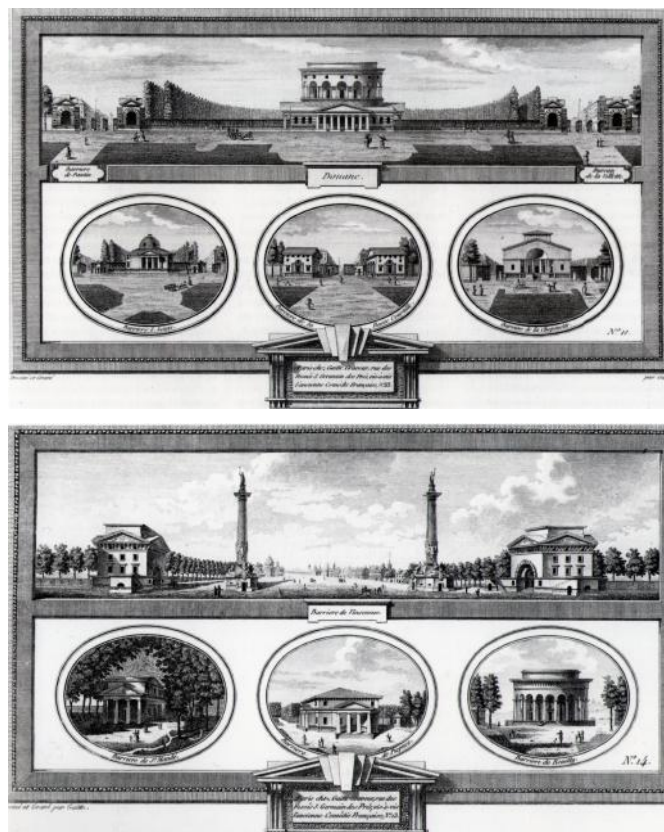
- A. 正門
- B. 工場長の館
- C. 礼拝堂
- D. 共同の竈
- E. 労働者の宿舎
- F. 蹄鉄工の宿舎
- G. 大工の宿舎
- H. 倉庫
- I. 塩の倉庫
- L. 製塩の場所
- M. 塩水の貯水池
- N. 乾燥室
- O. 塩を積み出す屋根付きポーチ
- P. 効率化のための屋根付き回廊
- Q. 労働者の庭
- R. 事務員の庭
- S. 工場長の庭

【図0-10】 ルドゥ(スリエ彫版)「王立製塩所の実現された平面図」『建築論』1804年所収
(図中の赤字追記は筆者による)

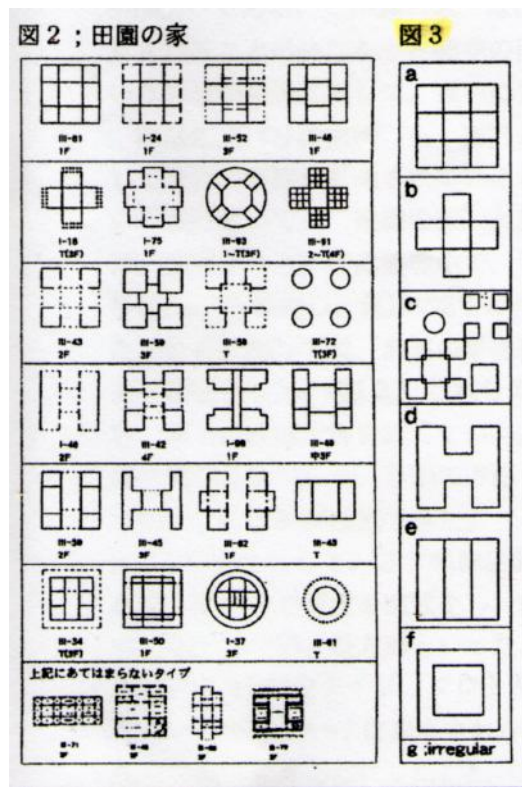


- A. 守衛所、裁判所、協働厨房のある正門
- B. 茂みのある中庭
- C. 監督官の館、徴税請負人その他の宿舎、礼拝堂、講堂
- D. 監督官の車庫と厩舎、家禽飼育場
- E. 監督官の庭
- F. 塩を煮沸する建物
- G. 木材蓄蔵庫
- H. 乾燥室
- J. 塩の倉庫/K.ベソワール
- L. 事務員の家
- M. 塩運搬用の中庭
- N. 水飼い場
- O. 労働者の家
- P. 倉庫付き樽屋の家
- Q. 鉄の倉庫付き蹄鉄工の家
- R. 井戸/S.労働者の中庭
- T. 労働者の庭園
- V. 貯水池

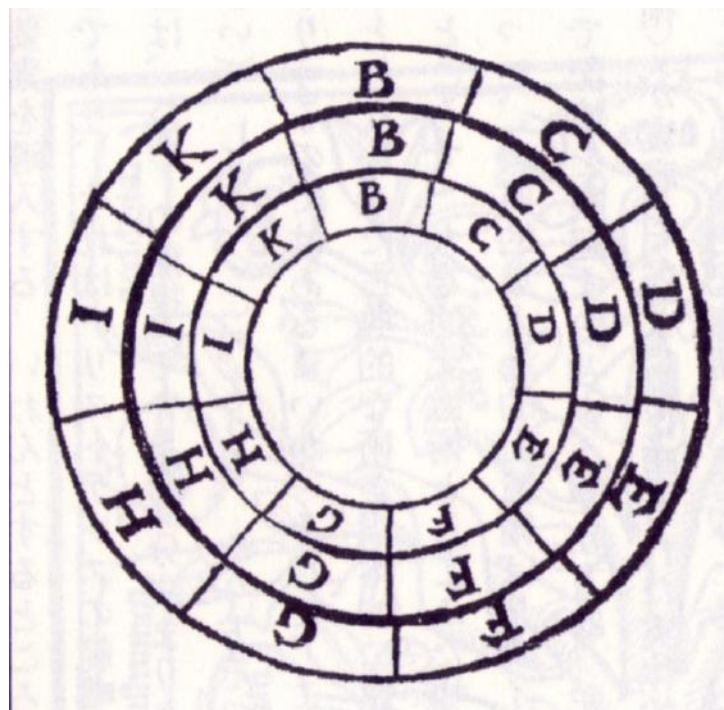
【図0-11】 ルドゥ設計(ゲット彫版)「パリの徴税市門」年代未詳、カルナヴァレ美術館



【図1-1】 清水いづみ・鶴沢隆作成、ルドゥ設計の建築平面計158点から導出された6種類のプロトタイプ(右)と、158点に含まれる主要作品20点の平面図のダイアグラム(左)、1997年



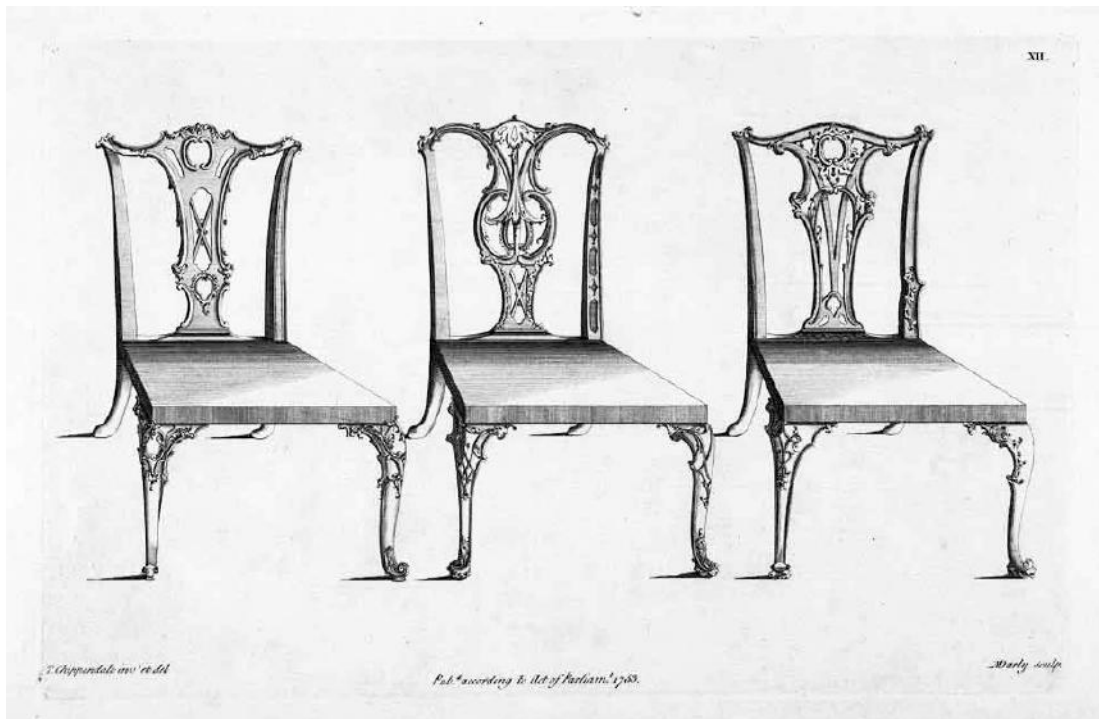
【図1-2】 ルルス「小さき術」より組み合わせ図(ルルスの円盤)



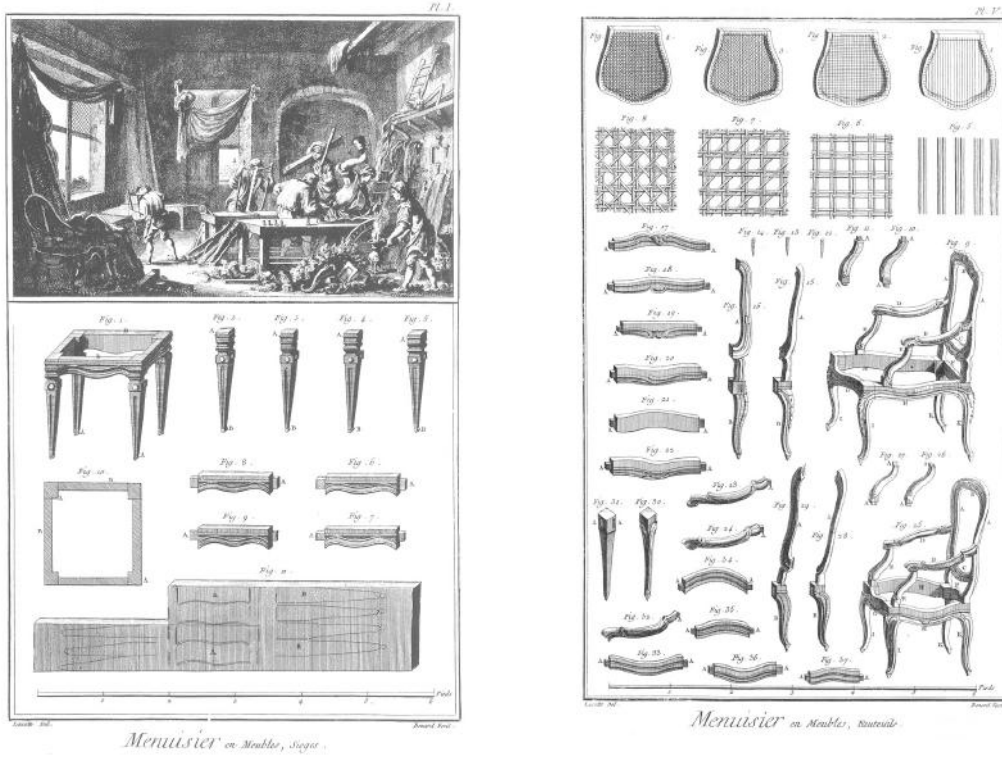
【図1-3】 ベルヴェデーレのトルソ、A.D.1世紀、バチカン、ピオ・クレメンテ美術館



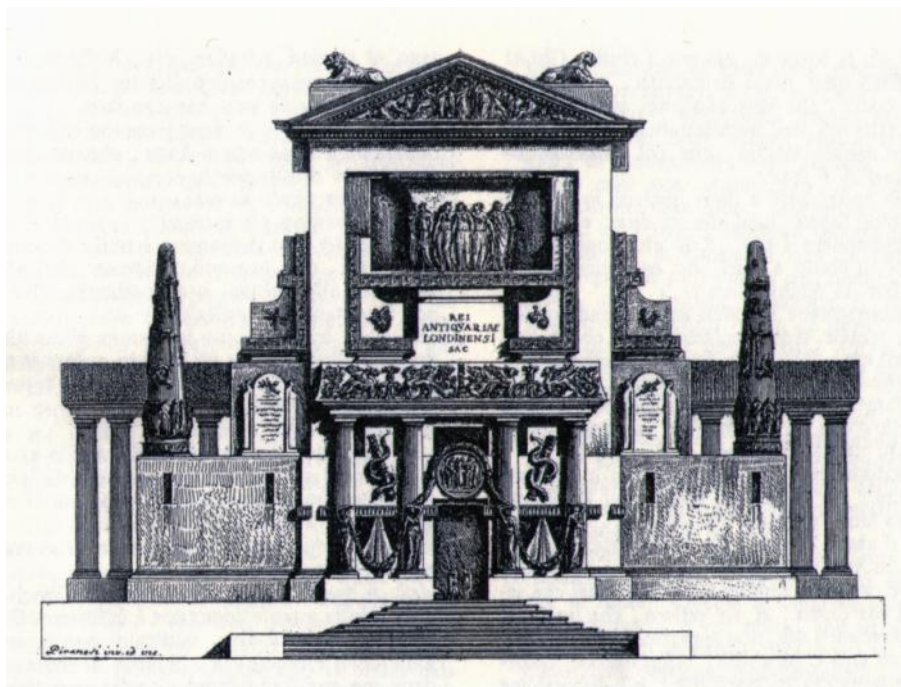
【図1-4】 トマス・チップペンデイル『紳士とキャビネット制作職人のための指針』1754年
「部分」の自律性と交換可能性への意識が顕在化する



【図1-5】 デイドロ、ダランベール『百科全書』図絵、1769年
家具製作職人のアトリエと肘掛け椅子作成の各段階



【図1-6】 G.B. ピラネージ『建築に関する所感』(1765年) 扉絵



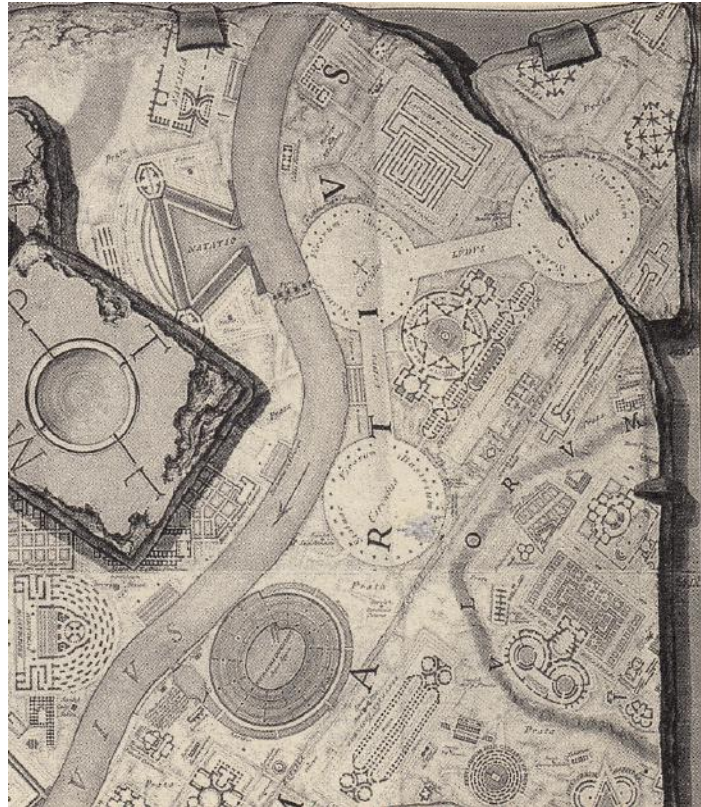
【図1-7】 G.B. ピラネージ設計、サンタ・マリア・デル・プリオラート聖堂祭壇



【図1-8】 G.B. ピラネージ《イクノグラフィア》
『古代ローマのキャンパス・マルティウス』1762年所収



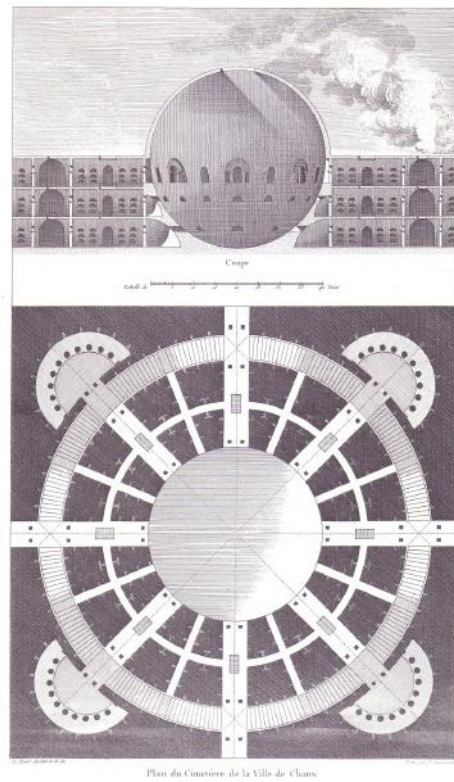
【図1-9】 G.B. ピラネージ《イクノグラフィア》部分図
『古代ローマのキャンパス・マルティウス』1762年所収



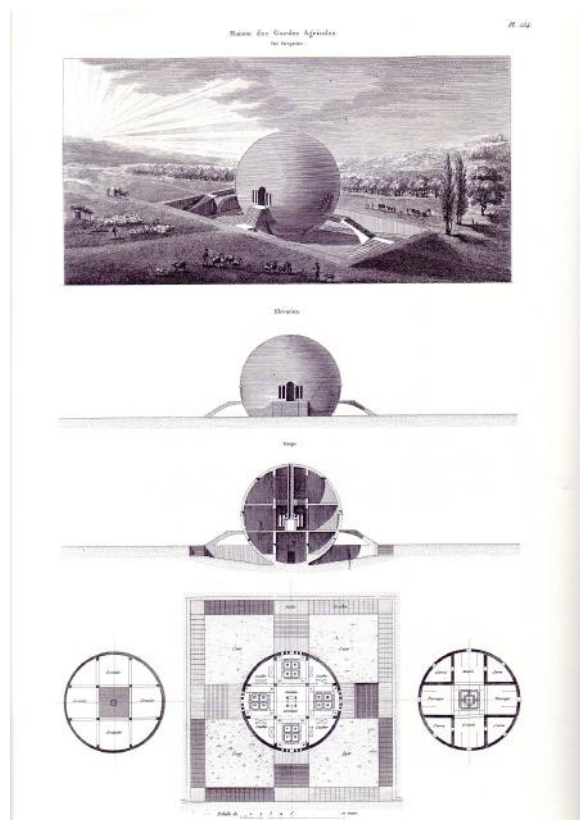
【図1-10】 ルドゥ設計「パリの市門の抜粋」
ラメ版『ルドゥの建築論』1847年所収



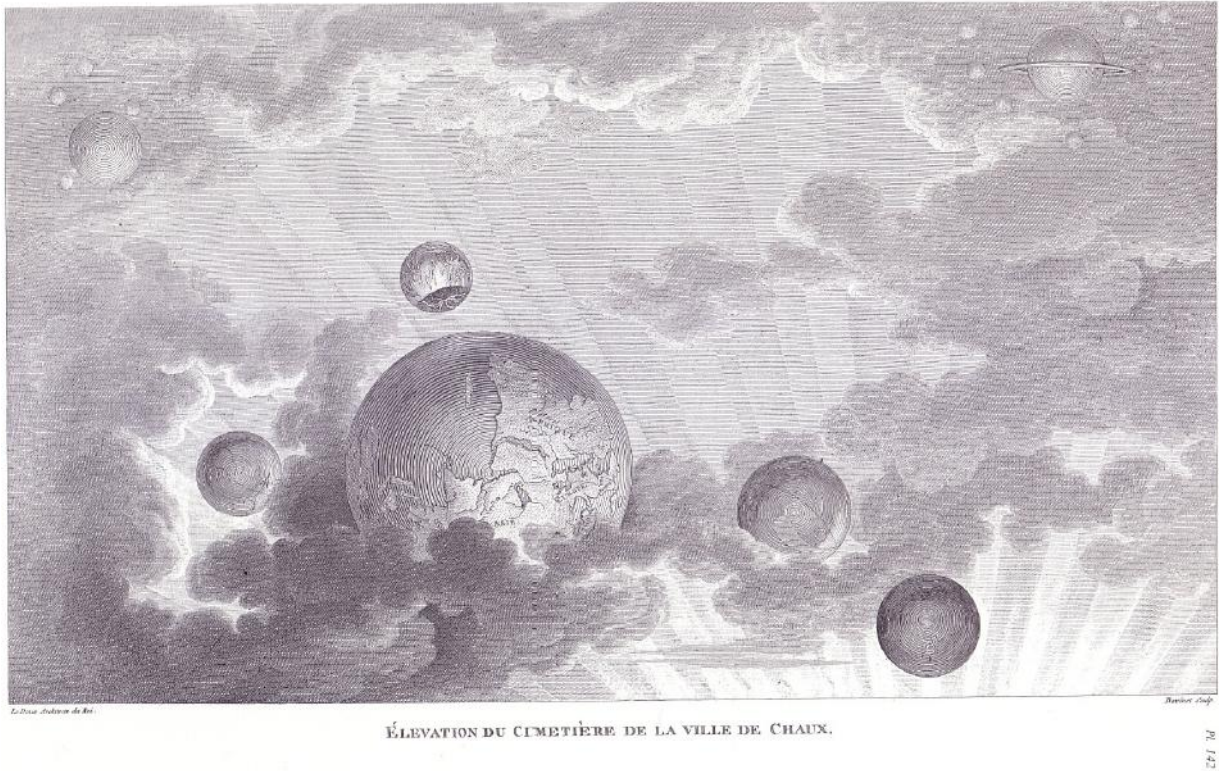
【図1-11】ルドゥ(ラナゾネット彫版)「ショーの都市の墓地、断面図、平面図」
『建築論』1804年



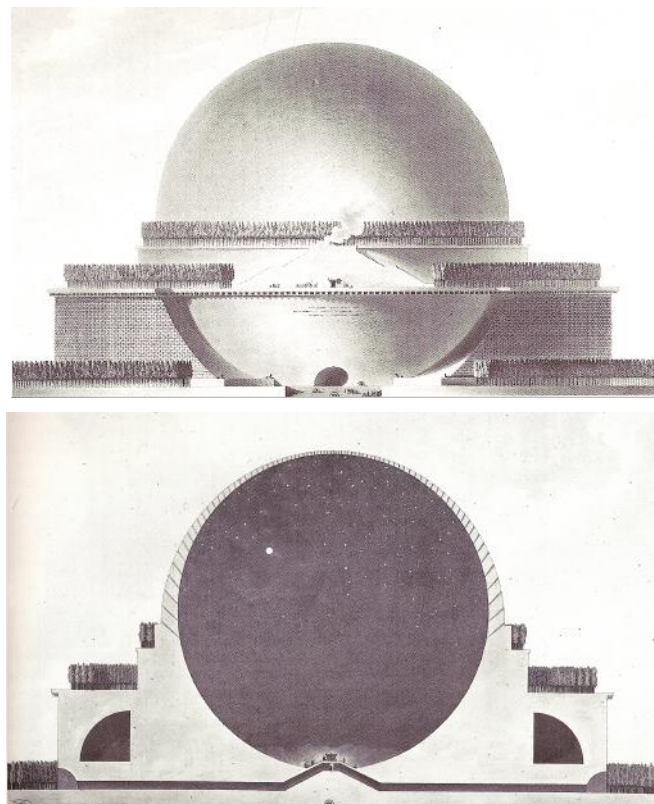
【図1-12】ルドゥ(ヴァン・マエル彫版)「農地管理人の家」
ラメ版『ルドゥの建築論』1847年所収



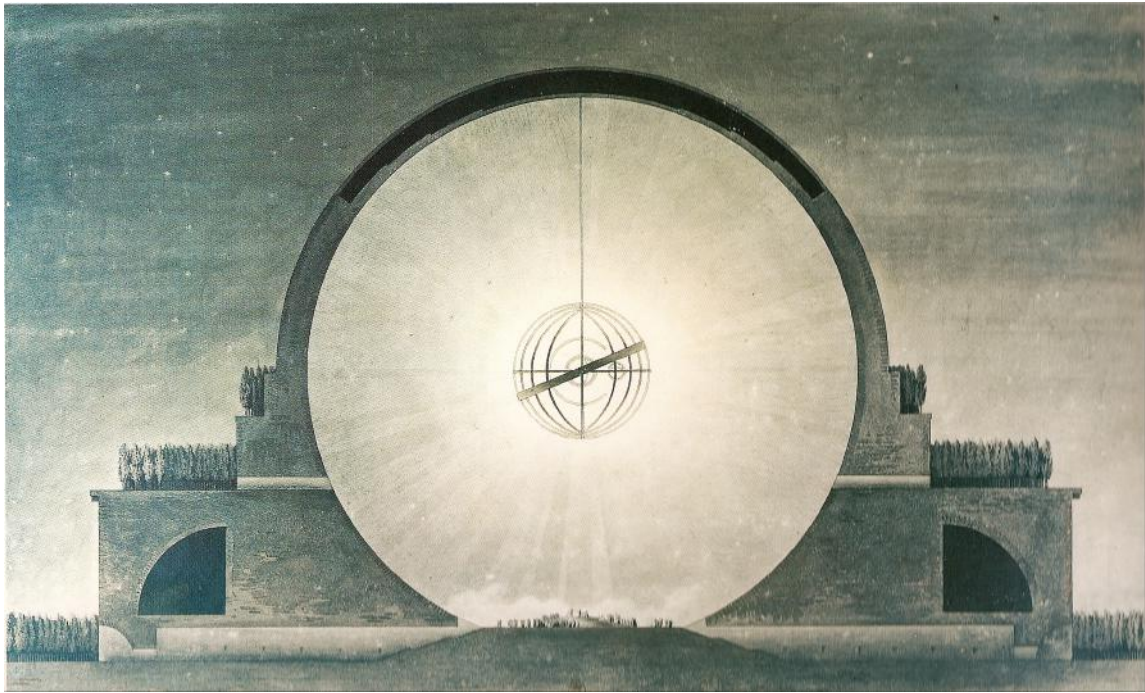
【図1-13】 ルドゥ(ボヴィネ彫版)「ショーの都市の墓地、立面図」
『建築論』1804年



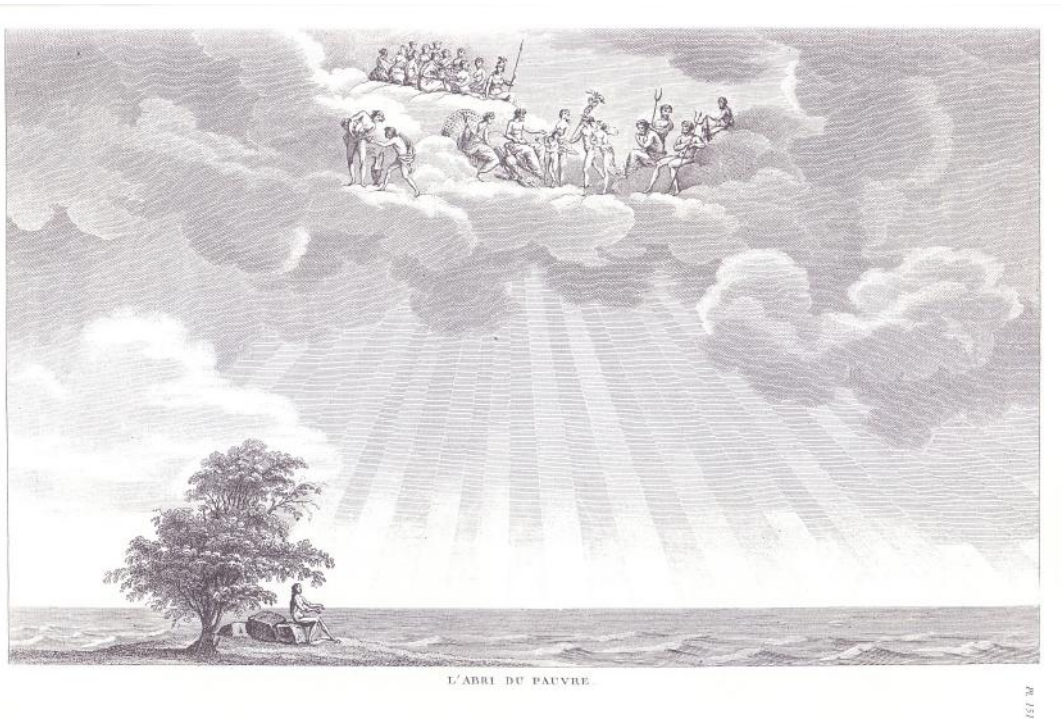
【図1-14】 ブレ「ニュートンのセノタフ」1784年
上: 立面図 / 下: 断面図(夜の場面)



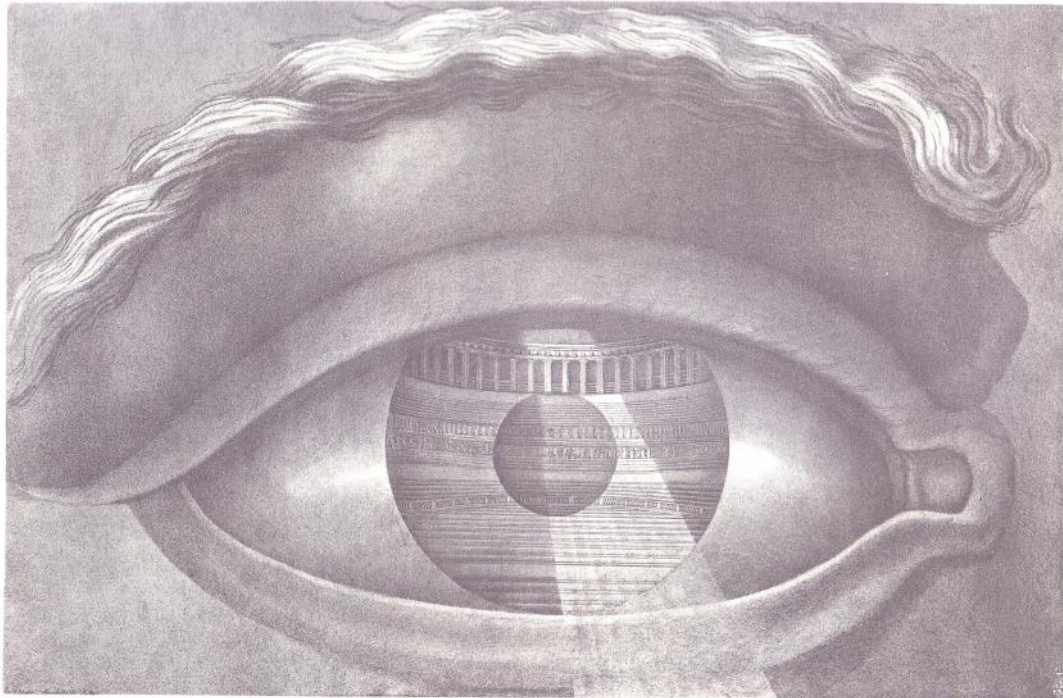
【図1-15】ブレ「ニュートンのセノタフ」1784年、昼の場面



【図1-16】ルドゥ(彫版未詳)「貧者の家」『建築論』1804年所収



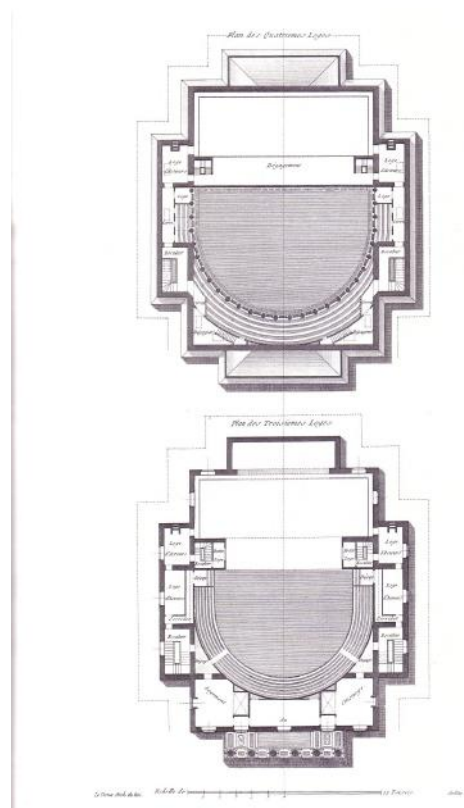
【図1-17】 ルドゥ案(彫版未詳)「ブザンソンの劇場への一瞥」『建築論』1804年所収



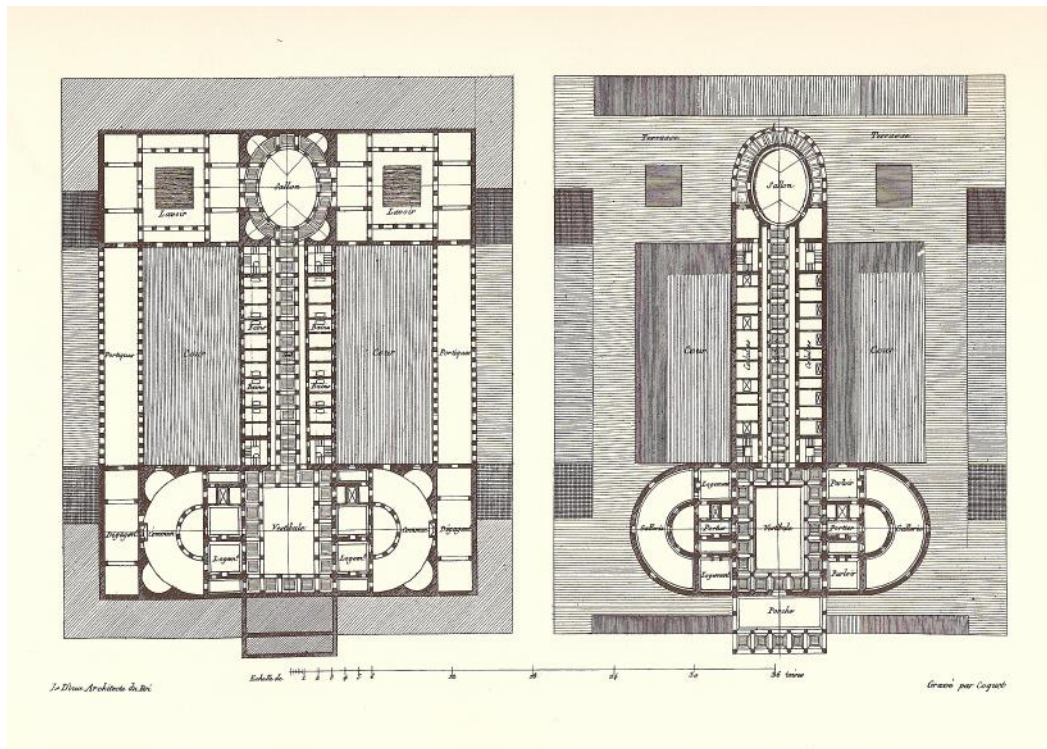
【図1-18】 ルドゥ(デュピュイ彫版)「ショーの製塩所一帯の地図」
『建築論』1804年所収



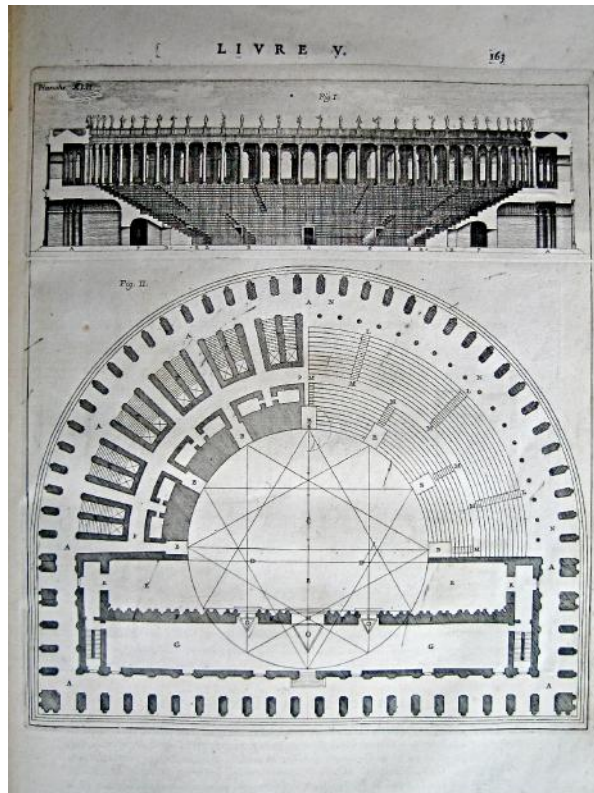
【図1-19】 ルドゥ(スリエ彫版)「ブザンソンの劇場、4階席と5階席の平面図」
『建築論』1804年所収



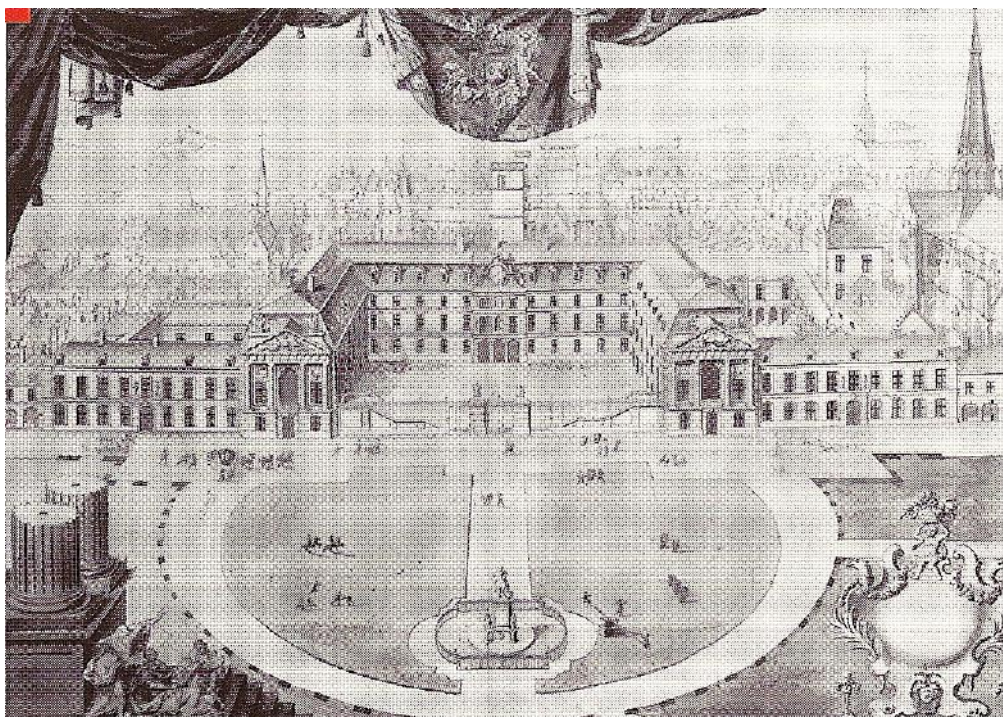
【図1-20】 ルドゥ(コケ彫版)「オイケマ、ギリシアのモニュメントの断片」
『建築論』1804年所収



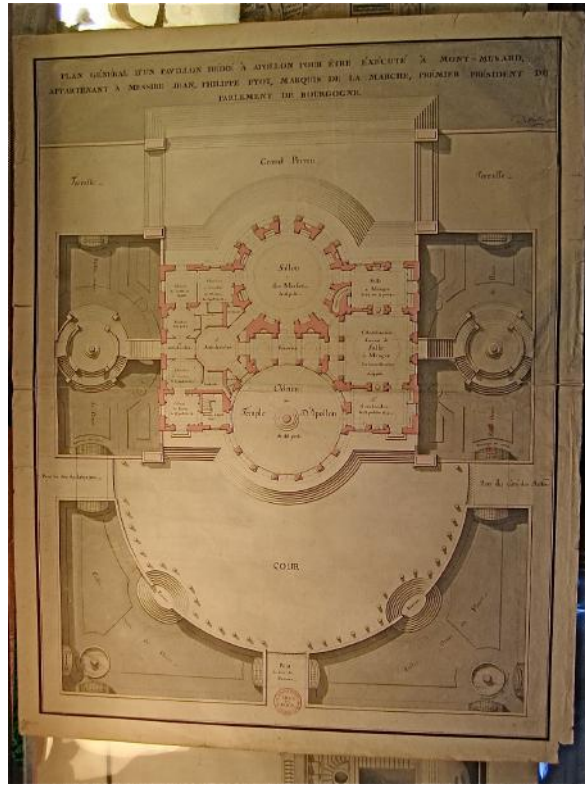
【図1-21】 クロード・ペロー「古代ローマ劇場の復元図」
『ウィトルウィウスの建築十書』1673年所収



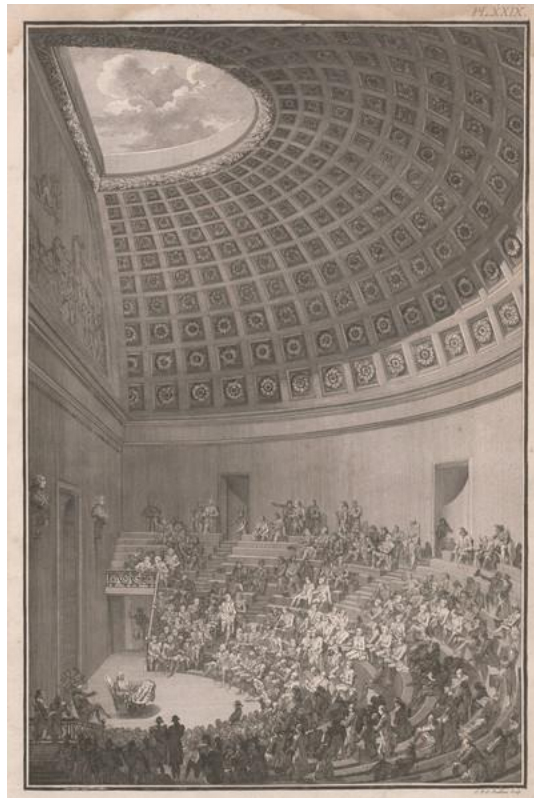
【図1-22】 ジュール・アルドゥアン=マンサール「ディジョンの市庁舎のための計画案」1688年



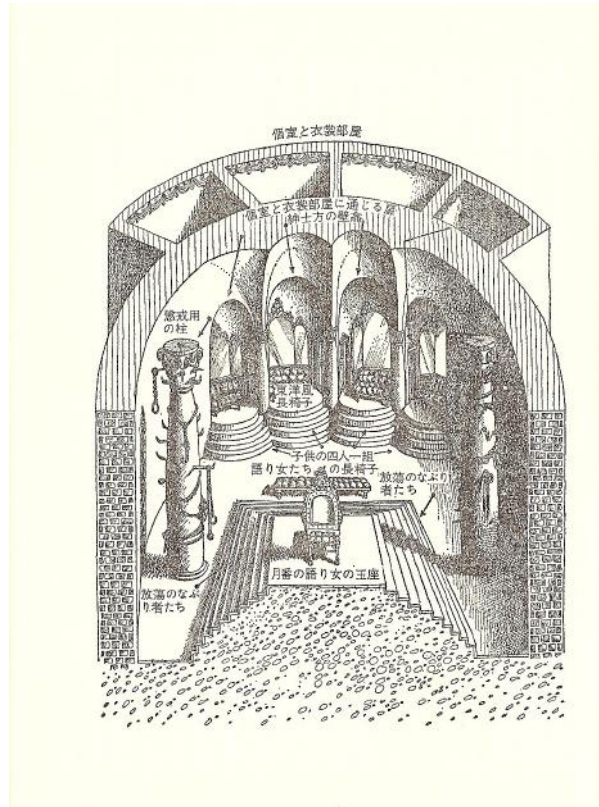
【図1-23】 シャルル・ド・ヴァイ「モンミュザール城のアポロン神殿のための平面配置図」
年代未詳



【図1-24】 ジャック・ゴンドゥアン(クロード=ルネ=ガブリエル・ブロー彫版)
《外科医学校の描写》1780年



【図1-25】 ラモン・アレジャンドロ『ソドム百二十日』シリング城の集会の間の想像図



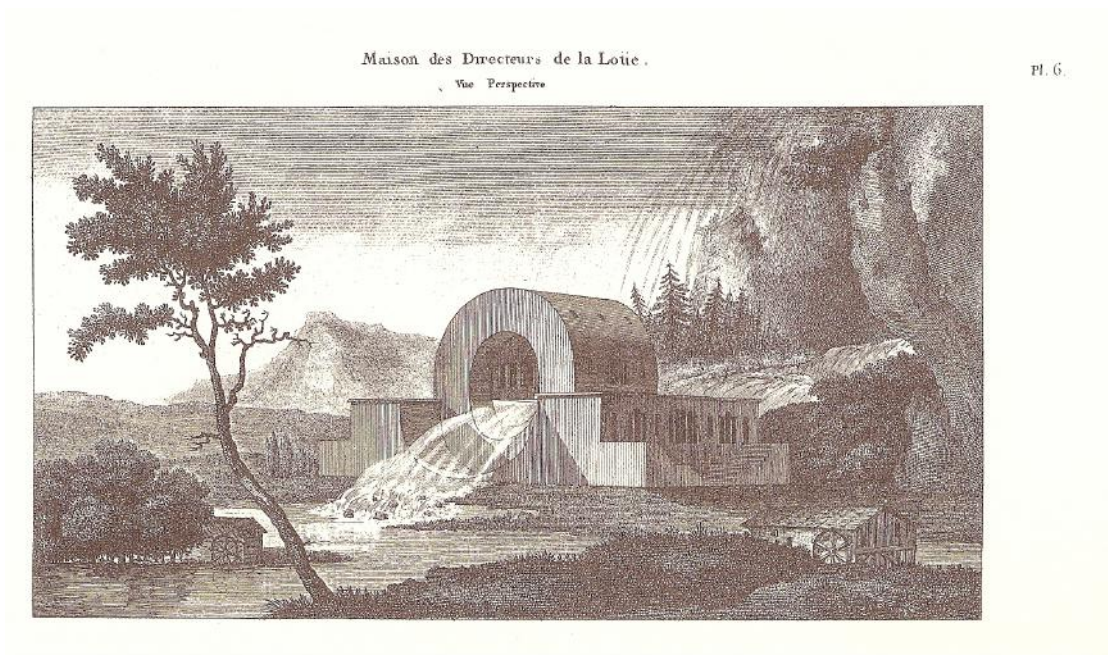
【図1-26】 ルドゥ設計、アルケ=スナンの王立製塩所、塩水煮沸所の外壁の装飾



【図1-27】 ルドゥ設計、アルケ=スナンの王立製塩所正門のグロット



【図1-28】 ルドゥ(ヴァン・マエルとマイエ彫版)「ルー河の水源監視人の家」
『建築論』1804年所収



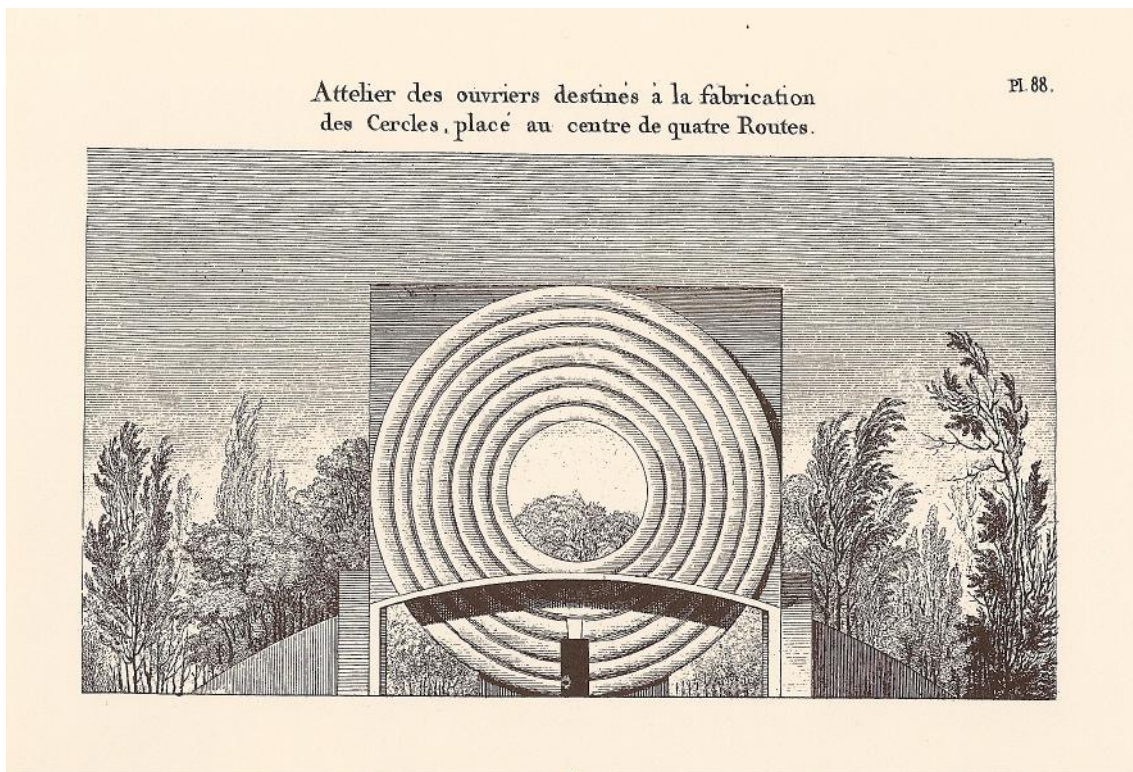
【図1-29】 ルドゥ設計、カフェ・ミリテール内の壁面装飾、1762年、パリ、カルナヴァレ美術館
左：ヘラクレスの持物、ネメアのライオンの皮(力)とユピテルの雷(勇気と迅速さ)をあしらった盾が中央に配されている
右：メドゥーサの頭部を飾るアテネの盾(神聖な力による庇護と不可侵)と、ヘラクレスの棍棒(力)



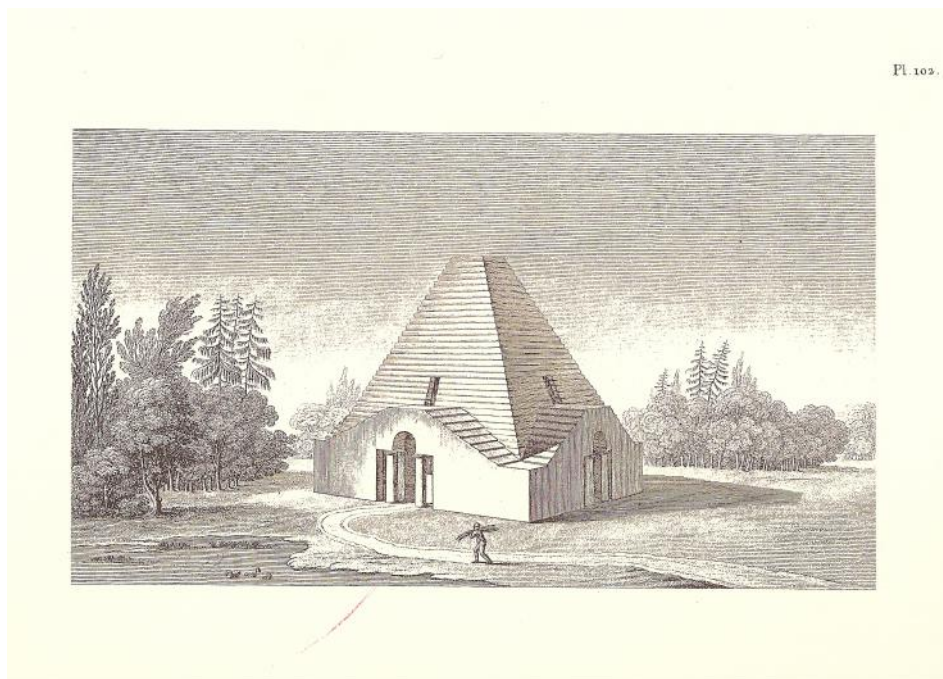
【図1-30】 ルドゥ設計、ジョセフ・メティヴィエとジャン=バティスト・ボワトンによるレリーフ、ユゼスの邸館の応接間、1767年



【図1-31】ルドゥ(彫版未詳)「樽のタガ職人の仕事場」『建築論』1804年



【図1-32】 ルドゥ(彫版未詳)「樵夫の家」『建築論』1804年

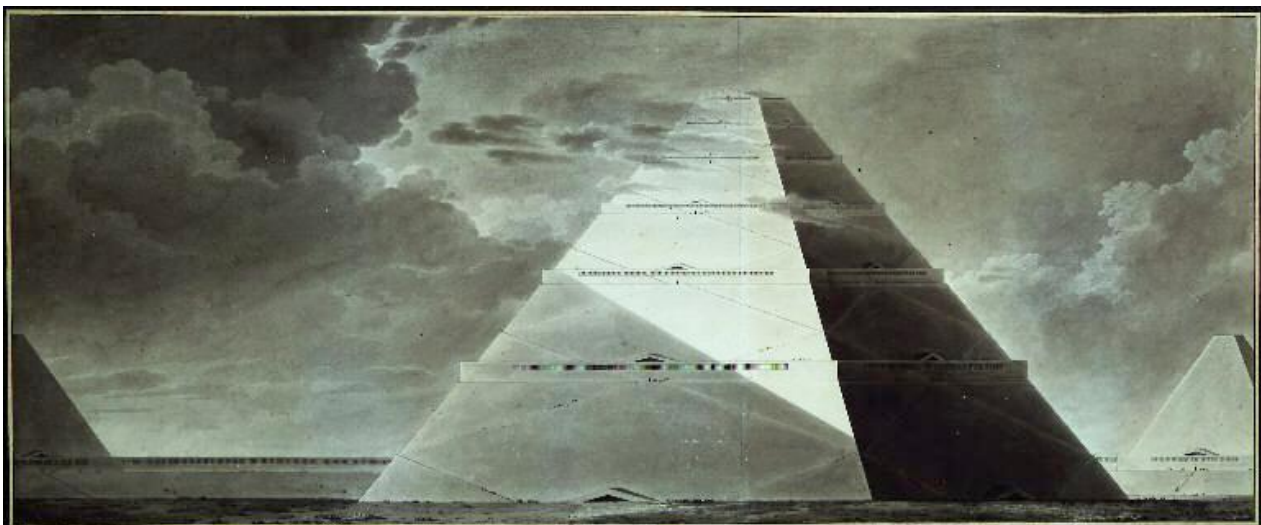


【図1-33】 ジャン=ジャック・ルクー「家畜小屋」1777-1814年



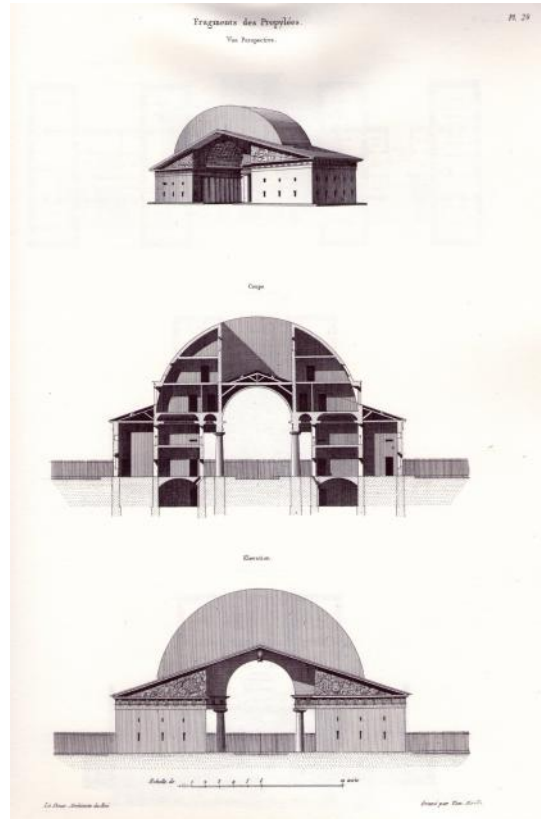
Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

【図1-34】 ブレ「エジプト風のセノタフ」1781-1793年



Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

【図1-35】 ルドゥ(ヴァン・マエル彫版)「パリの徴税市門」 ラメ版『ルドゥの建築論』1847年所収
 古代ギリシア神殿風のペディメントを貫いて、中央にパラディアン・モチーフが配される



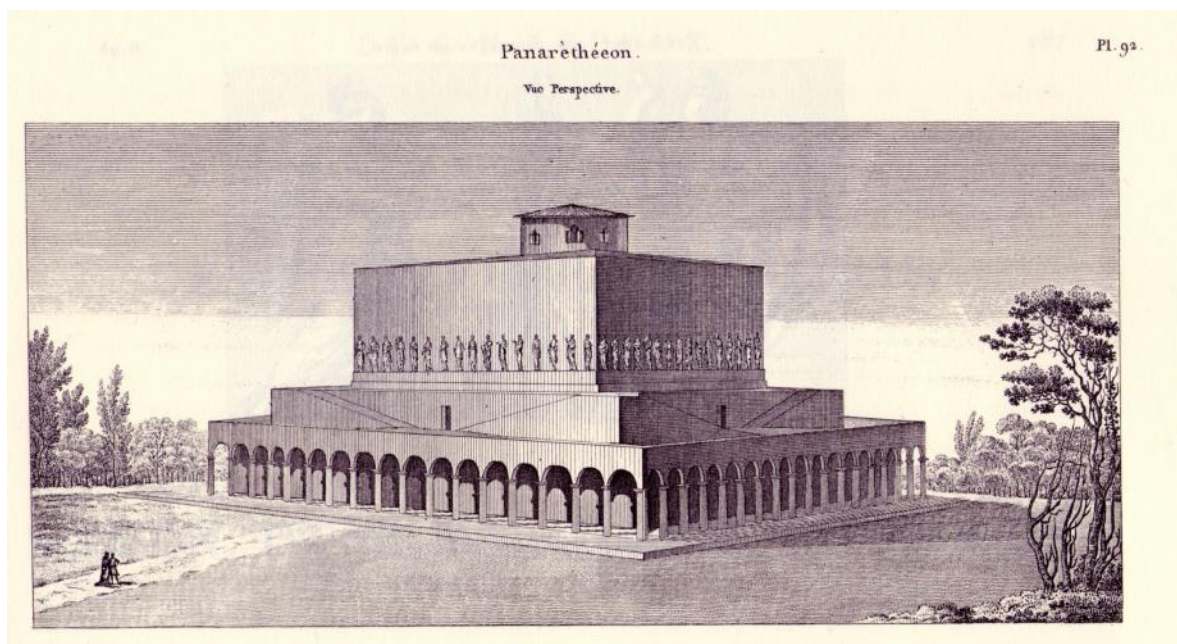
【図1-36】 ルドゥ(彫版未詳)「パリの徴税市門」 ラメ版『ルドゥの建築論』1847年所収
 古代ギリシア風の柱頭とペディメント(三角破風)



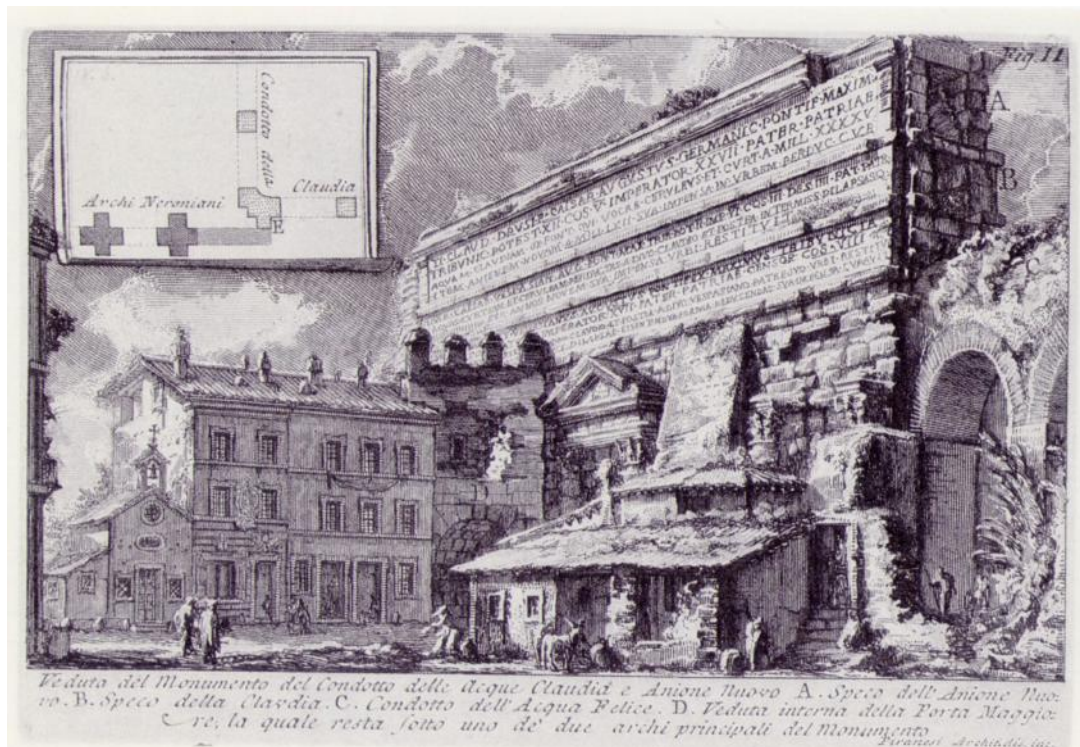
【図1-37】 ルドゥ設計、ダンフェール・ロシュローの市門



【図1-38】 ルドゥ(ヴァン・マエル彫版)「パナレテオン(諸美徳の神殿)」『建築論』1804年所収
美徳の擬人化たる彫像が建築物を装飾する



【図1-39】 G.B. ピラネージ「アクア・クラウディアとアニオ・ヌオーヴォの水道管遺跡」
『ローマの古代遺跡』第1巻、1753年所収
過剰なまでの「文字」の精確さ



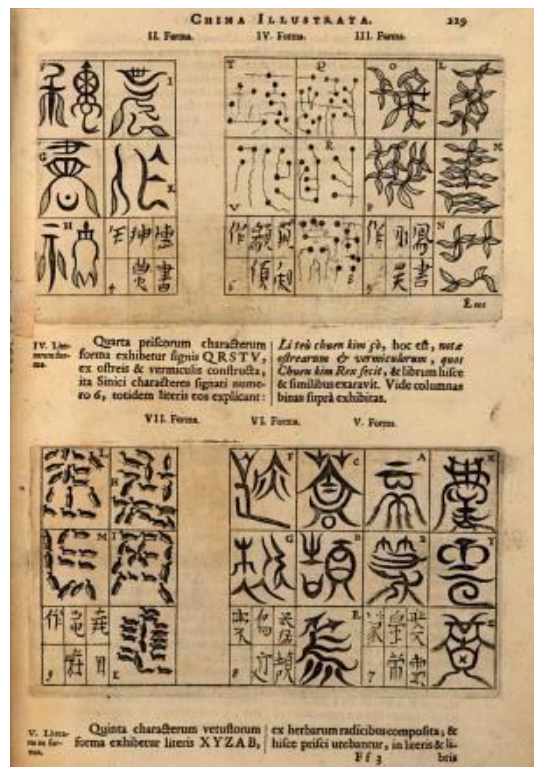
【図1-40】 G.B. ピラネージ《カンポ・ヴァッチーノの眺め》1772年



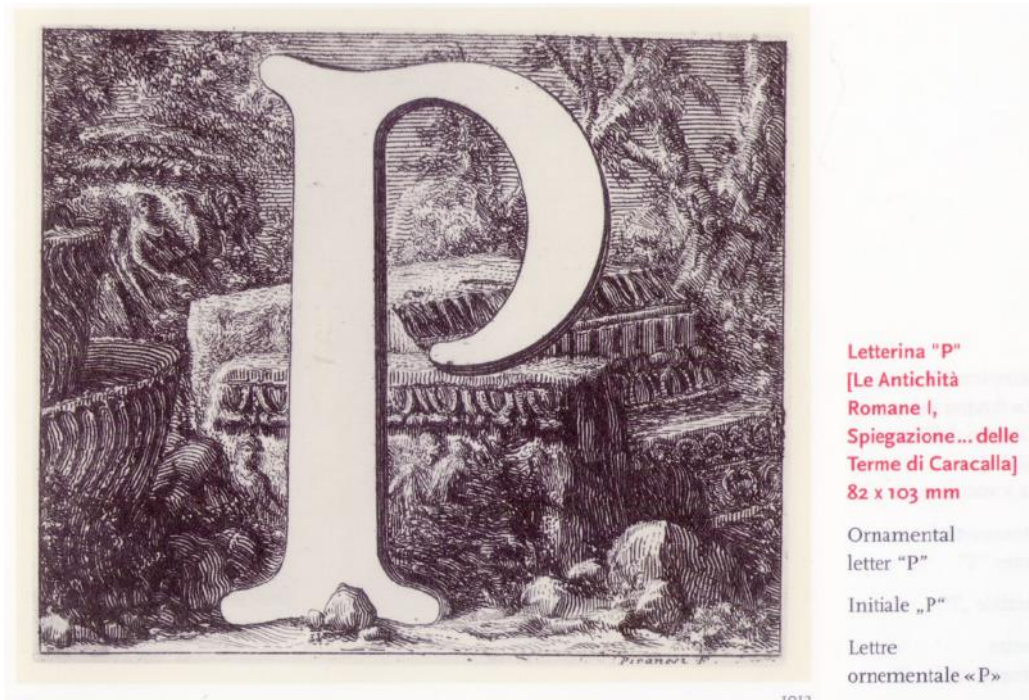
【図1-41】 G.B. ピラネージ、装飾文字P



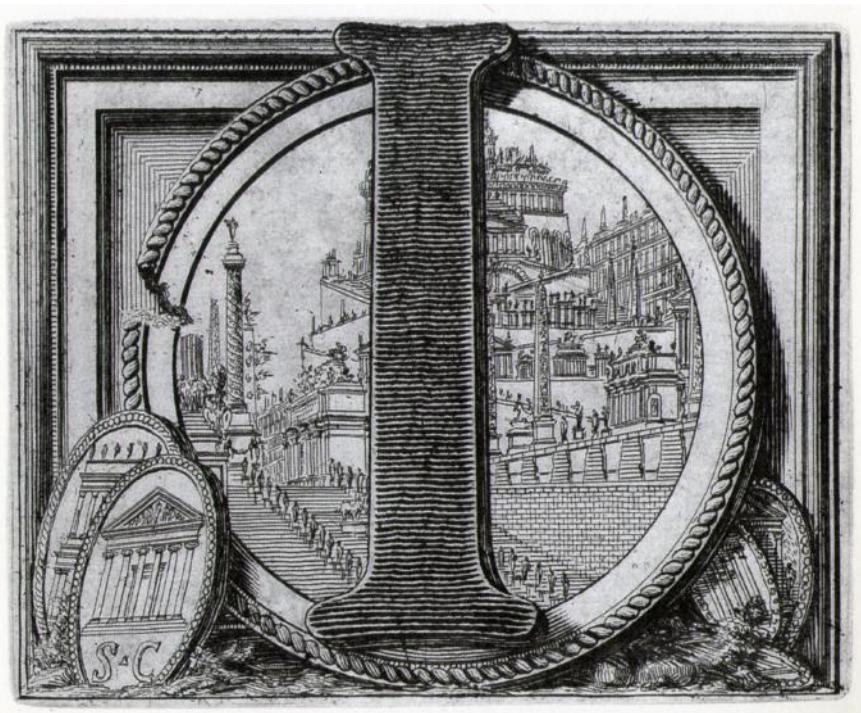
【図1-42】 アタナシウス・キルヒヤー『シナ図絵』1667年より



【図1-43】 G.B. ピラネージ、装飾文字P



【図1-44】 ピラネージ、装飾文字I



【図1-47】ポワイエ「オテル・デューの計画案、中庭の透視図」1785年
中央には礼拝堂が配される



【図1-48】 マルキ・ド・サド「諸芸術の家」1782年頃(ムラデン・コズル作成のダイアグラム)

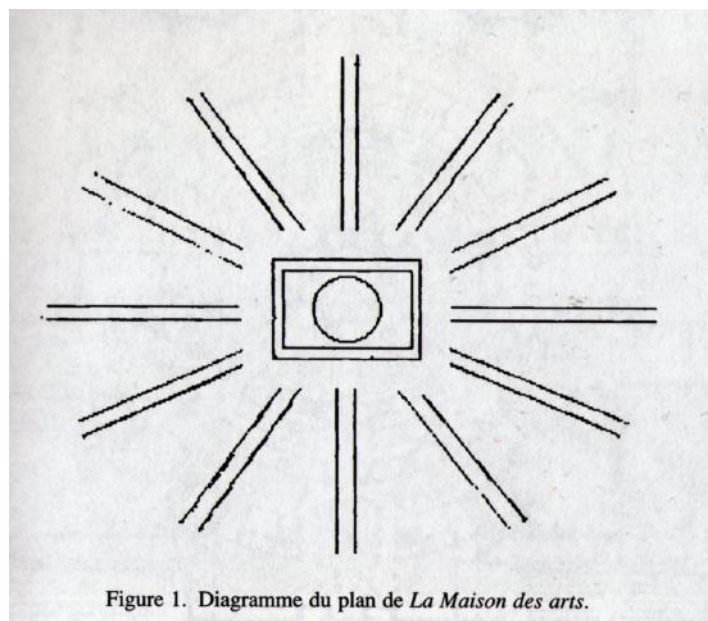
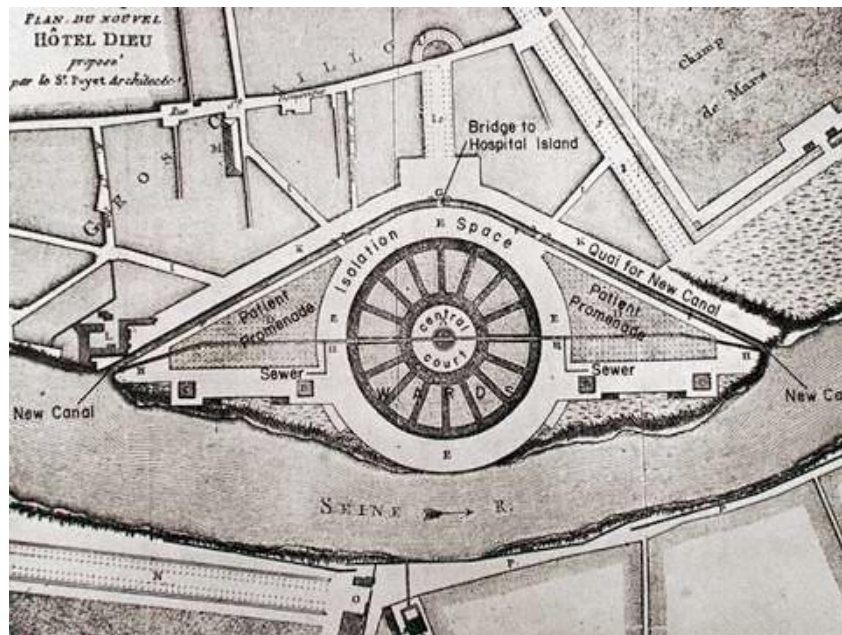
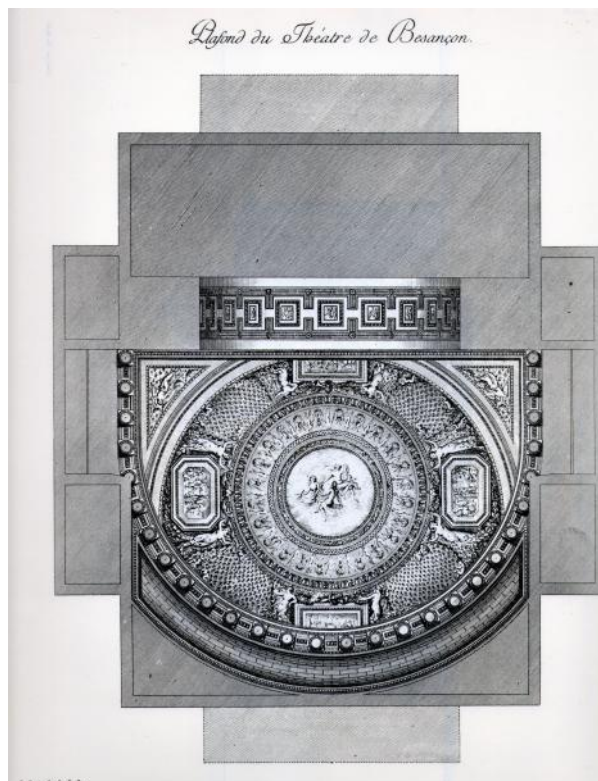


Figure 1. Diagramme du plan de *La Maison des arts*.

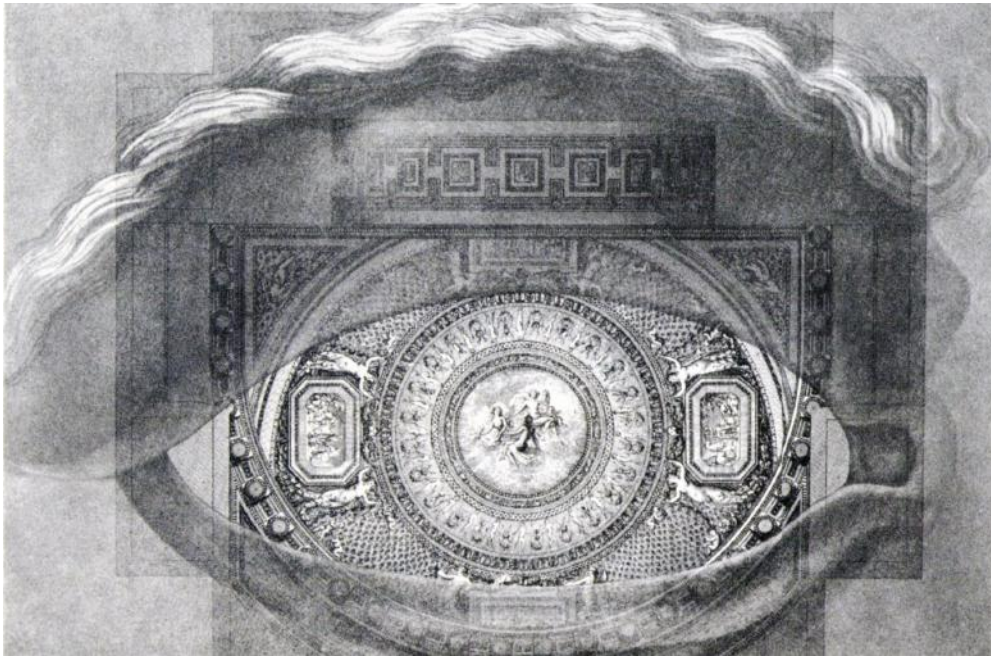
【図1-49】 ポワイエ、オテル・デューの平面図



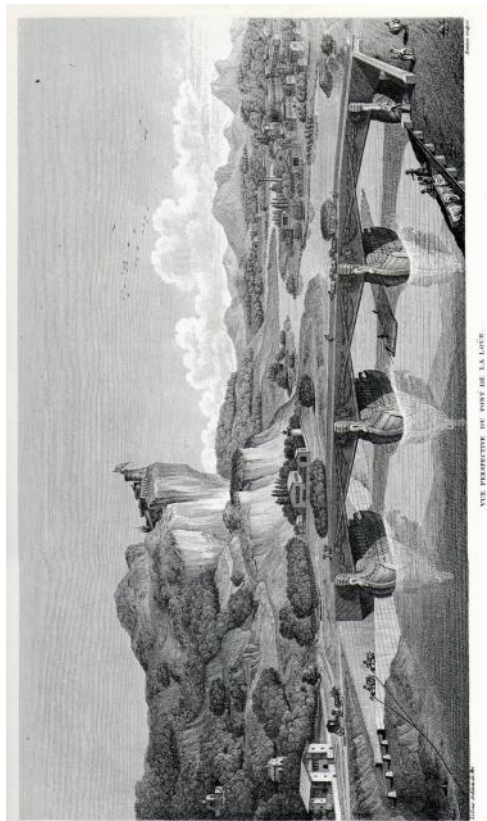
【図1-50】 ルドゥ(彫版未詳)「ブザンソンの劇場の天井画」『建築論』1804年



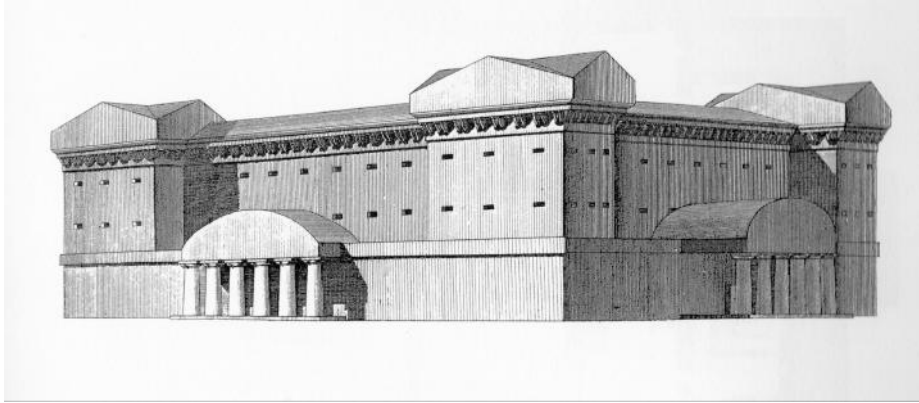
【図1-51】 エル=コーリー作成、「ブザンソンの劇場への一瞥」と「ブザンソンの劇場の天井画」の合成画像



【図1-52】 ルドゥ(ボヴィネ彫版)「ルー河に掛かる橋の透視図」『建築論』1804年
(書籍に挿入された通りの向き)



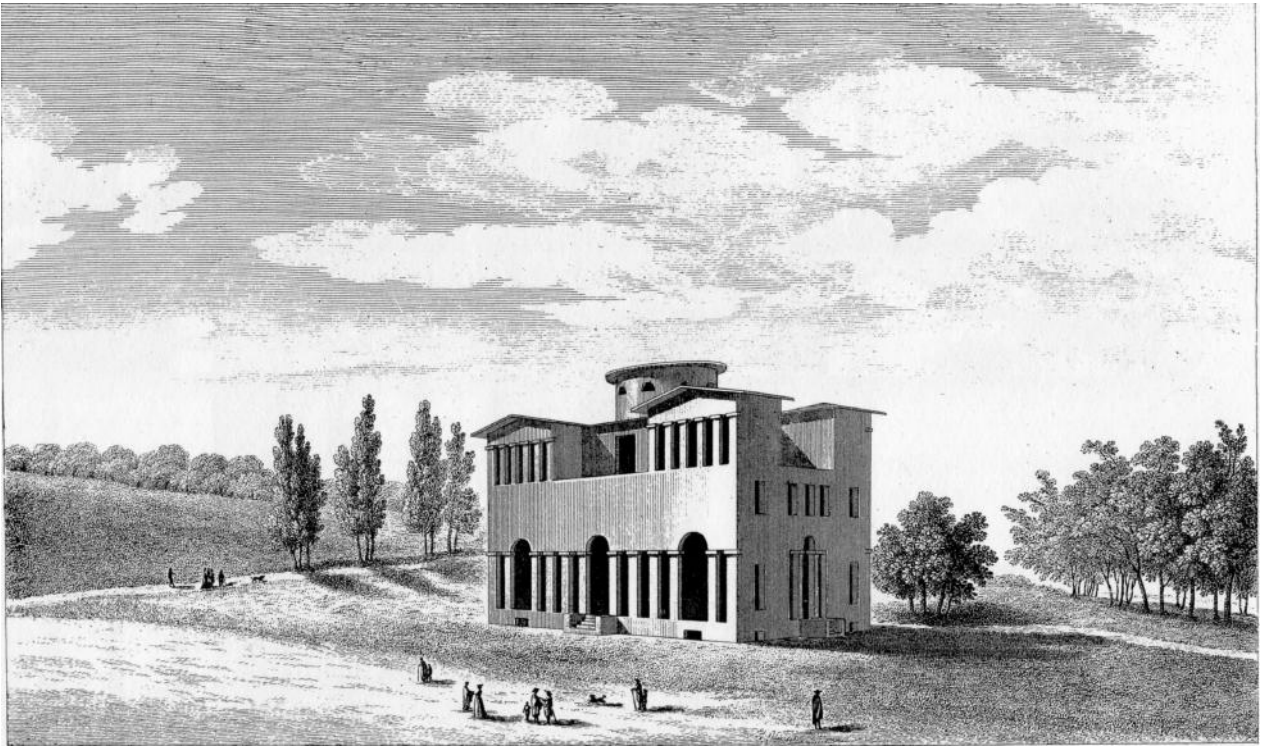
【図2-1】 ルドゥ(彫版未詳)「エクス監獄」ラメ版『ルドゥの建築論』1847年



【図2-2】 アドルフ・ロース「ミハエル広場の建築(通称ロース・ハウス)」1911年



【図2-3】 ルドゥ(コケ彫版)「田舎の家」『建築論』1804年



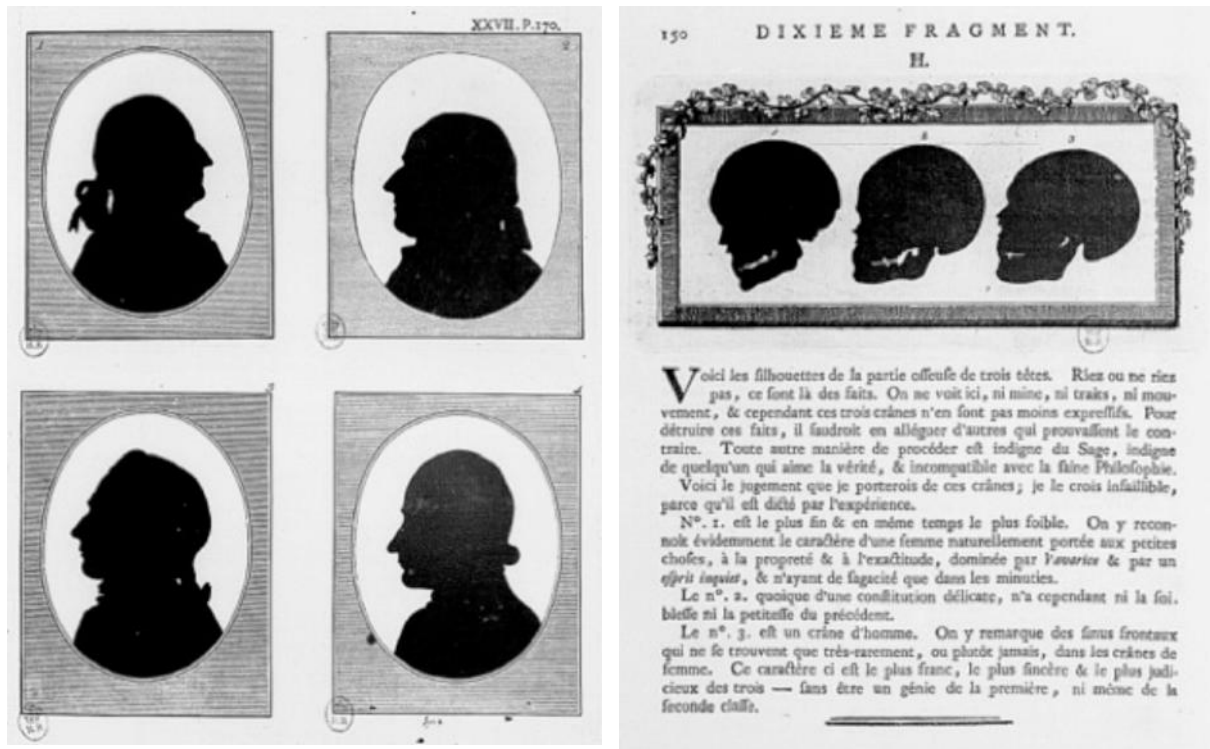
【図2-4】 ルドゥ設計、ナシオンの徴税市門



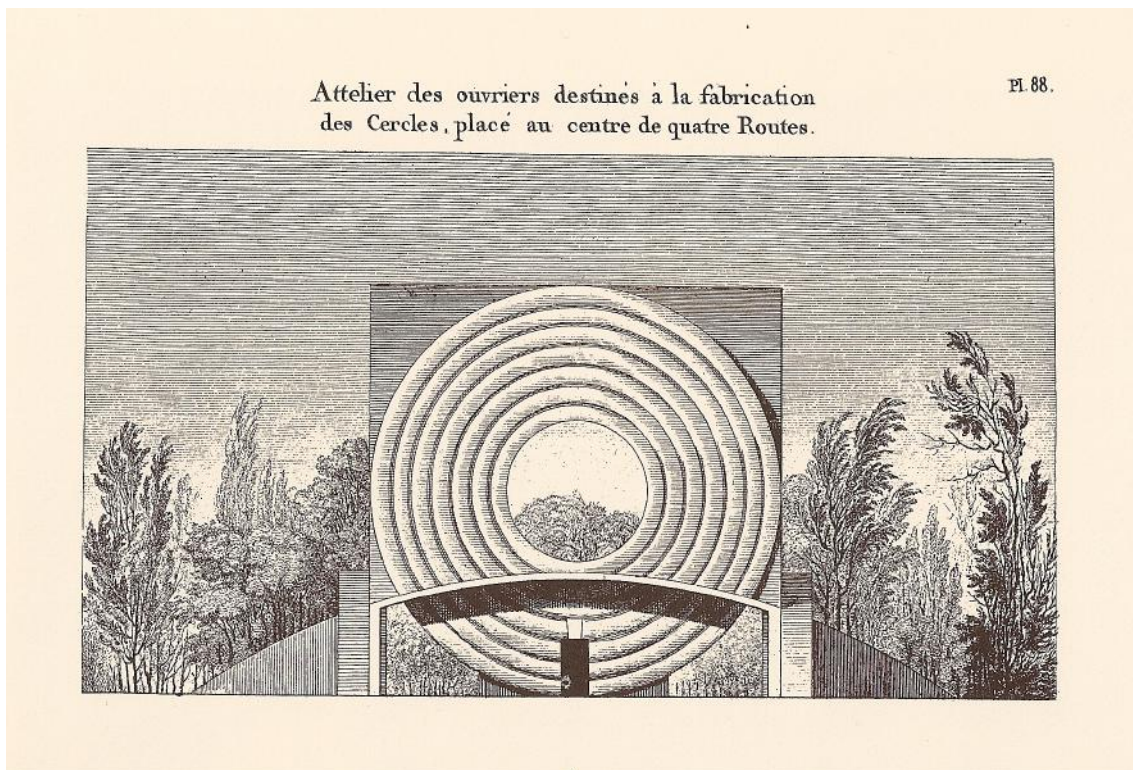
【図2-5】 シャルル・ル・ブラン(B.ピカール彫版)「激しい恐怖」
『一般と個別の表情に関する講義』1698年



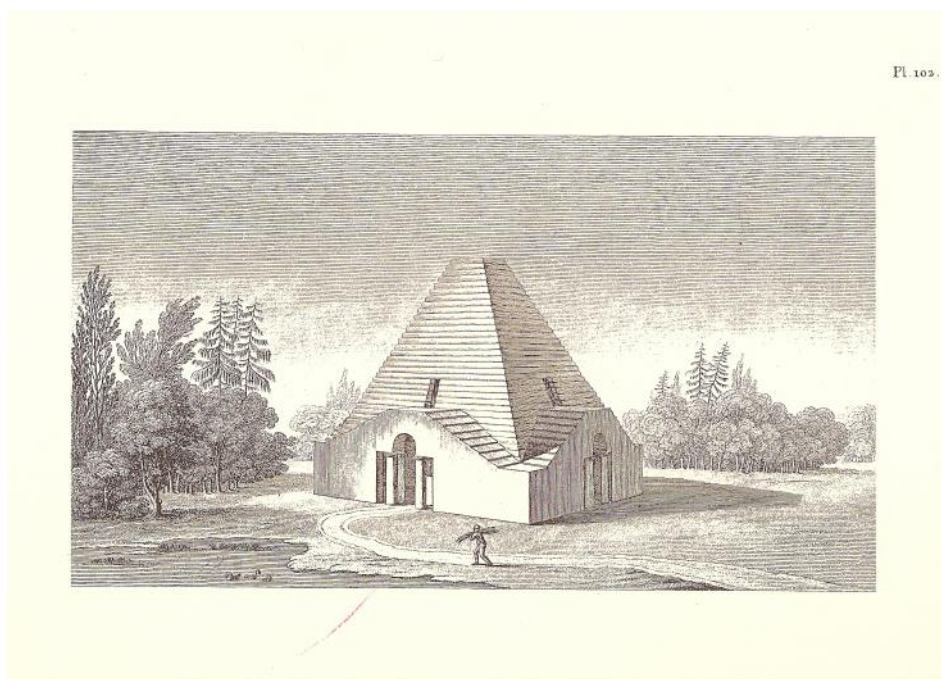
【図2-6】 ヨハン・カスパー・ラファターによる横顔のシルエット『観相学断章』1781-1803年



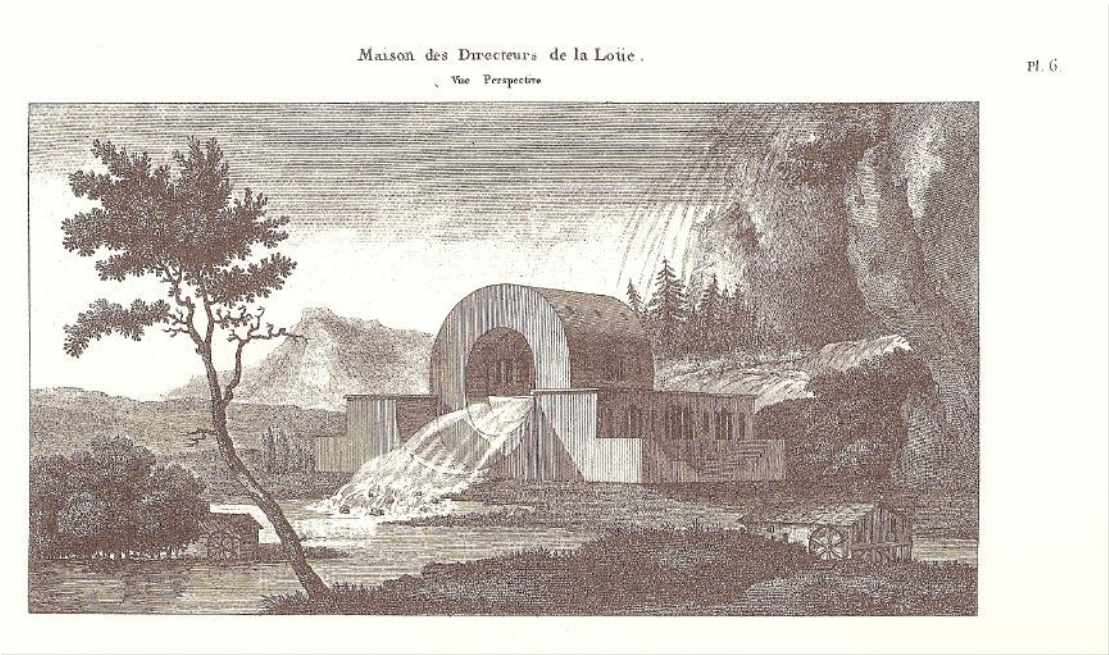
【図2-7】ルドゥ(彫版未詳)「樽のタガ職人の仕事場」『建築論』1804年



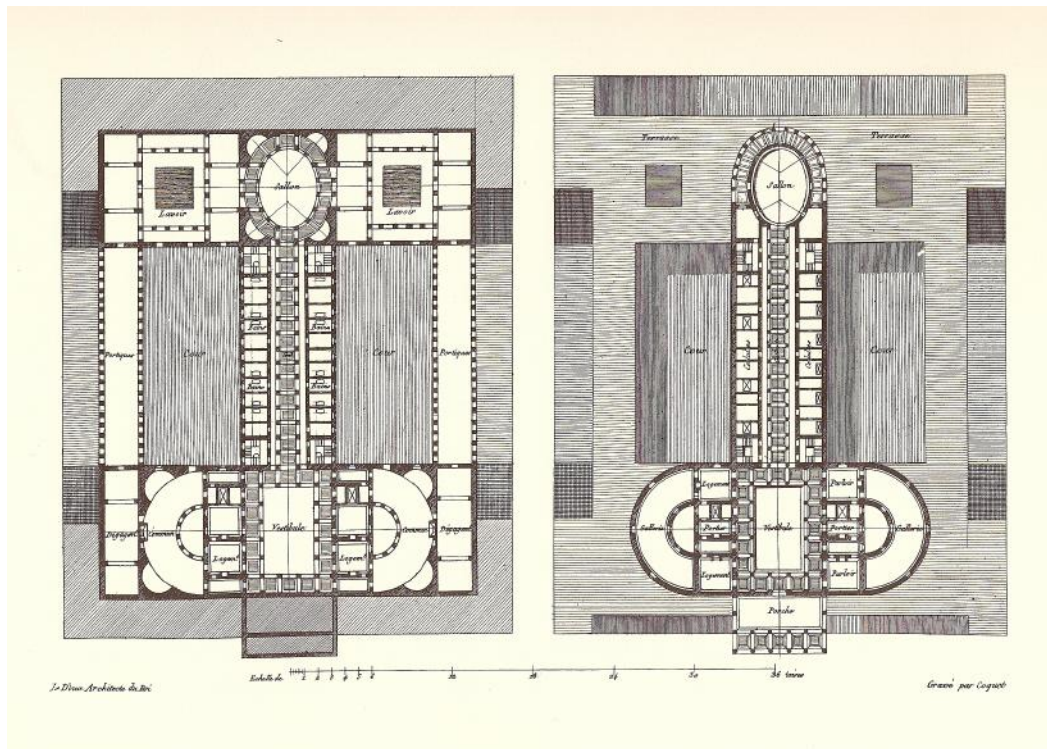
【図2-8】ルドゥ(彫版未詳)「樵夫の家」『建築論』1804年



【図2-9】 ルドゥ(ヴァン・マエルとマイエ彫版)「ルー河の水源監視人の家」
『建築論』1804年所収



【図2-10】 ルドゥ(コケ彫版)「オイケマ、ギリシアのモニュメントの断片」
『建築論』1804年所収

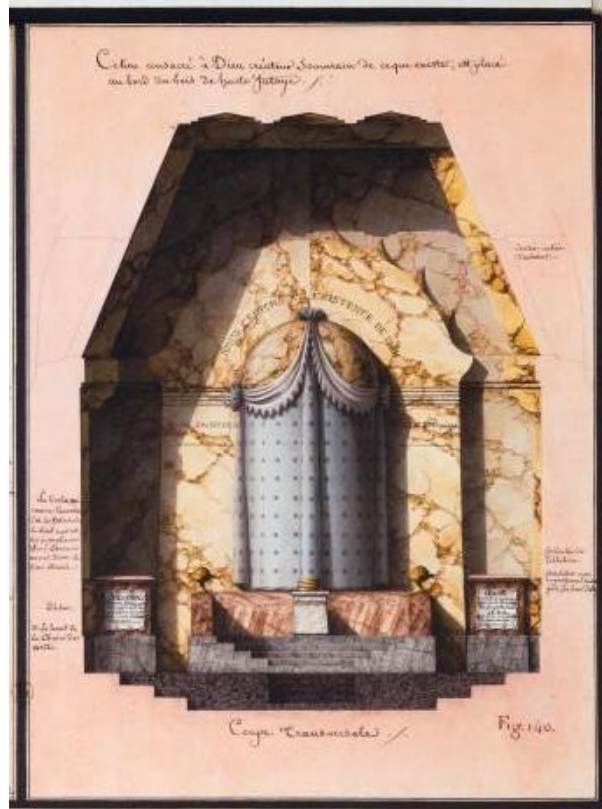


【図2-11】 ジャン=ジャック・ルクー「家畜小屋」1777-1814年



Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

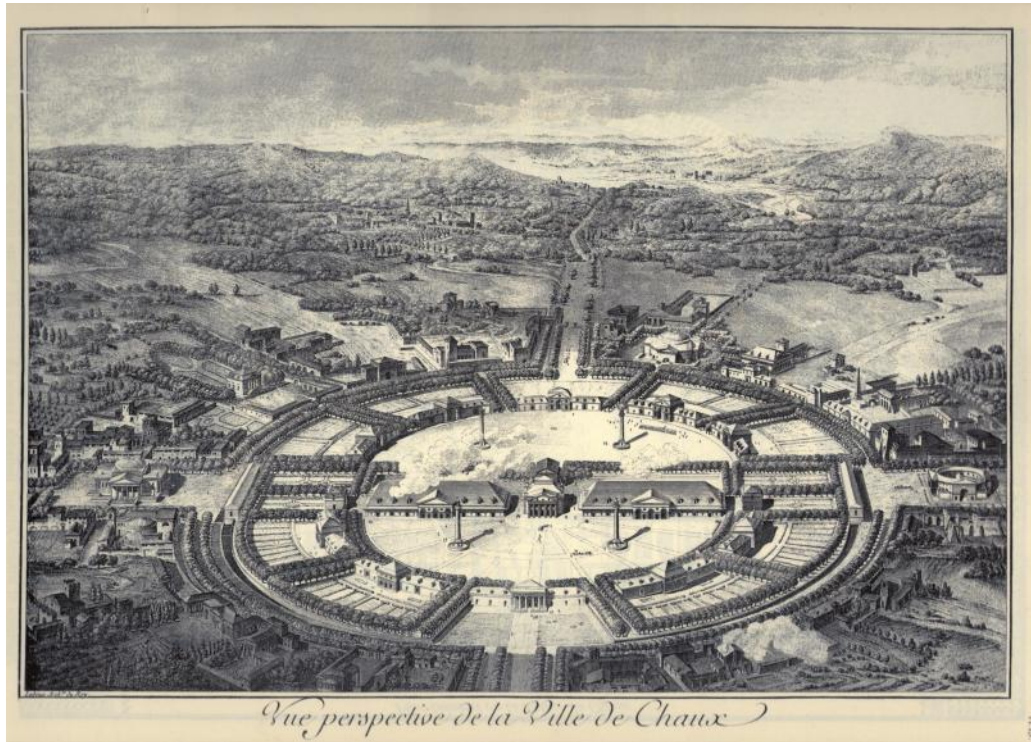
【図2-12】 ルクー「神に捧げられた場所」1777-1814年
上部のマニュスクリプトには「造物主(Dieu créateur)に捧げられたこの場所.....」とある



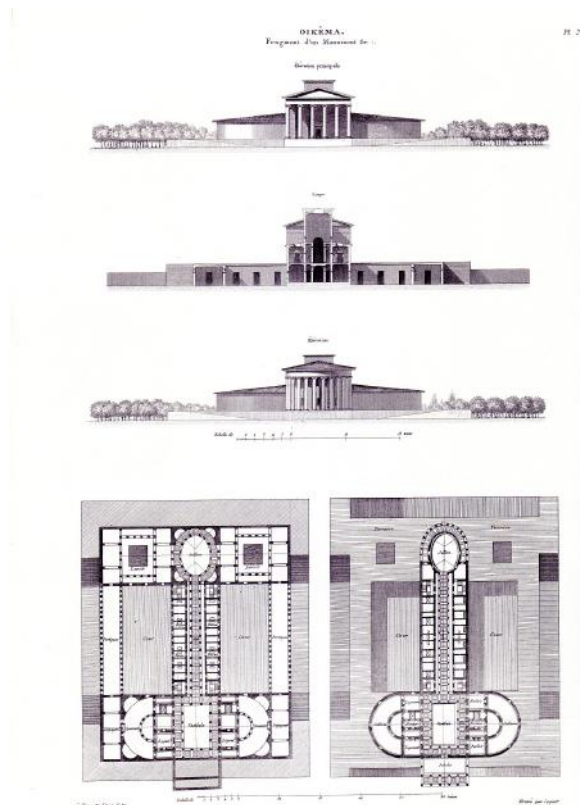
【図2-13】 パリ自然史博物館に収められた自然史上の「モンスター」の模型と標本



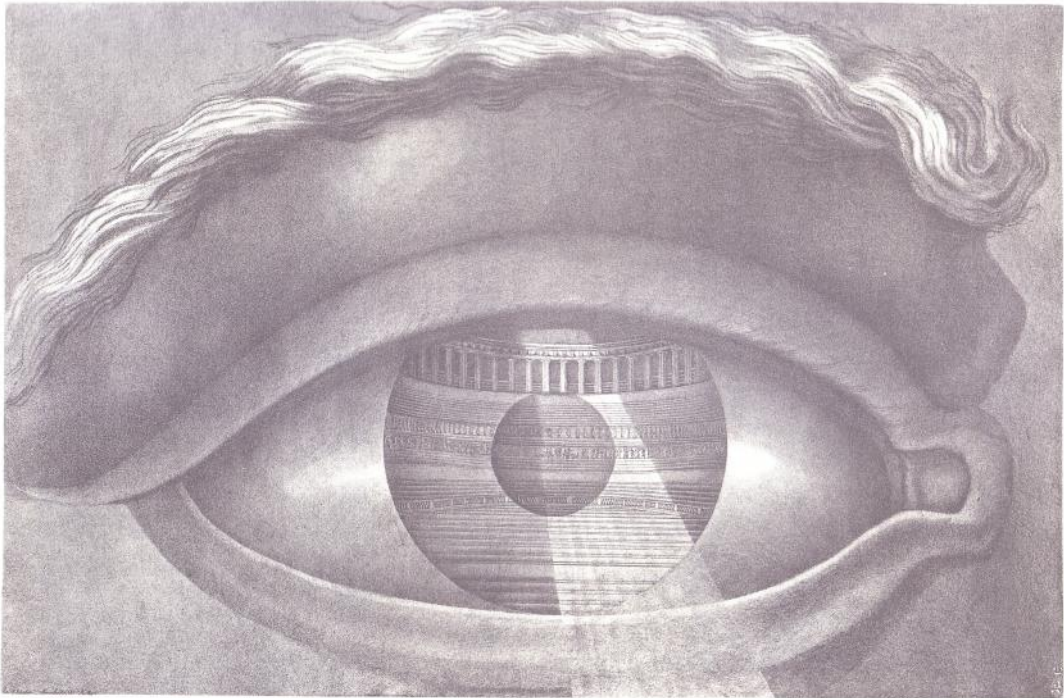
【図3-1】 ルドゥ(ベルト彫版)「ショーの街の透視図」『建築論』1804年



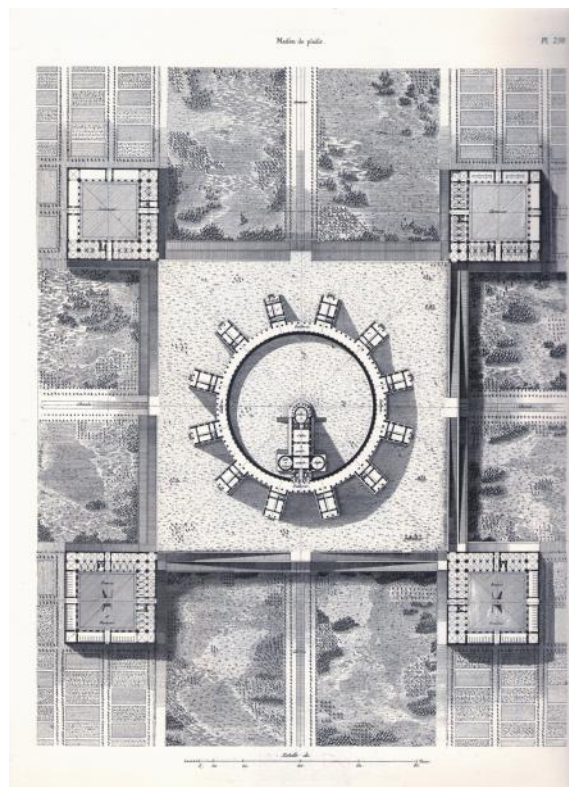
【図3-2】 ルドゥ(コケ彫版)「オイケマ、ギリシアのモニュメントの断片」『建築論』1804年所収



【図3-3】 ルドゥ案(彫版未詳)「ブザンソンの劇場への一瞥」『建築論』1804年所収



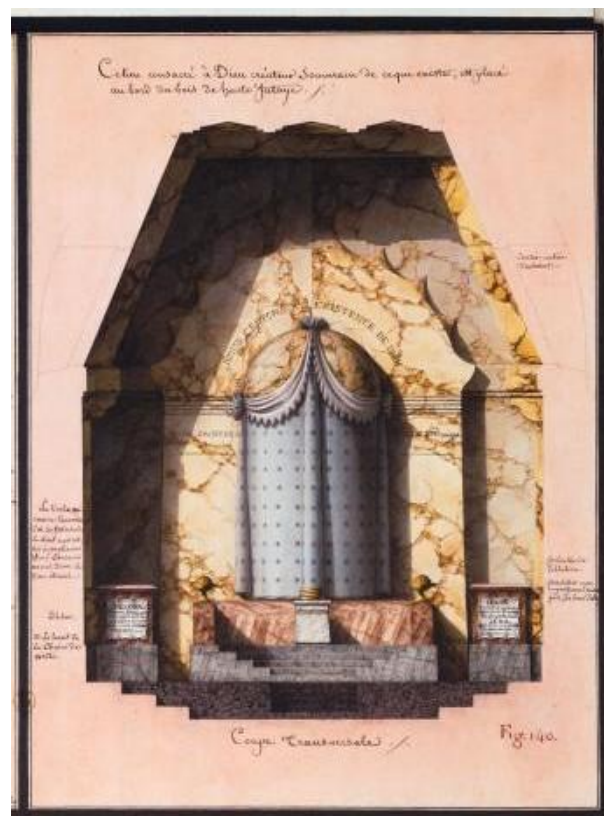
【図3-4】 ルドゥ(彫版未詳)「快樂の家」、ラメ版『ルドゥの建築論』1847年



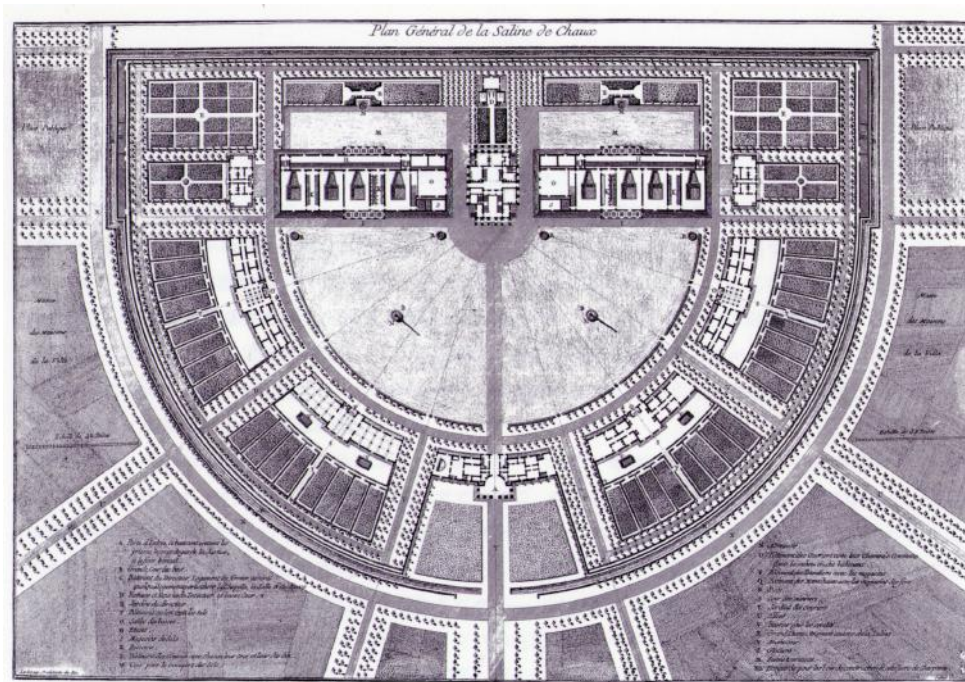
【図3-5】ニコラ・プッサン《プリアポスへの奉獻に際して女装するヒュメナイオス》
1634-38年、サン・パウロ美術館



【図3-6】ルクー「神に捧げられた場所」1777-1814年



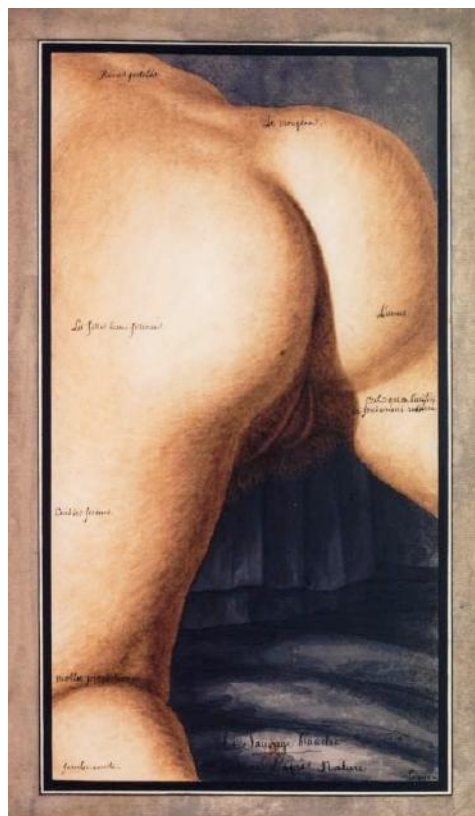
【図3-7】 ルドゥ(スリエ彫版)「王立製塩所の実現された平面図」
半円の中心部に「監督官の館」が座す



【図3-8】 ジュゼッペ・フェリーニと(もしくは)クレメンテ・スジーニ、異常分娩の解剖学模型
1771年以後、蠟製、フィレンツェ、ガリレオ科学史博物館

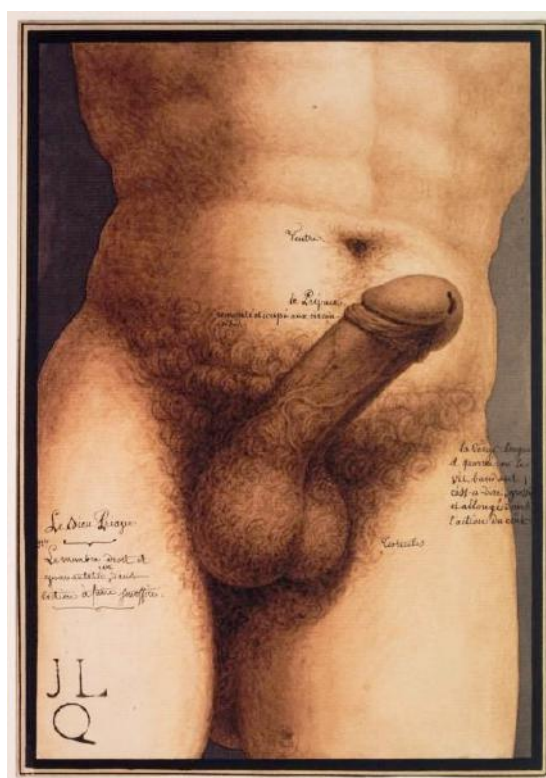


【図3-9】 ルクー「白い野生、自然に基づき描く」1779-1795年



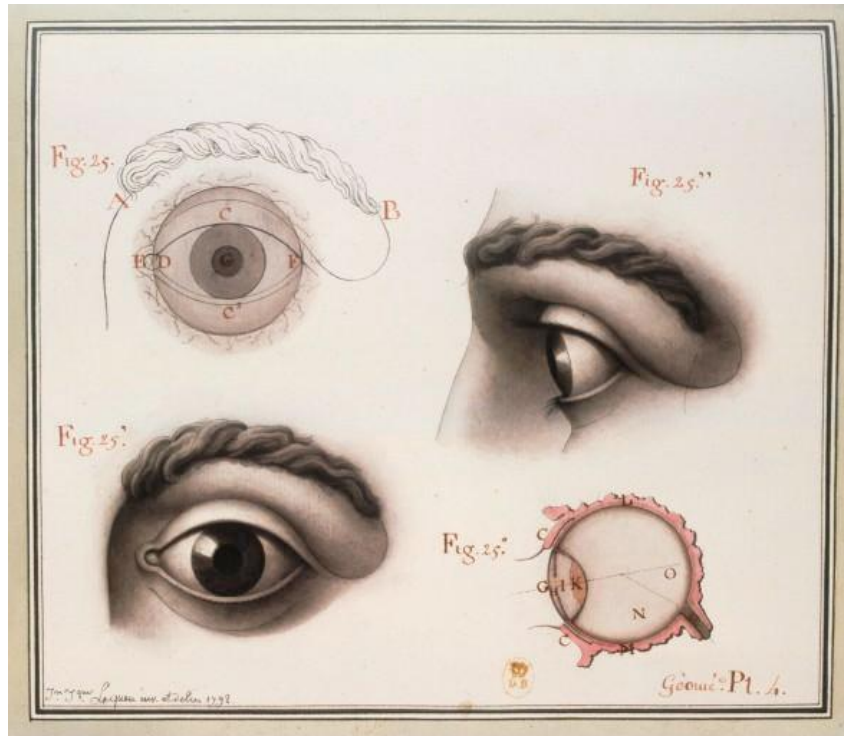
Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

【図3-10】 ルクー「プリアポス神」1779-95年



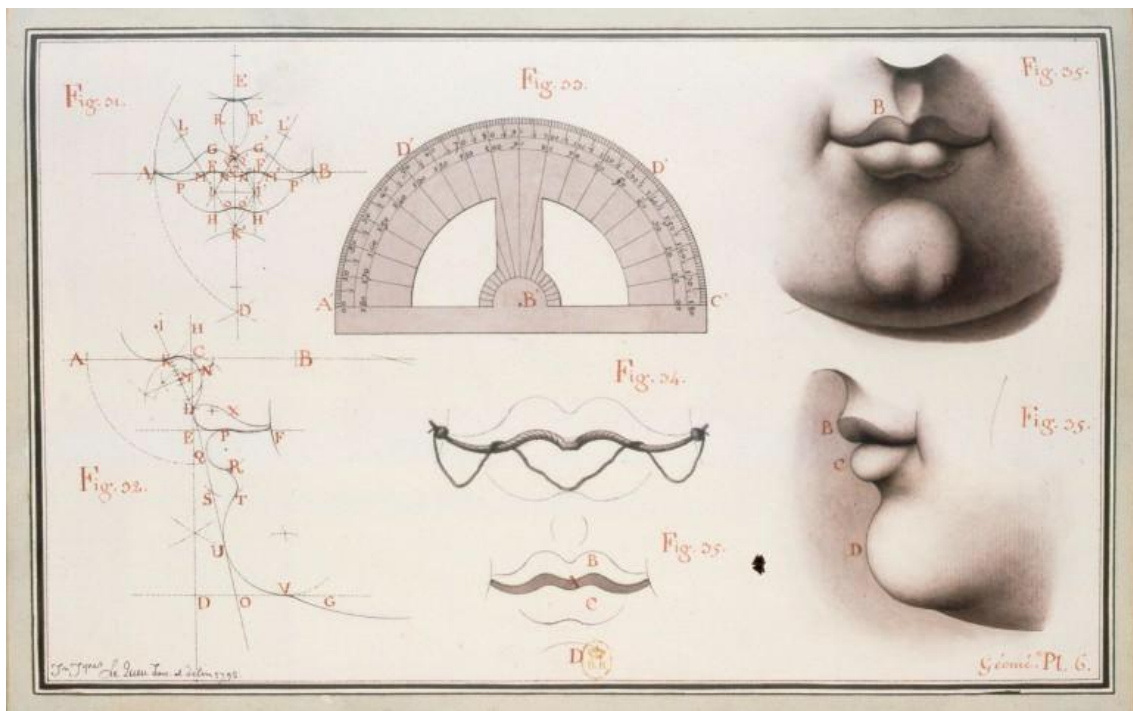
Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

【図3-11】 ルクー「目の習作」1792年



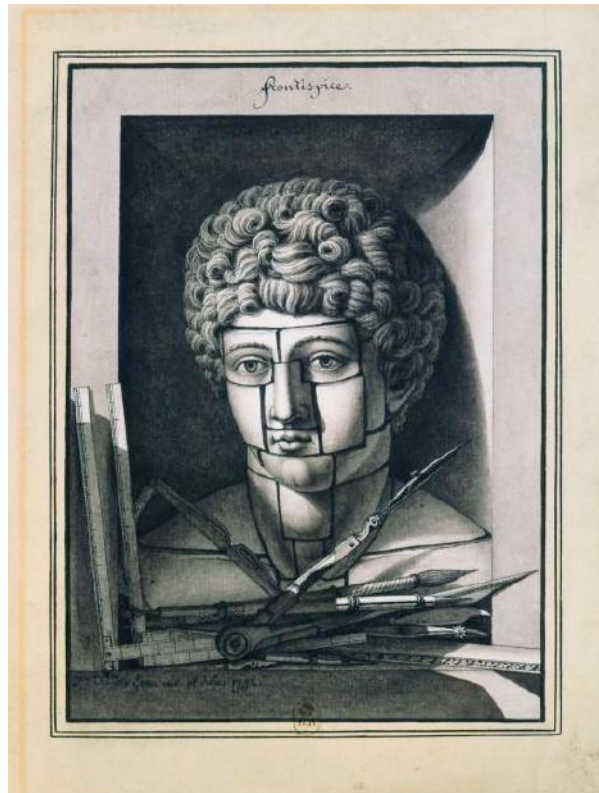
Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

【図3-12】 ルクー「唇の習作」1792年



Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

【図3-13】 ルクー「フロンティスピース」1792年

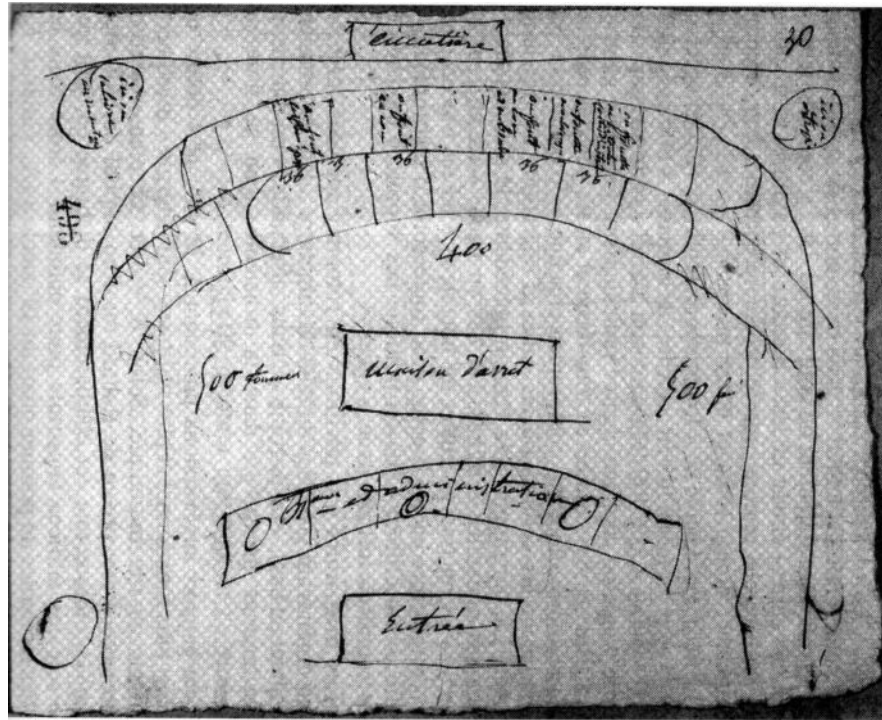


Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

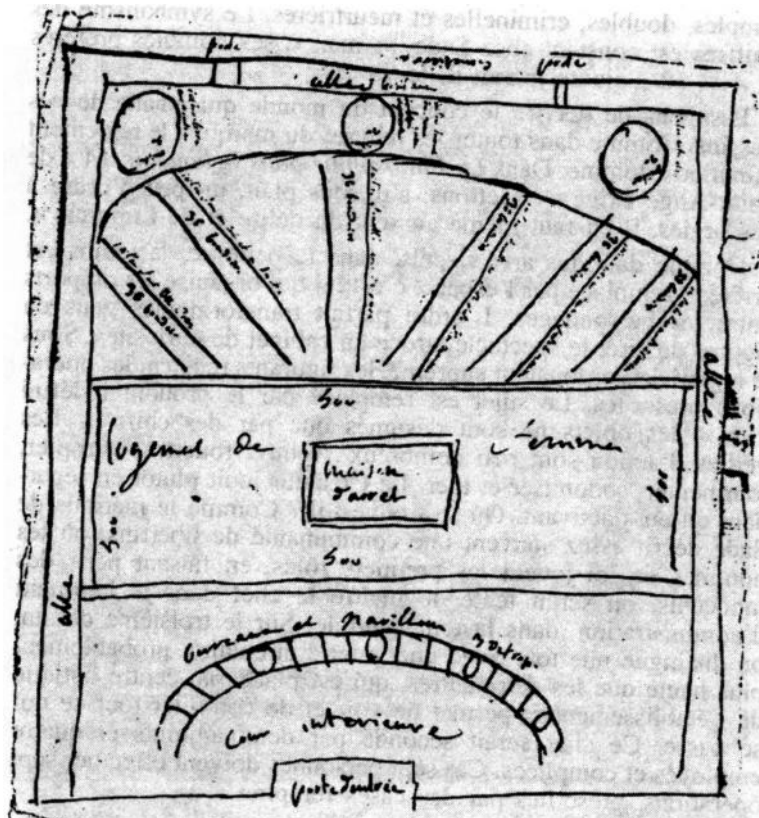
【図3-14】 テオドール・ジェリコー《手足の習作》1818-19年



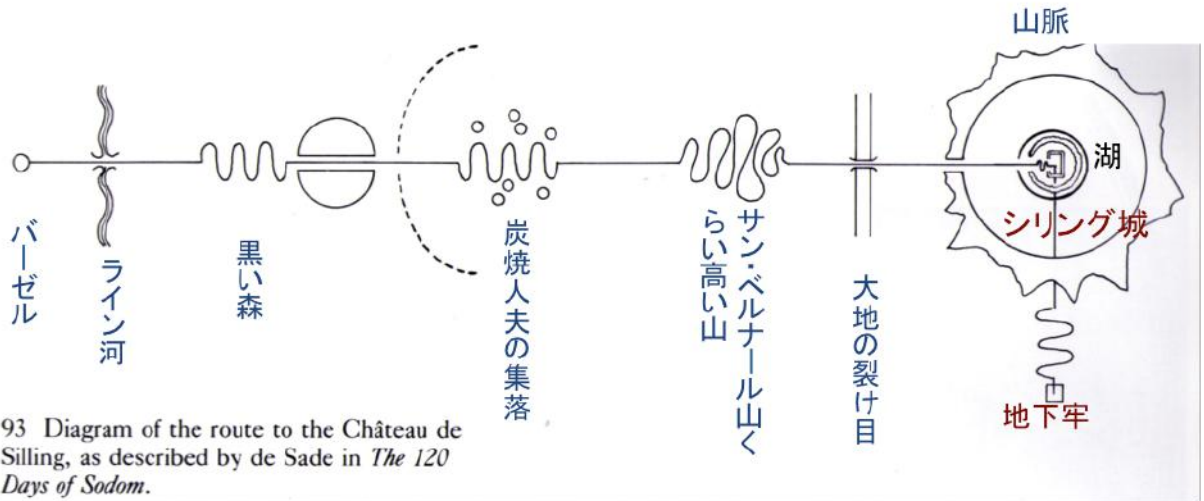
【図3-17】 サド「放蕩の館」第二案、年代未詳



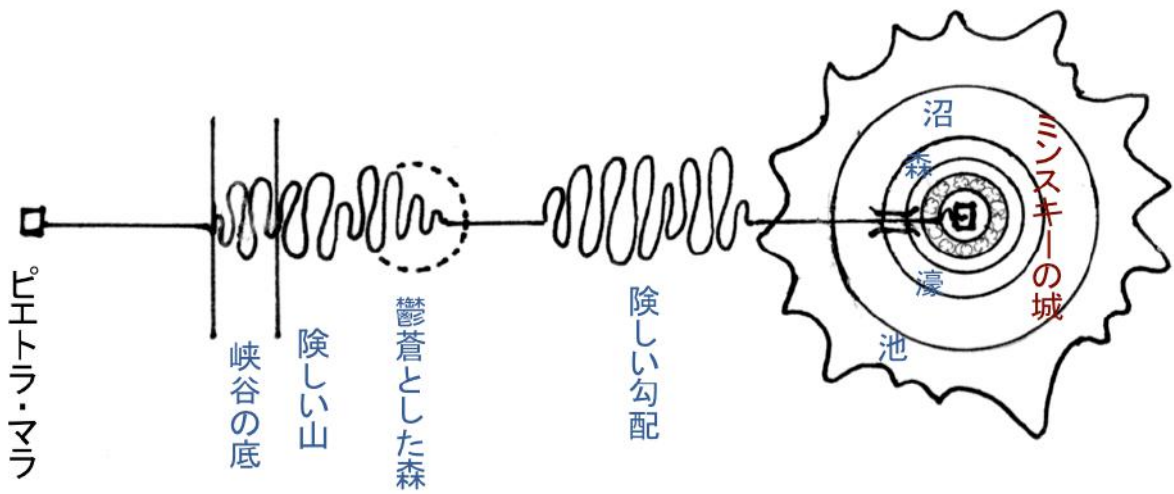
【図3-18】 サド「放蕩の館」最終案、年代未詳



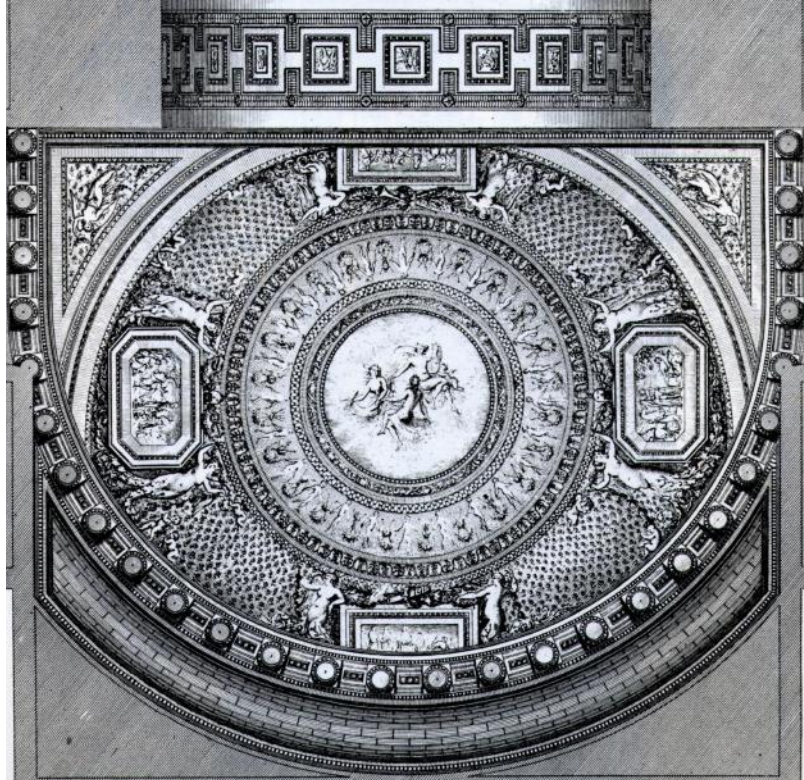
【図3-19】 サド『ソドムの百二十日』シリング城への道程のダイアグラム
 アンソニー・ヴィドラー作成(日本語追記は筆者による)



【図3-20】 サド『ジュリエット物語』ミンスキーの城への道程のダイアグラム
 筆者作成



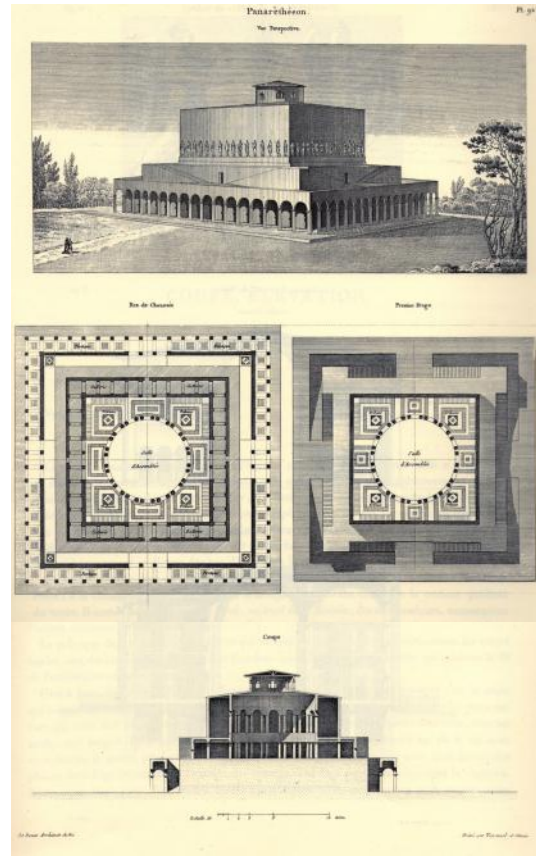
【図3-21】 ルドゥ(彫版未詳)「ブザンソンの劇場の天井画」(部分図)『建築論』1804年



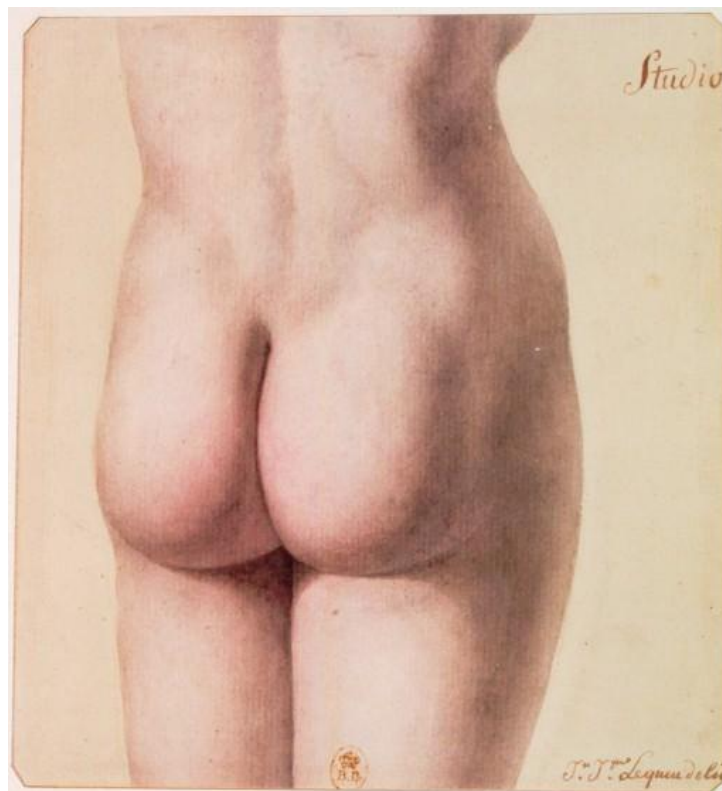
【図3-22】 ルドゥ(ヴァン・マエルとマイエ彫版)「教育の館」『建築論』1804年所収



【図3-23】 ルドゥ(ヴァン・マエルとシモン彫版)「パナレテオン」『建築論』1804年所収

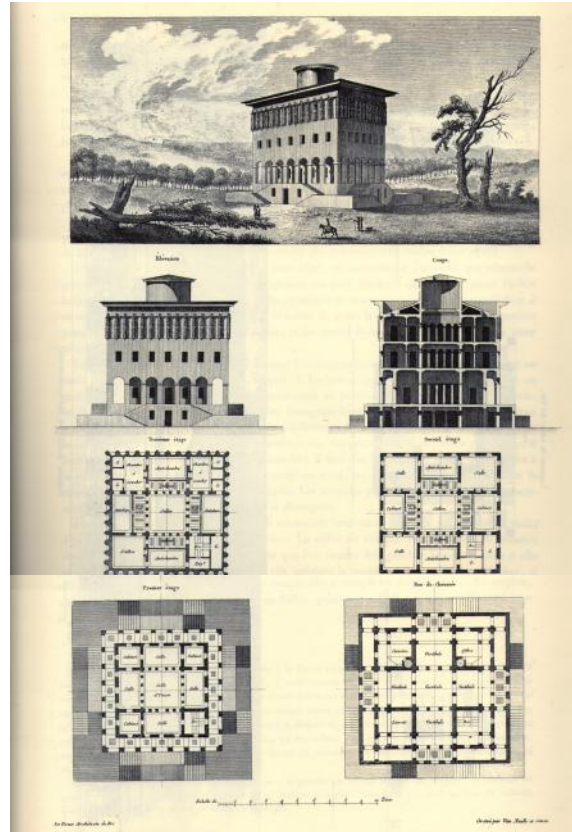


【図3-24】 ルクー「工房 (Studio)」1779-1795年

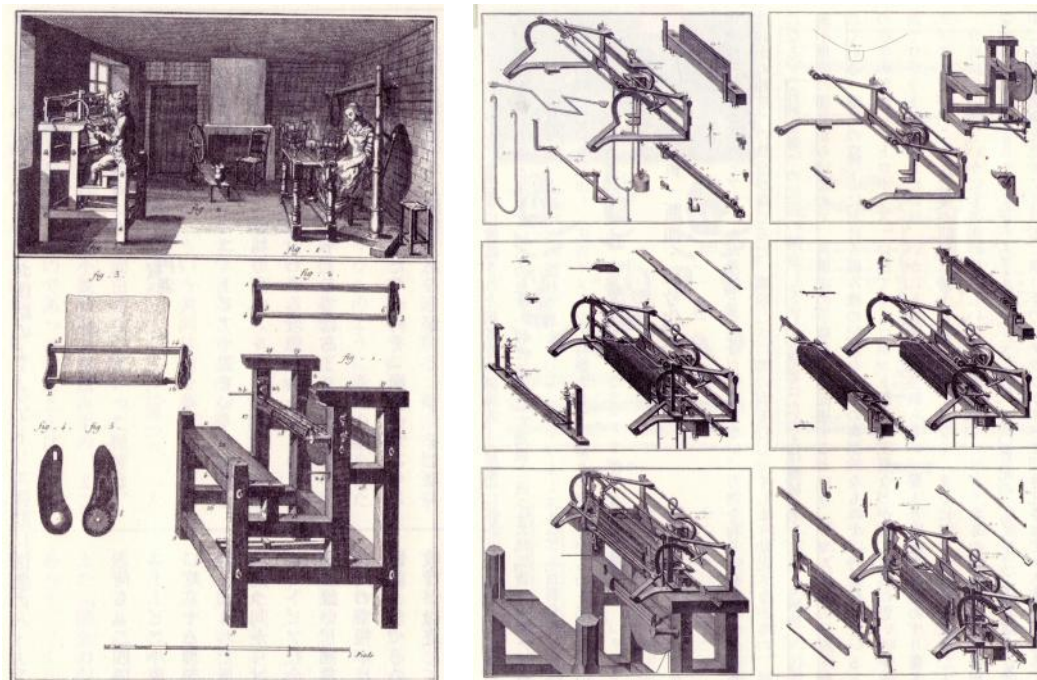


Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

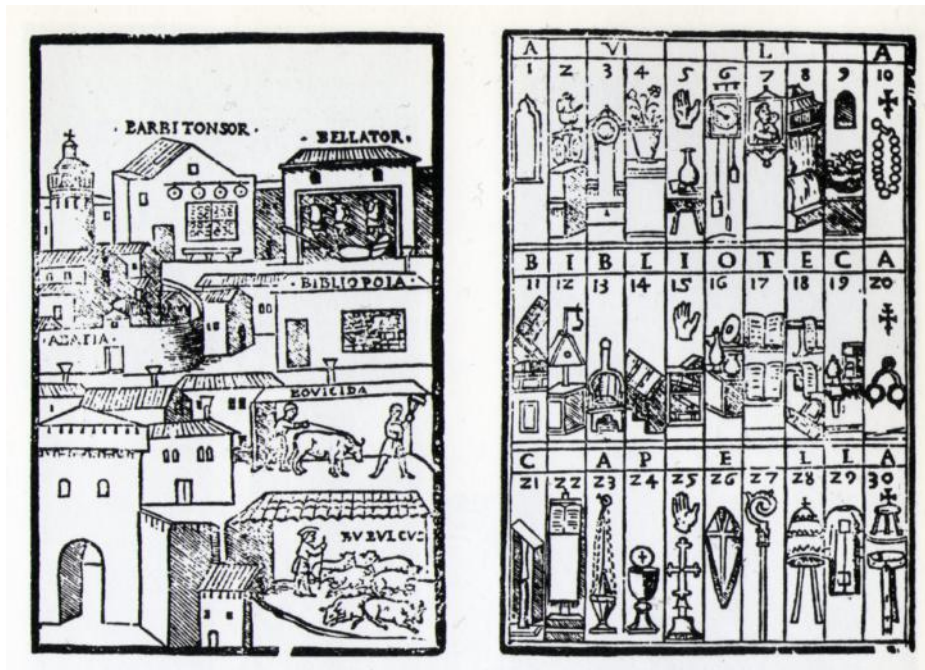
【図3-25】 ルドゥ(ヴァン・マエルとシモン彫版)「団結の館」『建築論』1804年所収



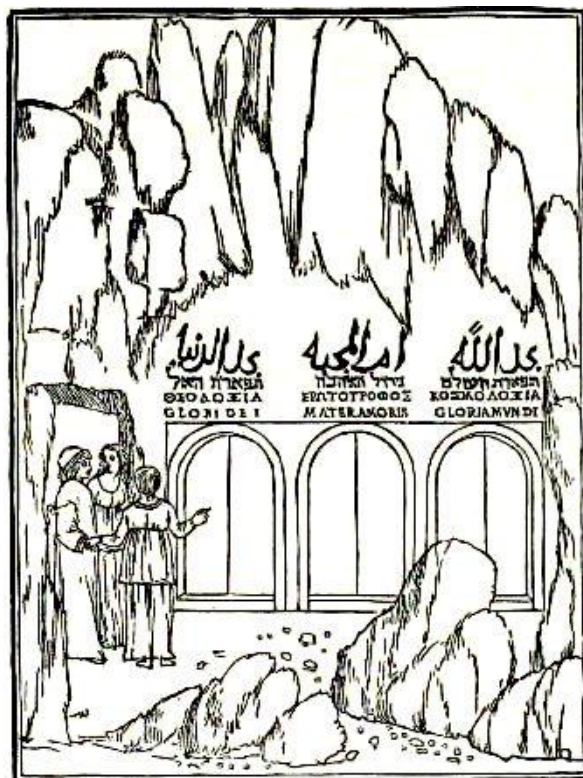
【図3-26】 靴下編機の図解 (左:全景、右:部品の図解)『百科全書』



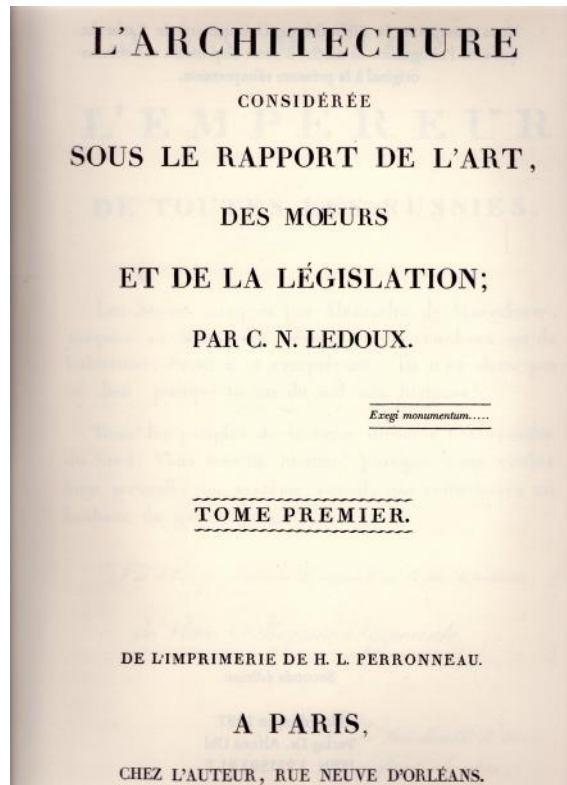
【図4-1】ヨハネス・ロンベルヒ『記憶術集成』1533年
修道院の建築物のイメージを利用した記憶術



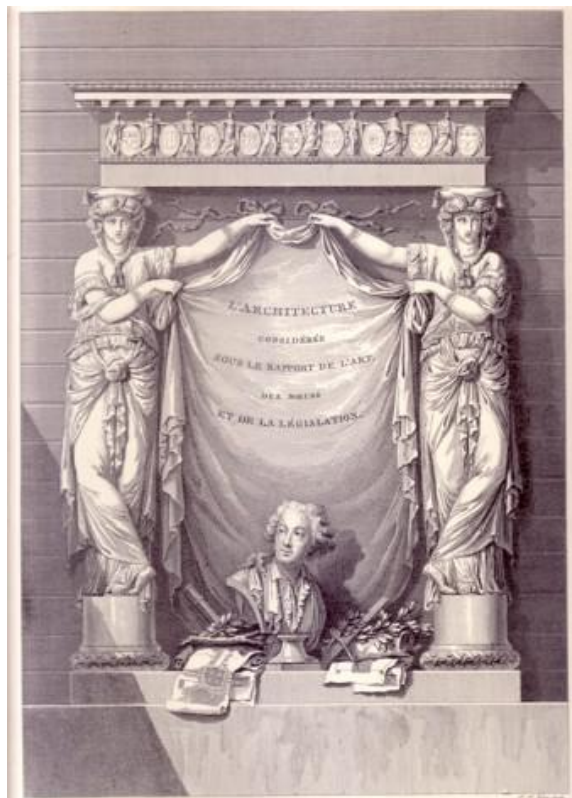
【図4-2】フランチェスコ・コロンナ(伝)『ポリフィロの狂恋夢』1499年挿図



【図4-3】 ルドゥ『建築論』1804年、タイトルページ



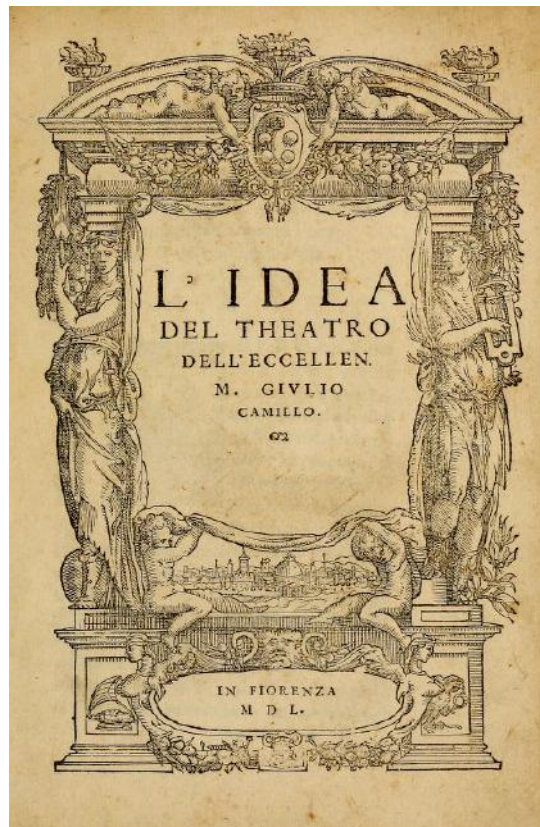
【図4-4】 ルドゥ『建築論』フロンティスピース(C.-N.ヴァラン彫版)



【図4-5】 G.B.ピラネージ「古代アッピア街道とアルデアティーナ街道の交差点」
『ローマの古代遺跡』第2巻フロンティスピース、1756年



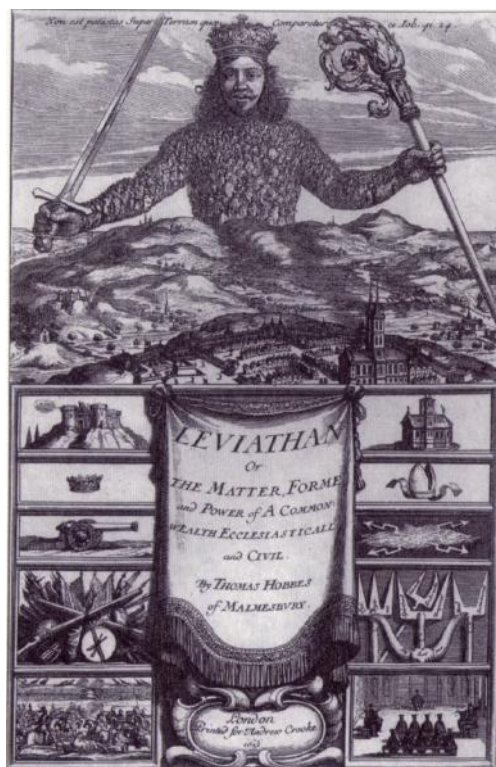
【図4-6】 ジュリオ・カミッロ『劇場のアイデア』1550年のフロンティスピース
書題の書かれた緞帳の下部が捲られ、フィレンツェと思しき街並がその向こうに広がる



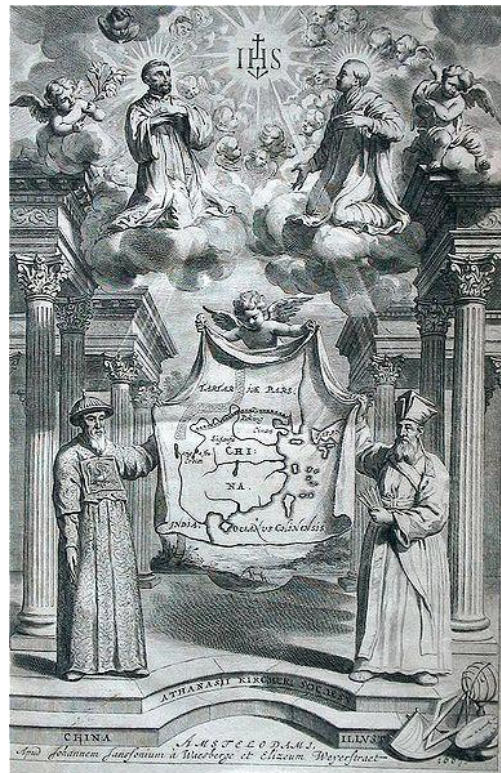
【図4-7】 アルベルティ『建築論』(初版1485年)1550年版のフロンティスピース
両脇のカリアティド(女人柱)、書題の書かれた緞帳、下部のから覗く透視図法による遠景



【図4-8】 ホブズ(アブラム・ボス作画)『リヴァイアサン』フロンティスピース、1651年



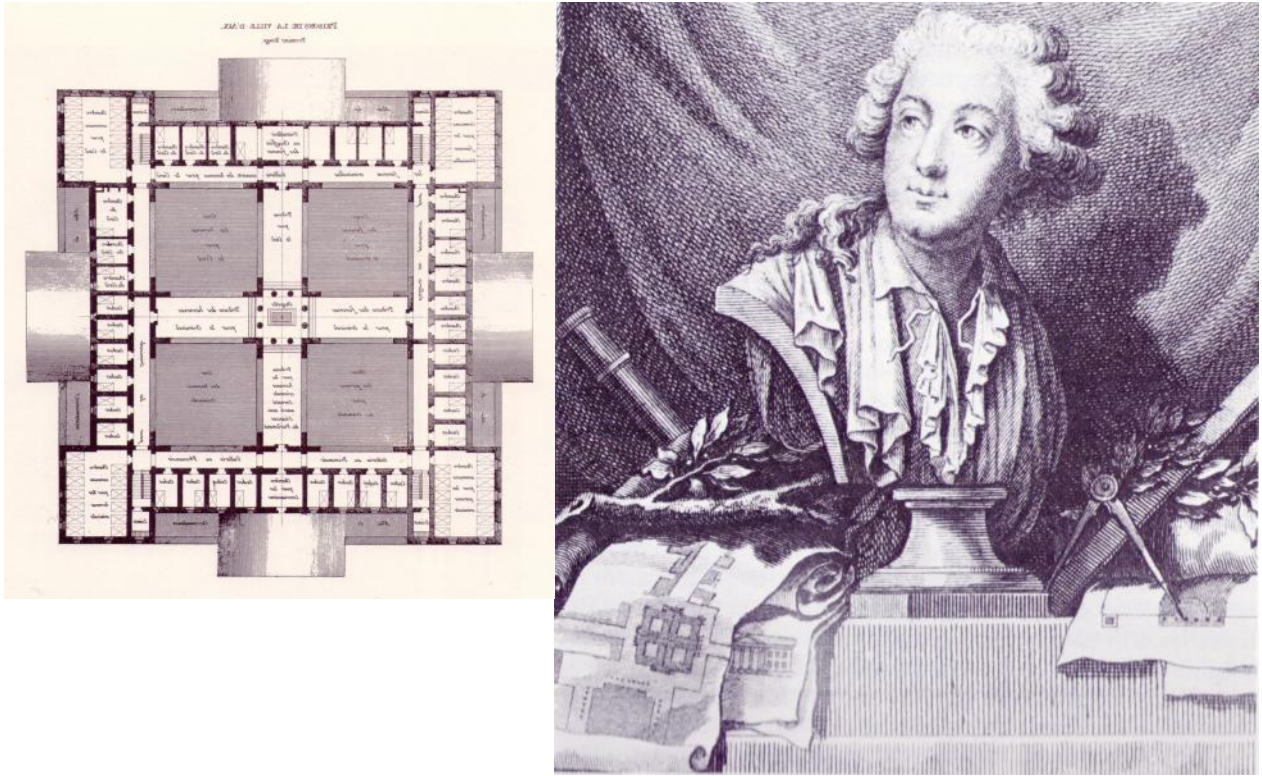
【図4-9】 キルヒャー『シナ図絵』1667年のフロンティスピース
建築物の示唆するヴィスタを、中国(この書が扱うテーマ)の地図の描かれた布が覆い隠す



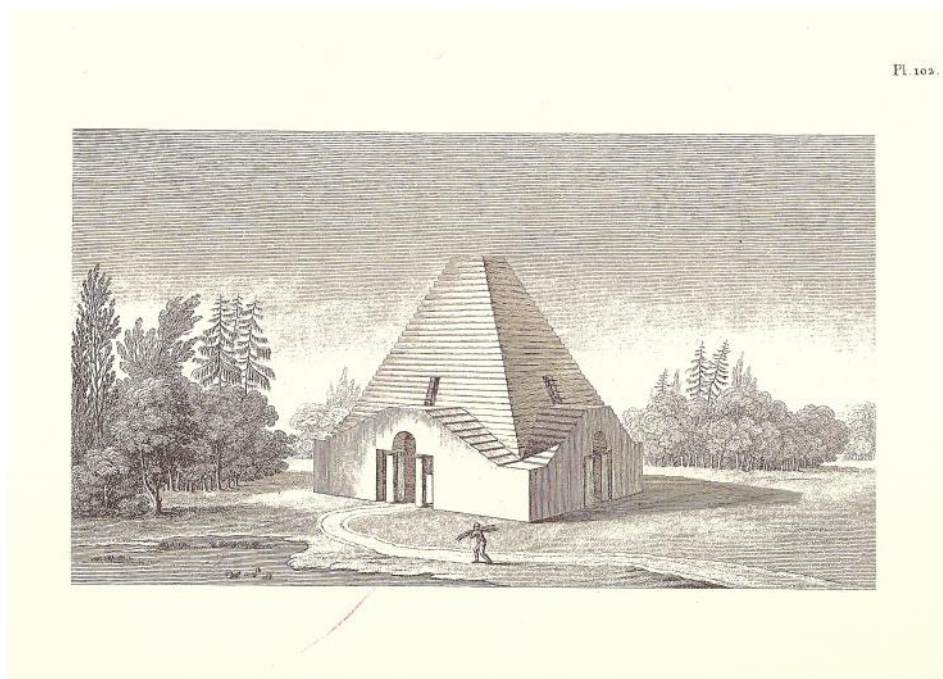
【図4-10】 ルドゥ設計、ダンフェール・ロシュローの市門
フリーズのレリーフ



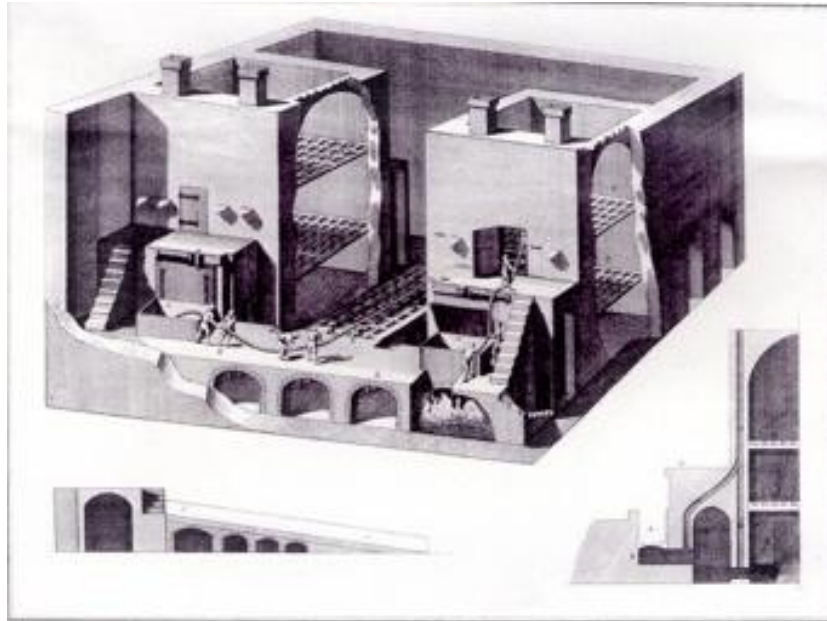
【図4-11】 「エクス監獄」2階平面図、ラメ版『ルドウの建築論』1847年
右：『建築論』フロンティスピース部分拡大図



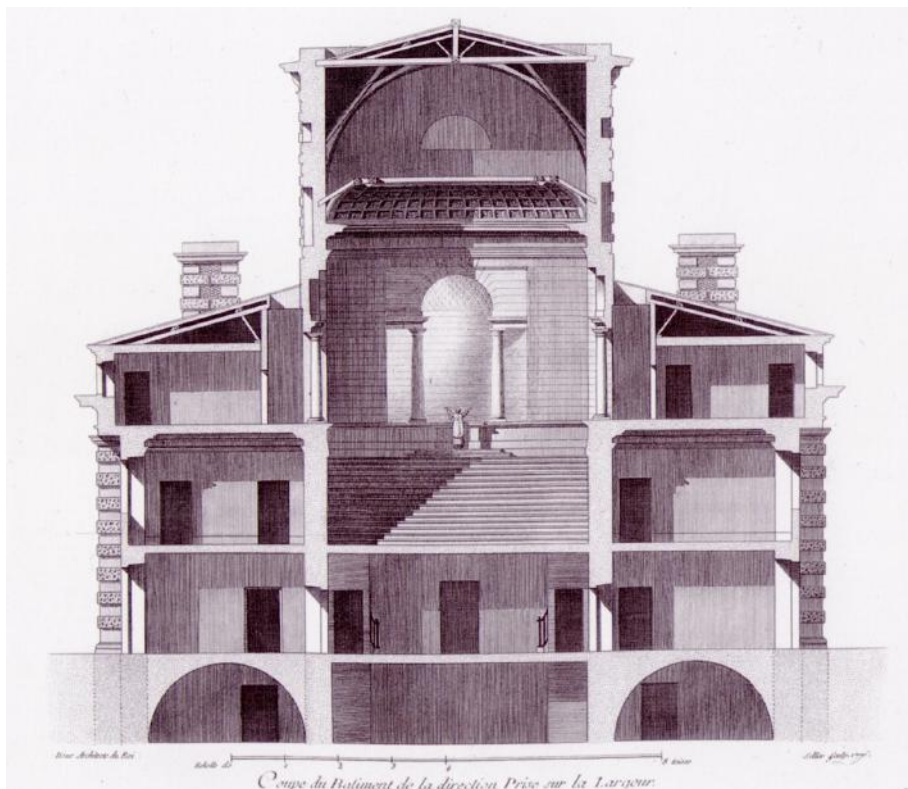
【図4-12】 ルドゥ(彫版未詳)「樵夫の家」『建築論』1804年



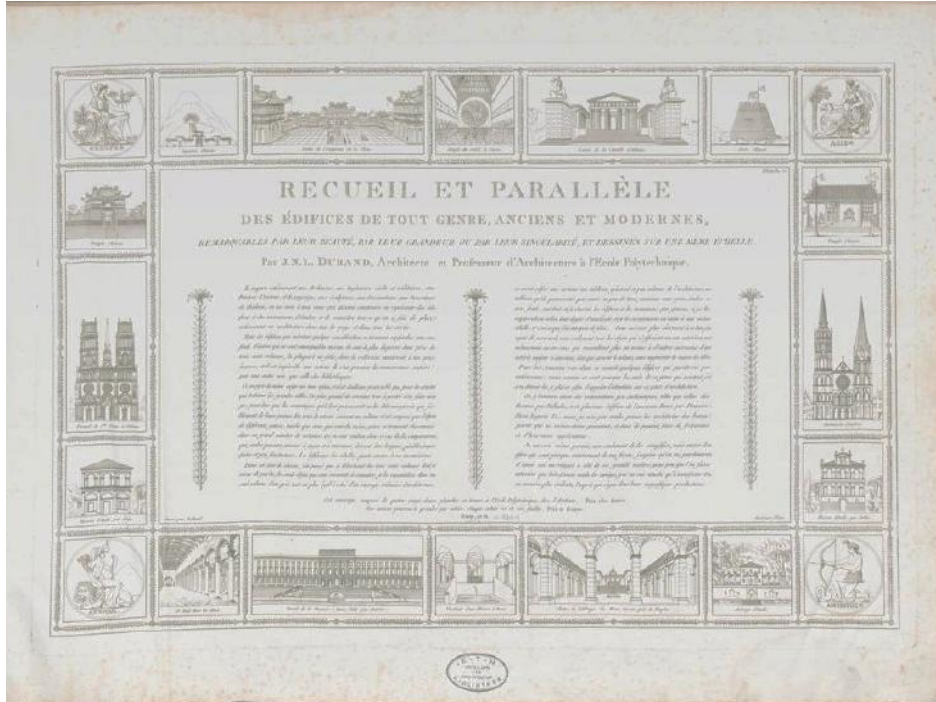
【図4-13】 ルイ=ジャック・ゲーシエ(ベランの下絵に基づく)「ロシュフォールの造船所」
『百科全書』



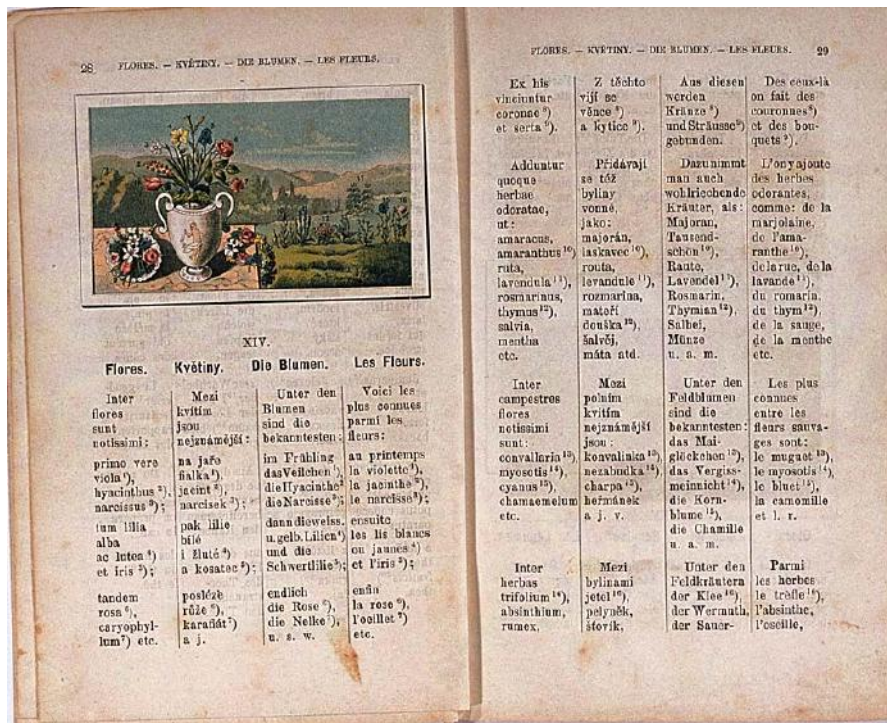
【図4-14】 ルドゥ(スリエ彫版)「監督官の館」短辺方向の断面図、1776年
『建築論』1804年



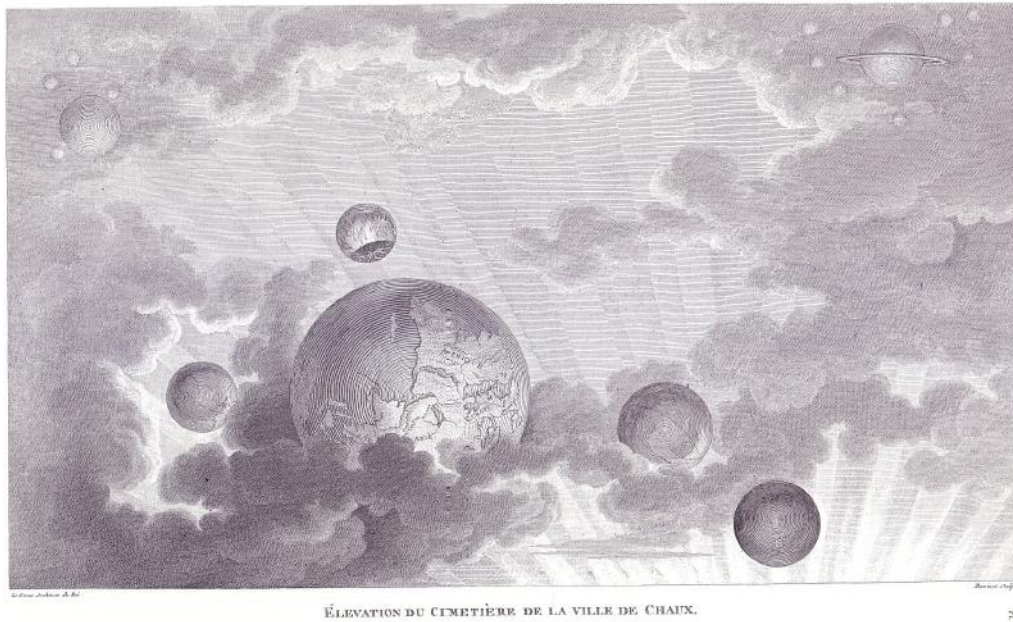
【図4-15】 J.N.L. デュラン『比較建築図集』第1巻、1800年



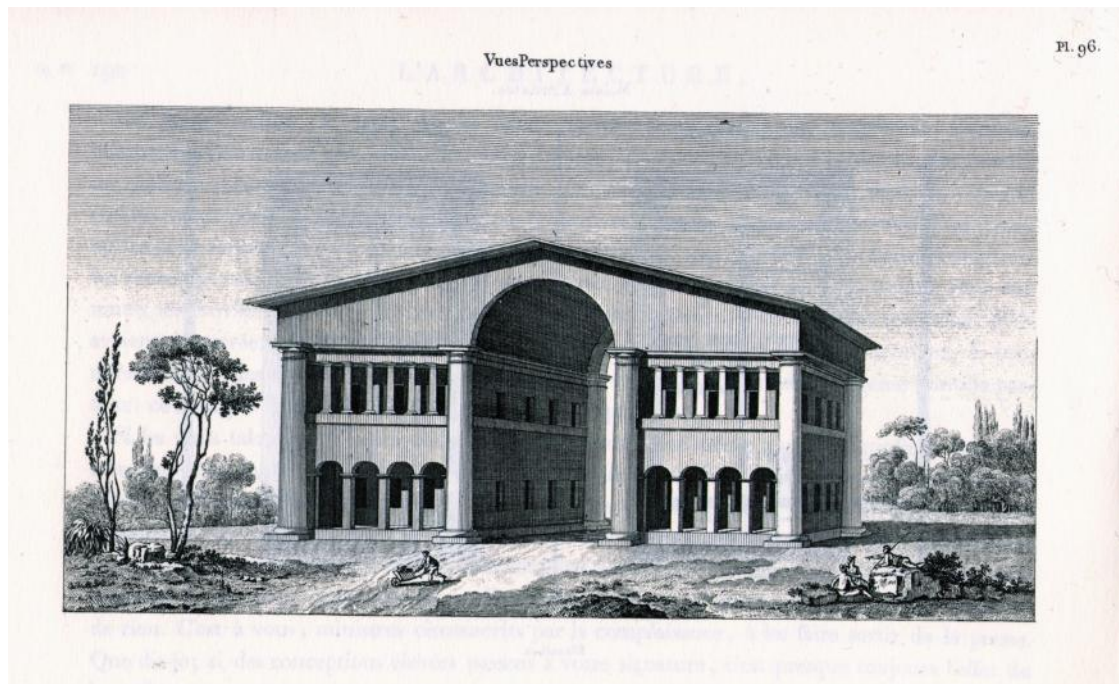
【図4-16】 J.-A. コメニウス『世界図絵』四カ国語版、1883年



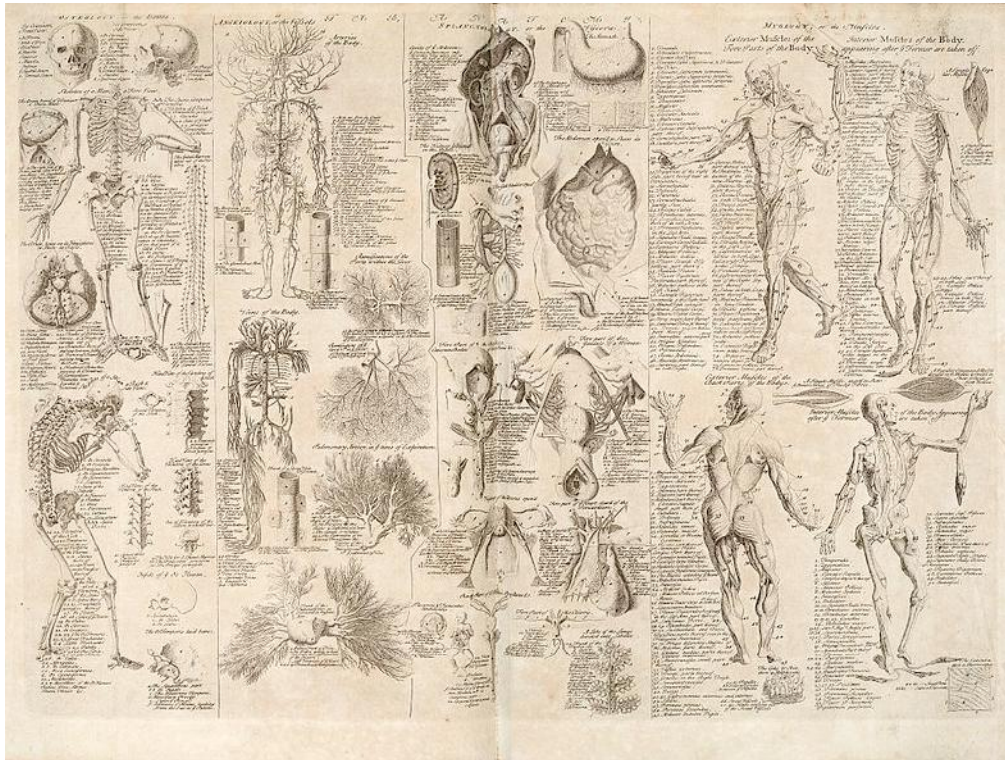
【図4-17】 ルドゥ(ボヴィネ彫版)「ショーの都市の墓地、立面図」
『建築論』1804年



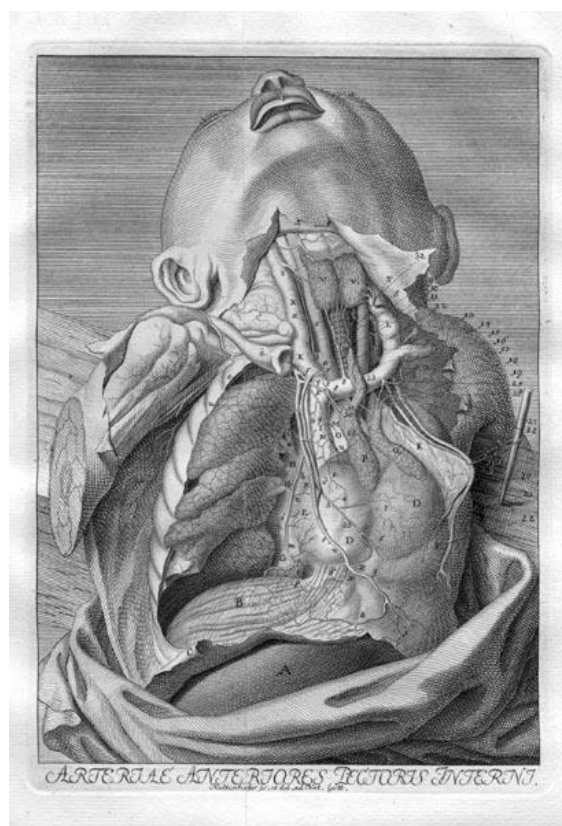
【図4-18】 ルドゥ(ヴァラン彫版)「二人の芸術家のための家、透視図」
『建築論』1804年所収



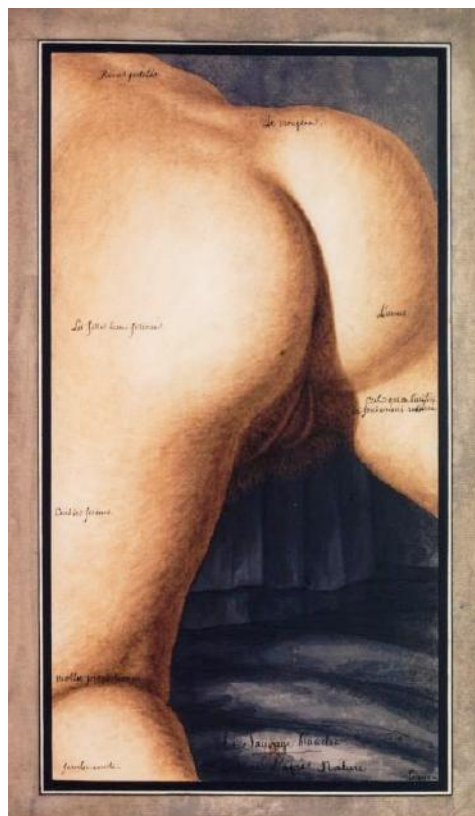
【図4-19】「解剖学のチャート」、イーフレイム・チェンバーズ『サイクロペディア』第1巻、1728年



【図4-20】 ハラー『解剖図 (Icones anatomicae)』よりJ.カルテンホファーによる版画
全8巻、1743-1756年



【図4-21】 ルクー「白い野生、自然に基づき描く」1779-1795年



Source gallica.bnf.fr / Bibliothèque nationale de France

【図4-22】 G.B. ピラネージ《カンポ・ヴァッチーノの眺め》1772年



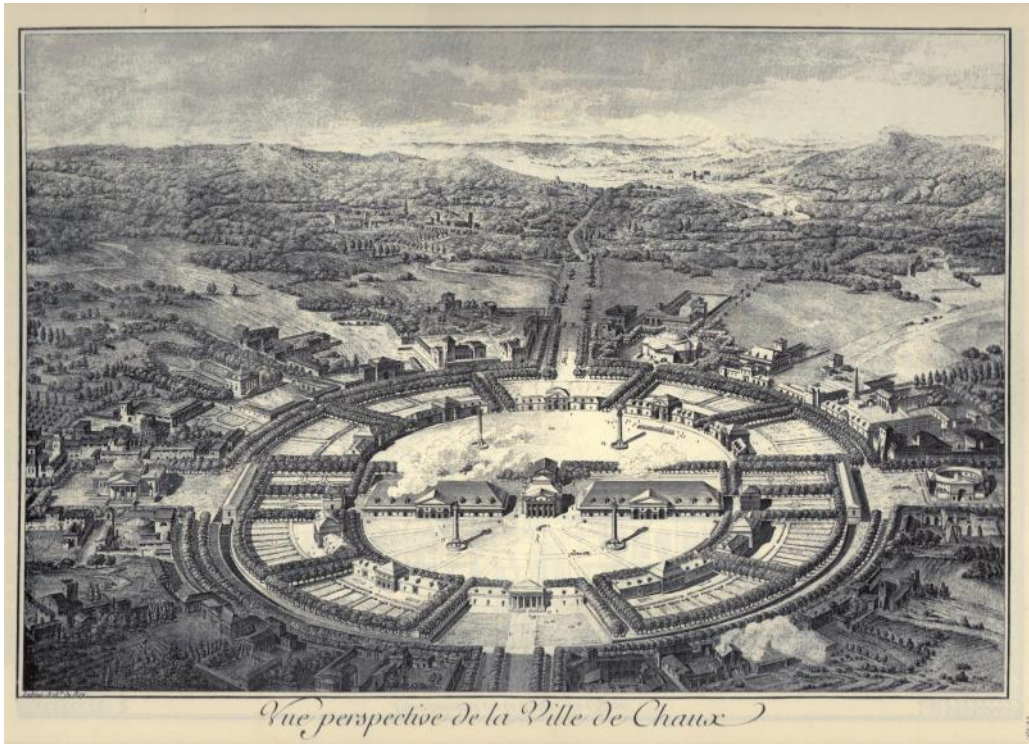
【図4-27】 ルドゥ、王立製塩所の正門(ゲロット)
(門の延長線上に「監督官の家」が見える)



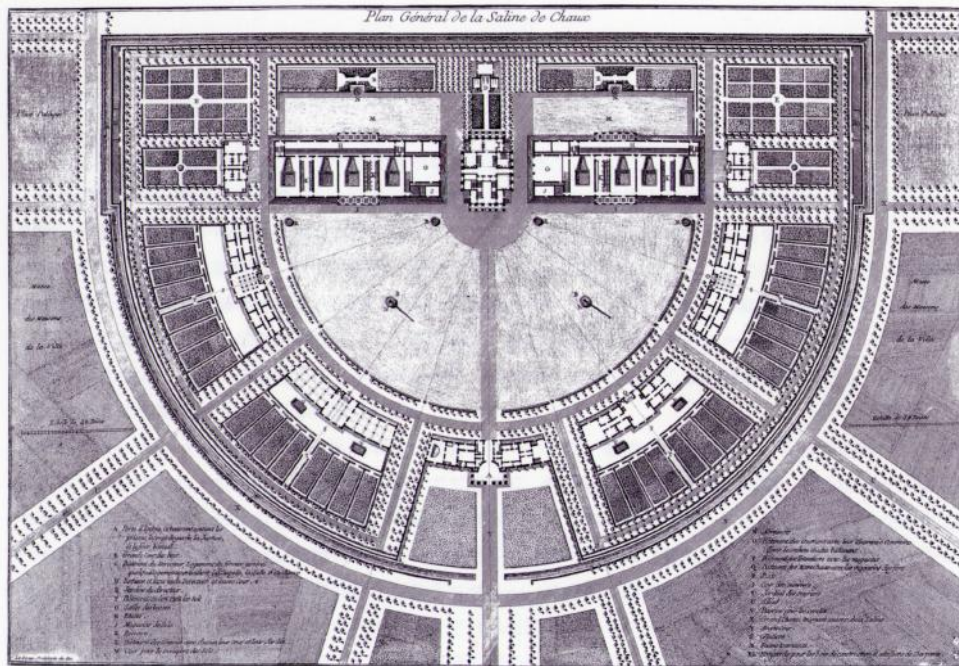
【図4-28】 ルドゥ設計、王立製塩所の監督官の家



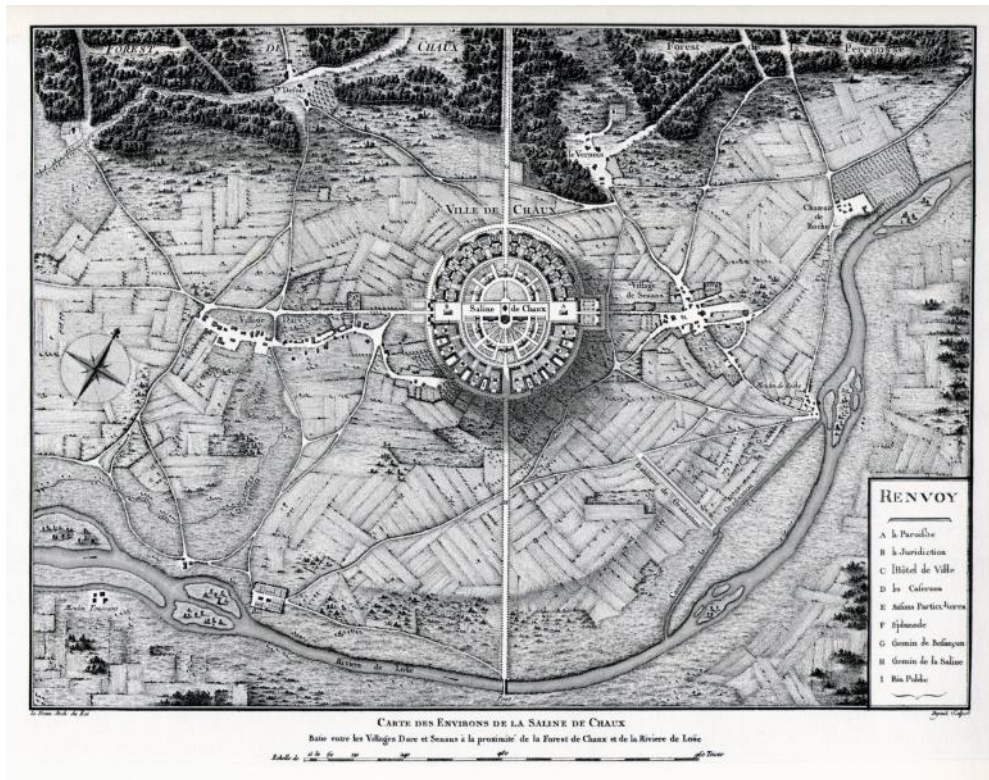
【図4-31】 ルドゥ(ベルトー彫版)「ショーの街の透視図」『建築論』1804年



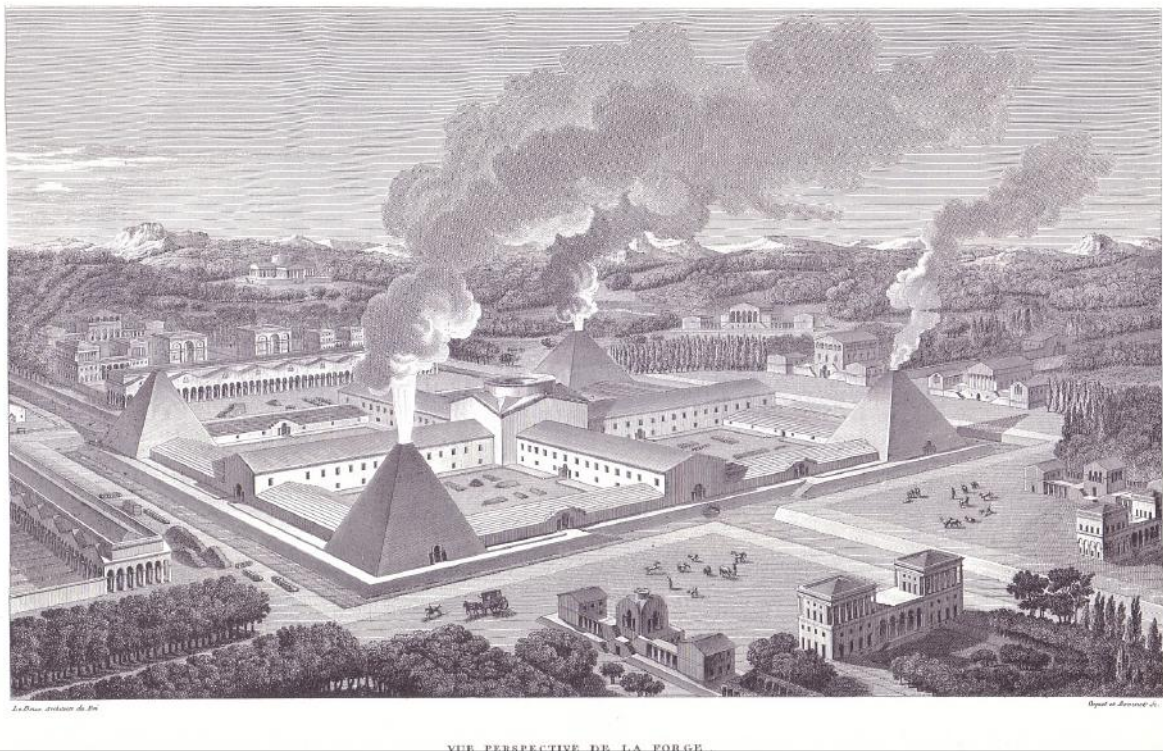
【図4-32】 ルドゥ(スリエ彫版)「王立製塩所の実現された平面図」『建築論』1804年



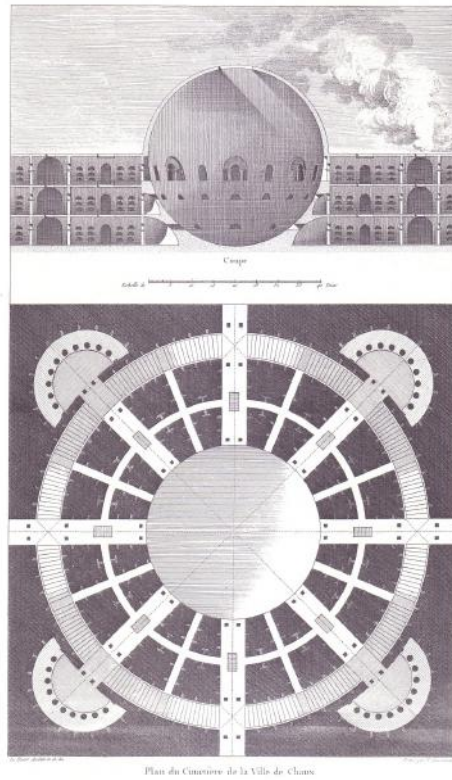
【図4-33】 ルドゥ(デュピュイ彫版)「ショーの製塩所一帯の地図」
『建築論』1804年所収



【図4-34】 ルドゥ(コケとボヴィネ彫版)「大砲製造工場の透視図」『建築論』1804年



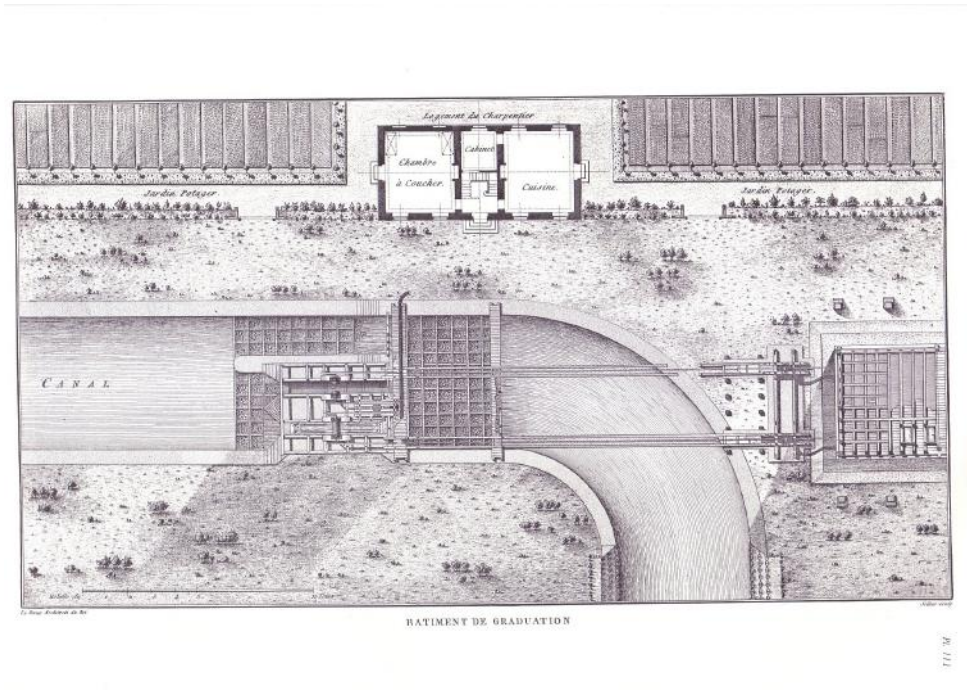
【図4-35】ルドゥ(ラナゾネット彫版)「ショーの都市の墓地、断面図、平面図」
『建築論』1804年



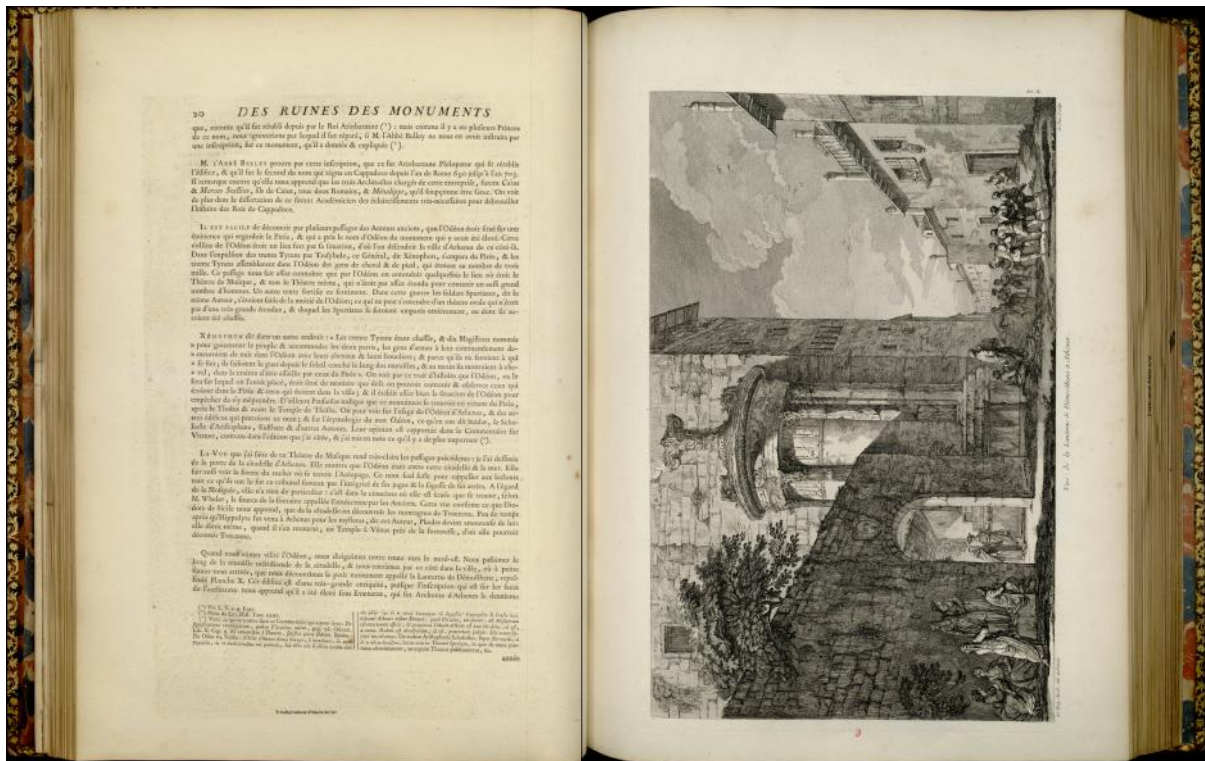
【図4-36】ルドゥ(ベルトー彫版)「塩水濃縮工場の建物の透視図」『建築論』1804年



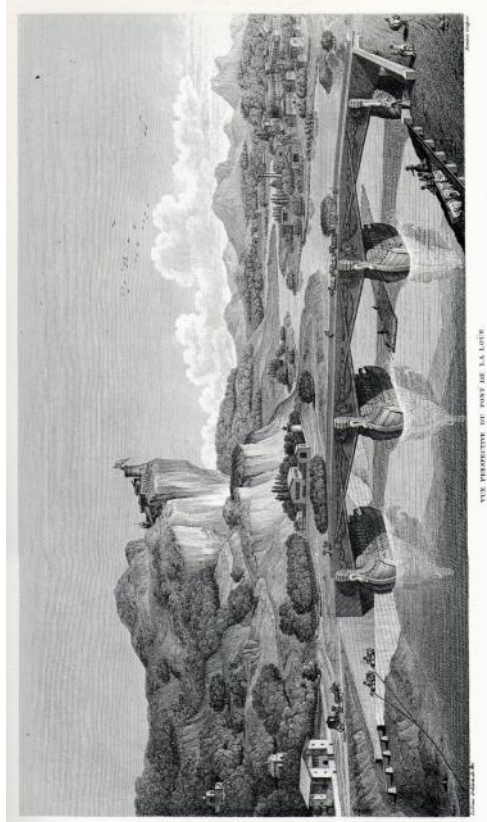
【図4-37】 ルドゥ(スリエ彫版)「運河の揚水ポンプ平面図」『建築論』1804年



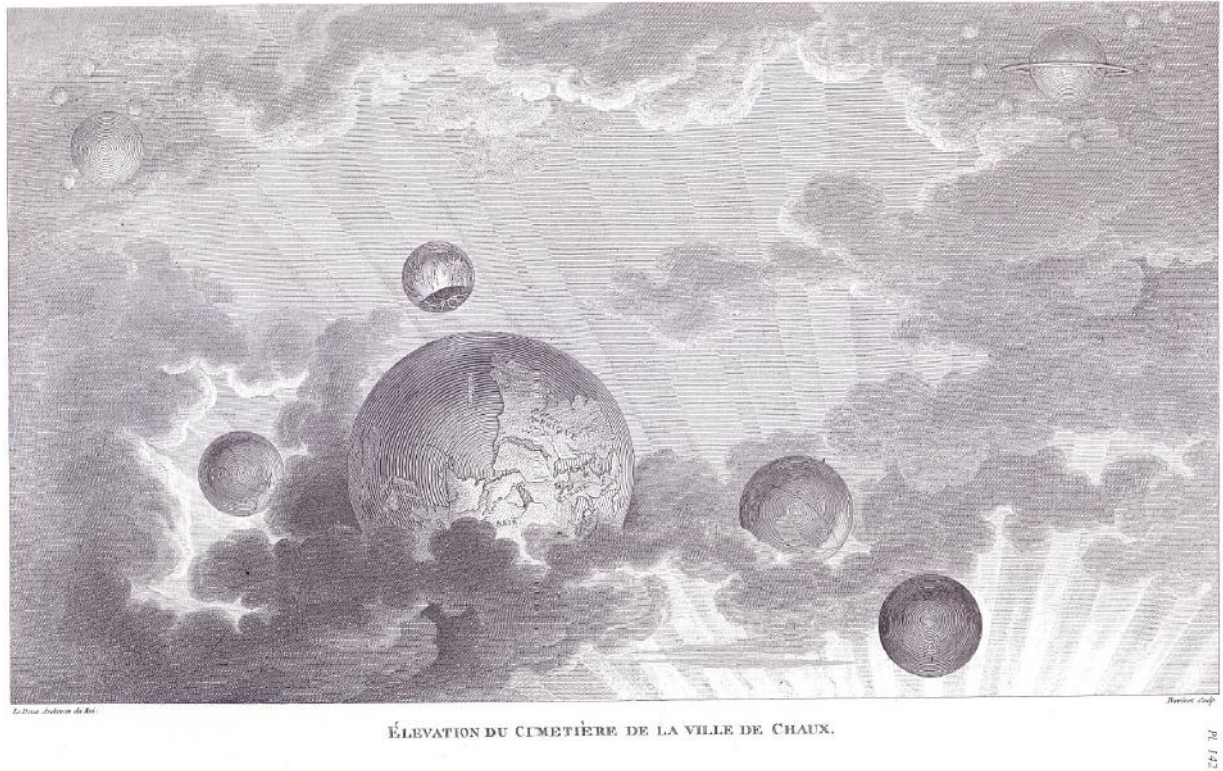
【図4-38】 ル・ロワ『ギリシア最美の遺跡の廃墟』1770年、20頁と図版10
「図版10に示す通り、私たちはデモステネスの頂塔と呼ばれる小さな遺跡を見つけた」



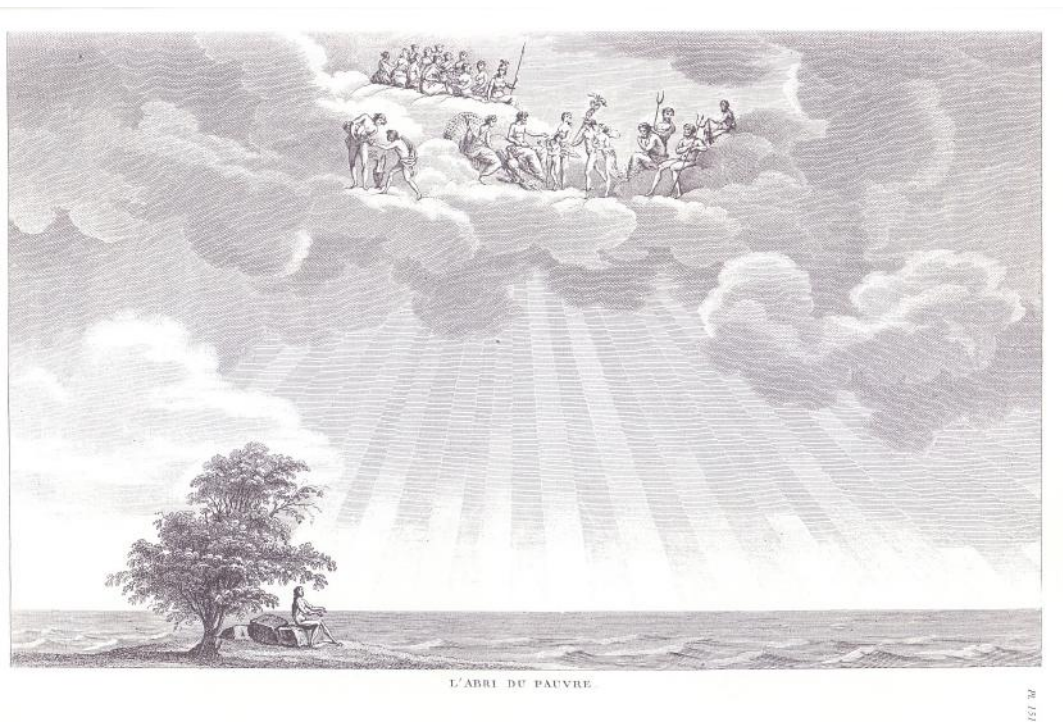
【図4-39】 ルドゥ(ボヴィネ彫版)「ルー河に掛かる橋の透視図」『建築論』1804年
(書籍に挿入された通りの向き)



【図5-1】 ルドゥ(ボヴィネ彫版)「ショーの都市の墓地、立面図」
『建築論』1804年



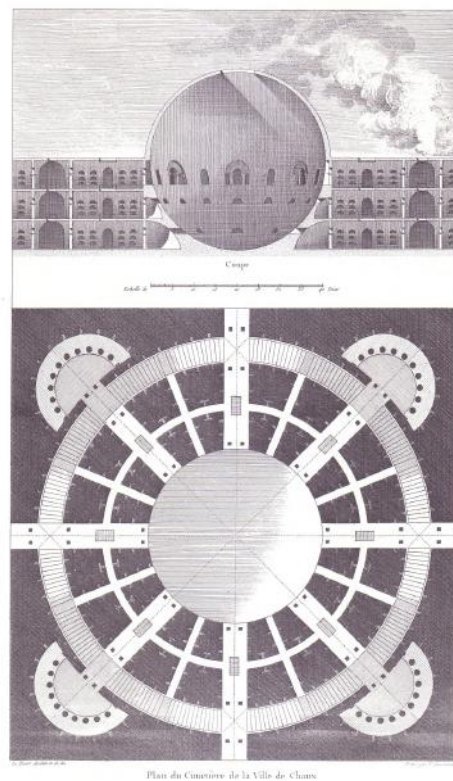
【図5-2】 ルドゥ(彫版未詳)「貧者の家」『建築論』1804年所収



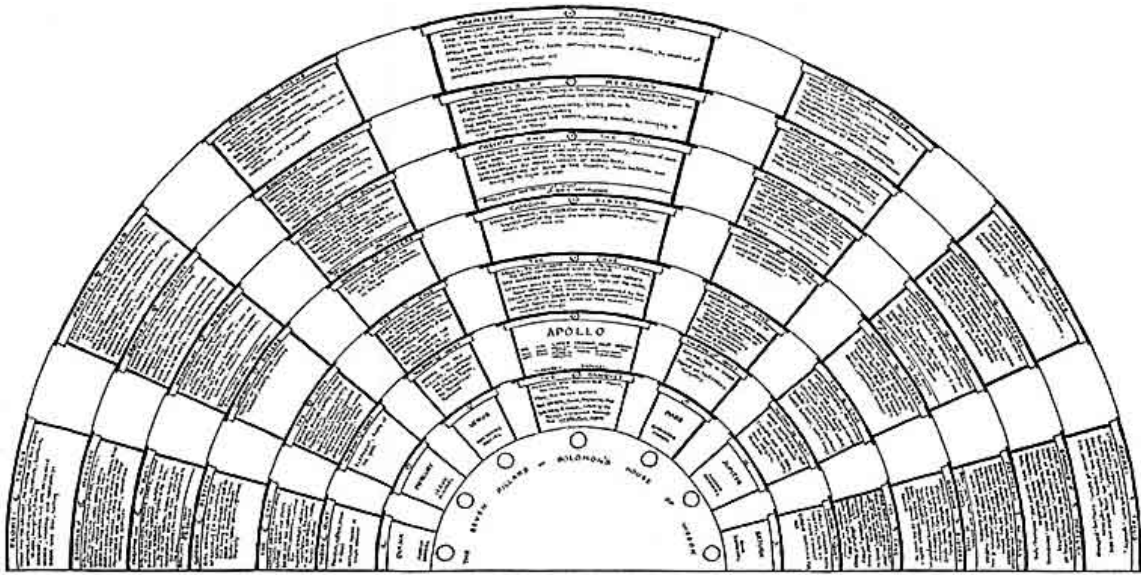
【図5-3】 マルク=アントワーヌ・ロージエ『建築試論』第2版、1755年
フロンティスピース(シャルル・エゼン彫版)



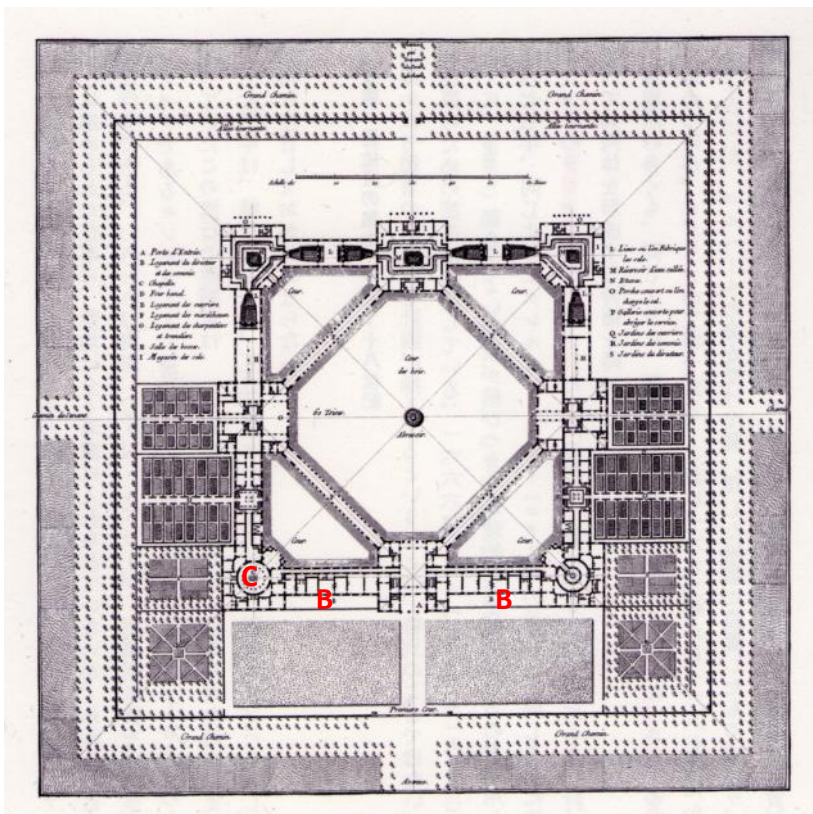
【図5-4】 ルドゥ(ラナゾネット彫版)「ショーの都市の墓地、断面図、平面図」
『建築論』1804年



【図5-5】 ジュリオ・カミッロの記憶劇場、1533年建造
 フランシス・イエイツによる再現

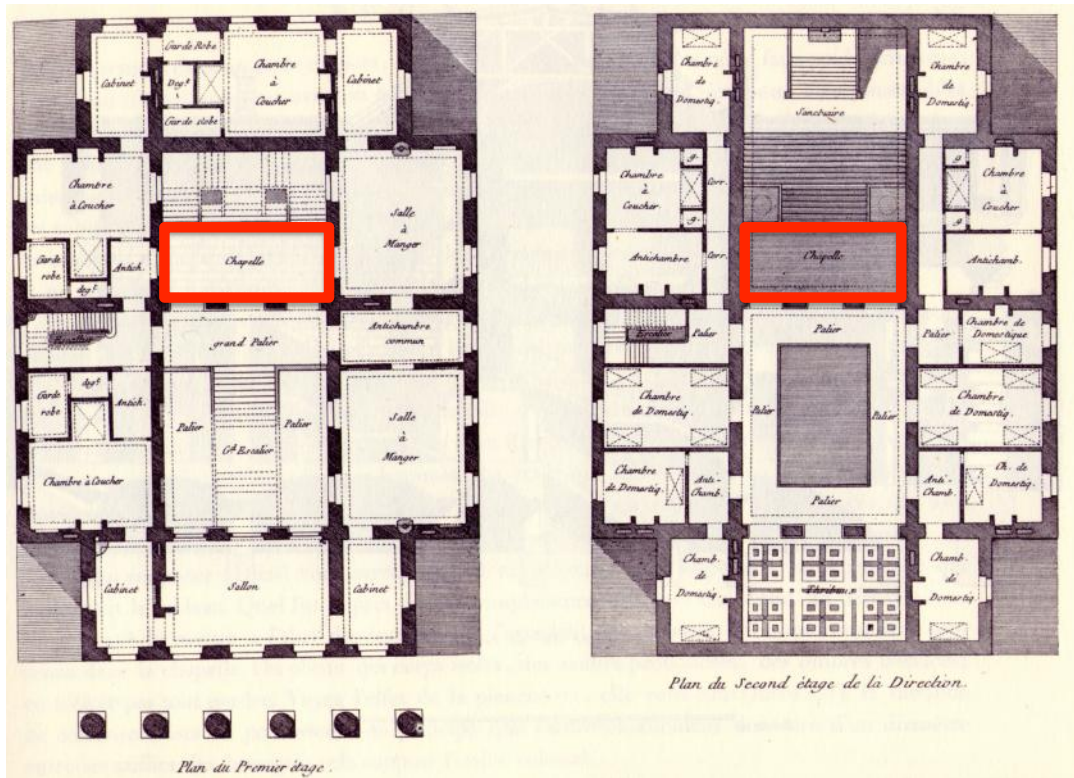


【図5-6】 ルドゥ(スリエ彫版)「王立製塩所第一案」、『建築論』1804年所収
 (図中の赤字追記は筆者による)

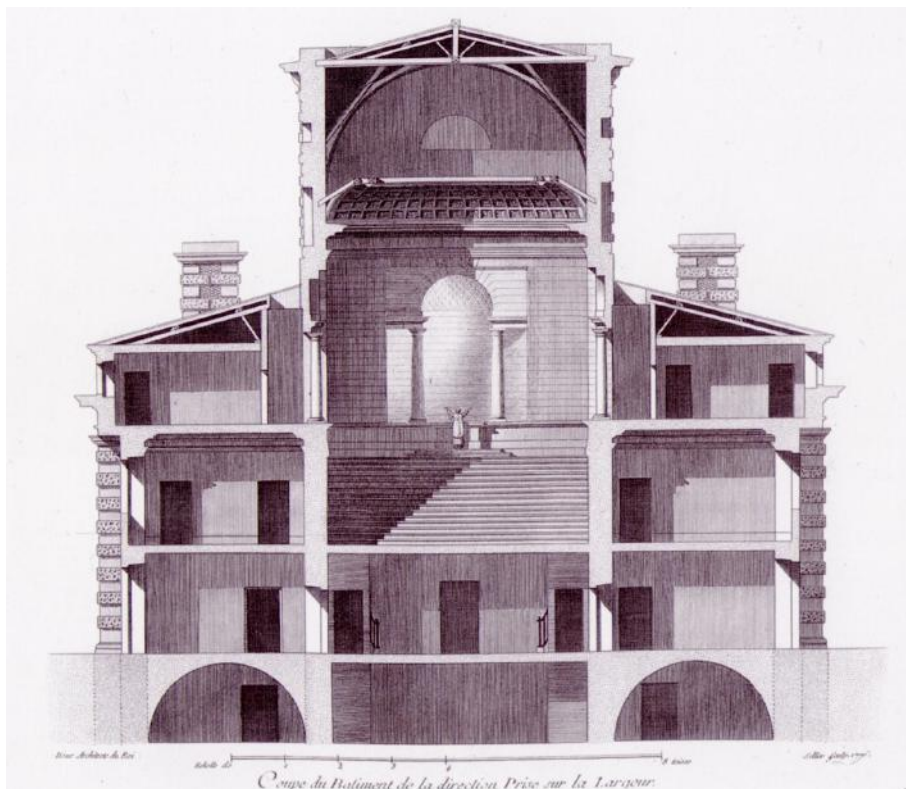


- A. 正門
- B. 工場長の館
- C. 礼拝堂
- D. 共同の竈
- E. 労働者の宿舎
- F. 蹄鉄工の宿舎
- G. 大工の宿舎
- H. 倉庫
- I. 塩の倉庫
- L. 製塩の場所
- M. 塩水の貯水池
- N. 乾燥室
- O. 塩を積み出す屋根付きポーチ
- P. 効率化のための屋根付き回廊
- Q. 労働者の庭
- R. 事務員の庭
- S. 工場長の庭

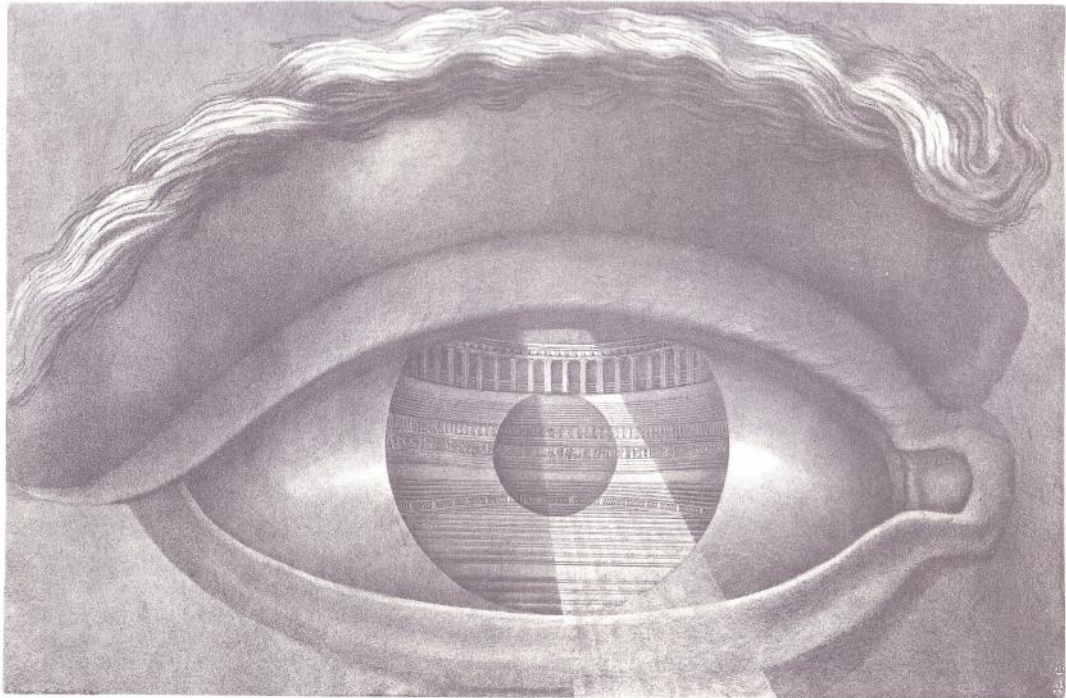
【図5-7】 ルドゥ(スリエ彫版)「監督官の館 第2案平面図」『建築論』1804年
 2階(左)と3階(右)
 赤線で囲われた部分(筆者追記)が礼拝堂



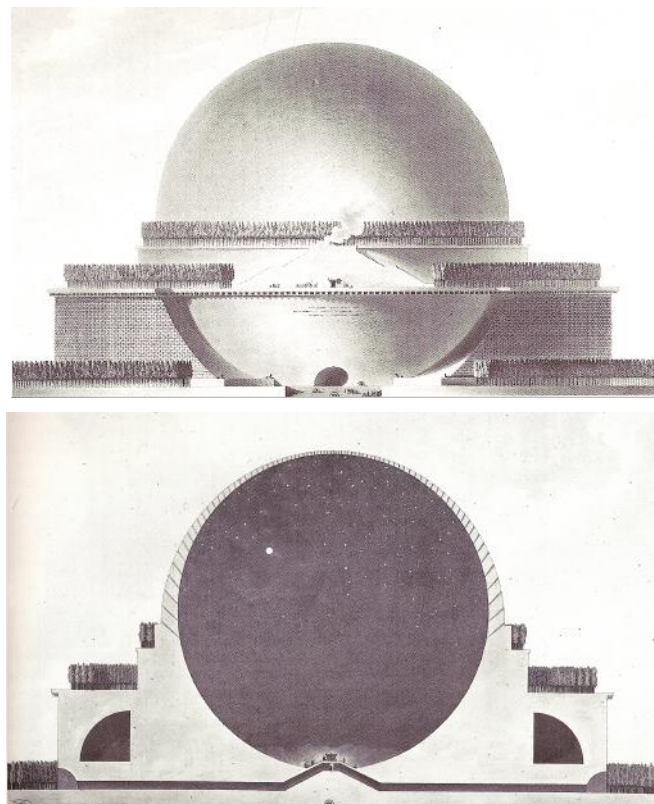
【図5-8】 ルドゥ(スリエ彫版)「監督官の館」短辺方向の断面図、1776年、『建築論』1804年



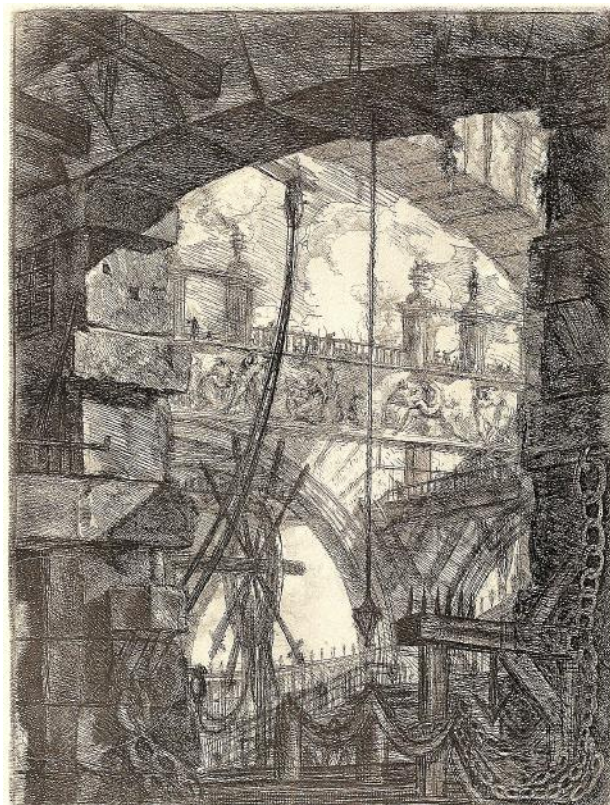
【図5-9】 ルドゥ案(彫版未詳)「ブザンソンの劇場への一瞥」『建築論』1804年所収



【図5-10】 ブレ「ニュートンのセノタフ」1784年
上: 立面図 / 下: 断面図(夜の場面)



【図5-11】ピラネージ「大広場」『幻想の牢獄』第2刷、1761年頃



【図5-12】アルベルティによるエンブレム「翼のある眼」



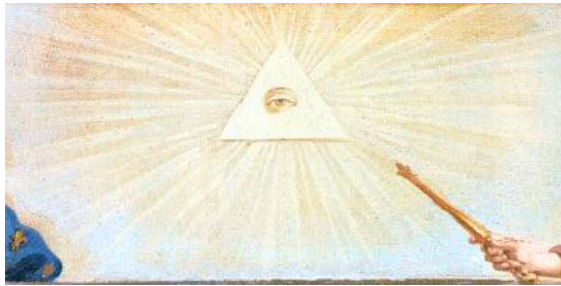
【図5-13】 マットテオ・デ・パスティ、アルベルティの肖像コイン、1450-55年、大英博物館



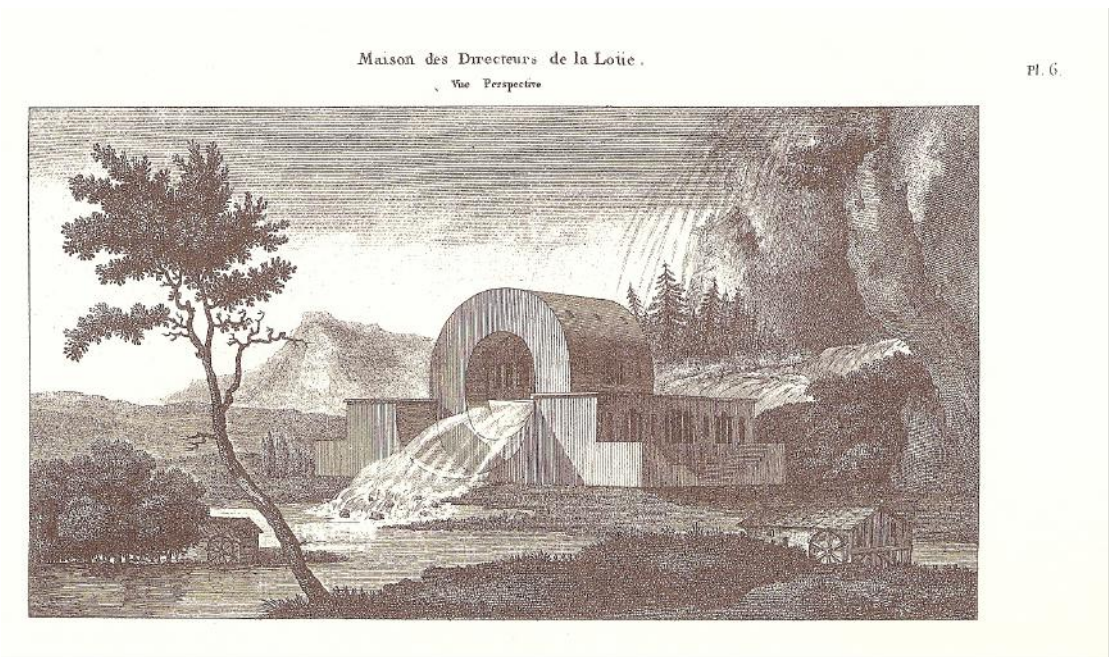
【図5-14】 イギリスのフリーメイソンの前掛け、1790年頃、イギリス連合ロッジ所蔵



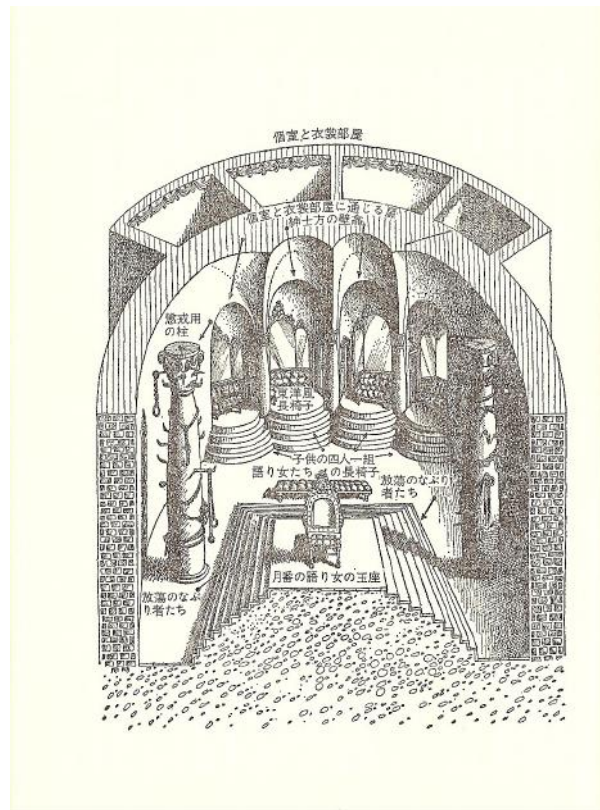
【図5-15】 ジャン=ジャック=フランソワ・ル・バルビエ、フランス人権宣言、1789年
カルナヴァッレ美術館



【図5-16】 ルドゥ(ヴァン・マエルとマイエ彫版)「ルー河の水源監視人の家」
『建築論』1804年



【図5-17】 ラモン・アレジャンドロ『ソドム百二十日』シリング城の集会の間の想像図



【図5-18】 ピラネージ《アントニウス帝の浴場の遺跡》『ローマ風景』1748頃-78年



【図5-19】 ジョセフ・マイケル・ガンディ《イングランド銀行の鳥瞰図》1830年

